

# 資料編

## 資料編 目次

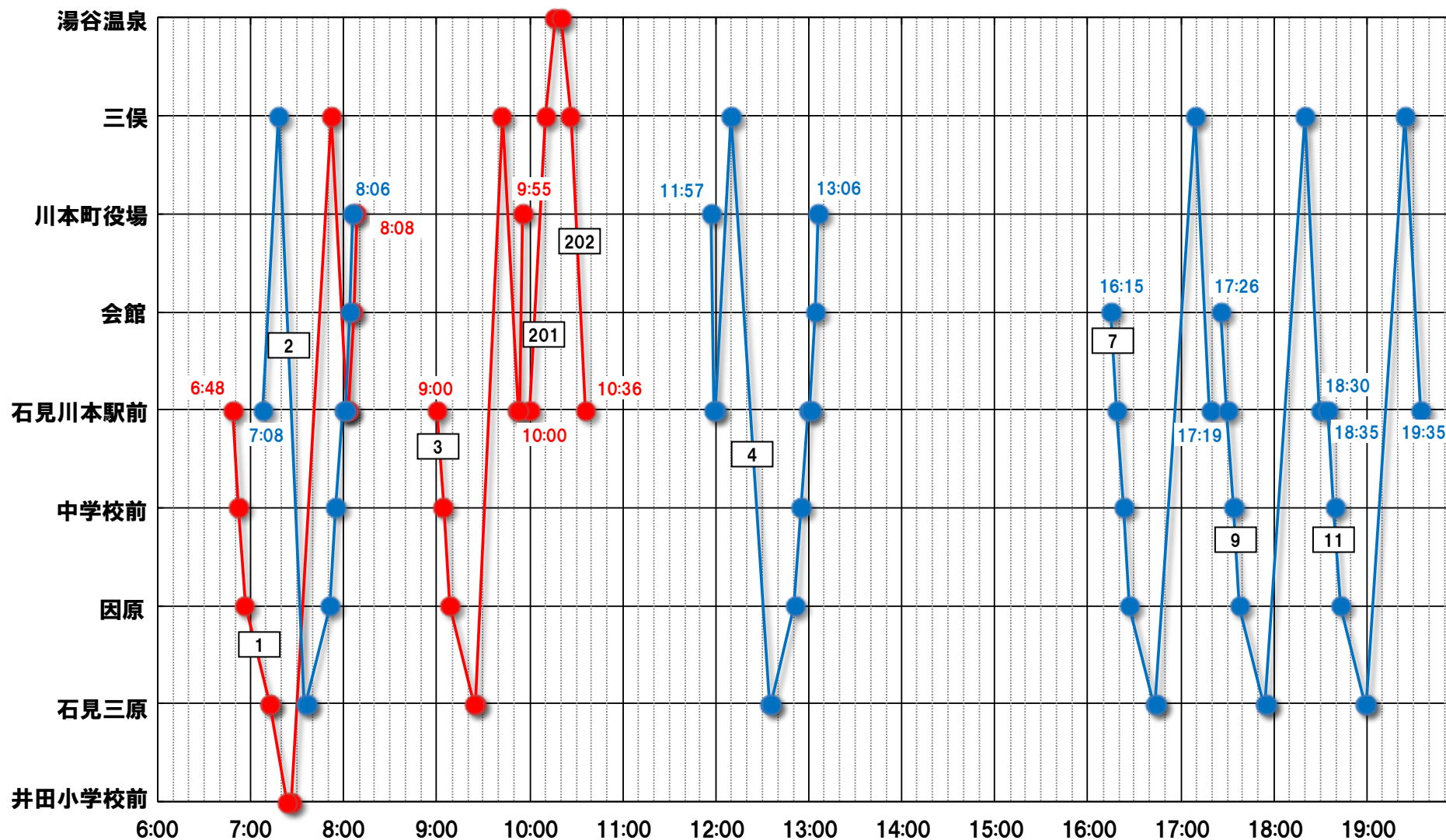
1. 川本町スクールバス乗降調査結果.....	43
2. 川本町スクールバス利用者アンケート調査結果.....	60
3. 住民アンケート調査結果.....	73
4. 島根中央高校アンケート調査.....	99
5. 島根中央高校生・保護者アンケート調査結果.....	100
6. 川本中学校アンケート調査結果.....	115
7. 川本中学校保護者アンケート調査結果.....	117
8. 川本小学校アンケート結果.....	124
9. 川本小学校保護者アンケート調査結果.....	126
10. ヒアリング調査結果.....	137
11. 【参考資料】石見交通「川本線」乗降調査結果.....	140

# 1. 川本町スクールバス乗降調査結果(6月18日・19日・21日の3日間実施)

## (1)三原線

● 2行路

● 1行路



便名:1

石見川本駅 6:48 発

川本町役場前 8:08 着

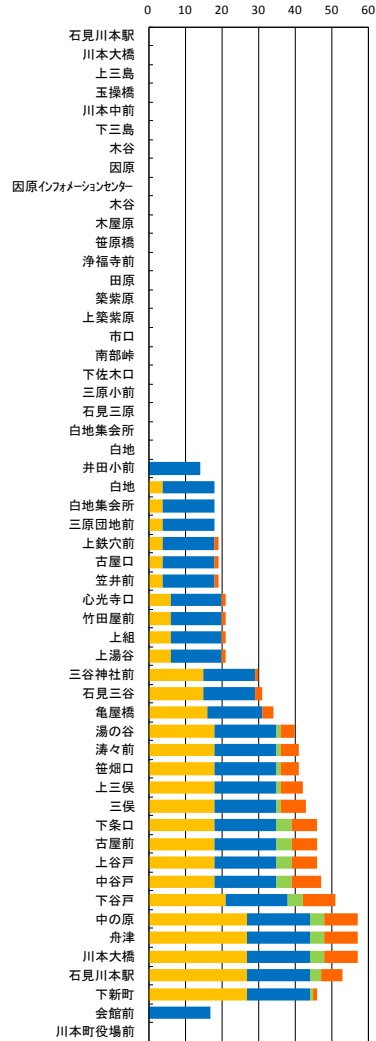
木谷回り

調査日	就学前	小学生	中学生	高校生	一般	高齢者	計
6月18日	0	9	0	6	2	4	21
6月19日	0	9	0	6	1	3	19
6月21日	0	9	0	5	1	2	17
合計	0	27	0	17	4	9	57

3日間合計

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

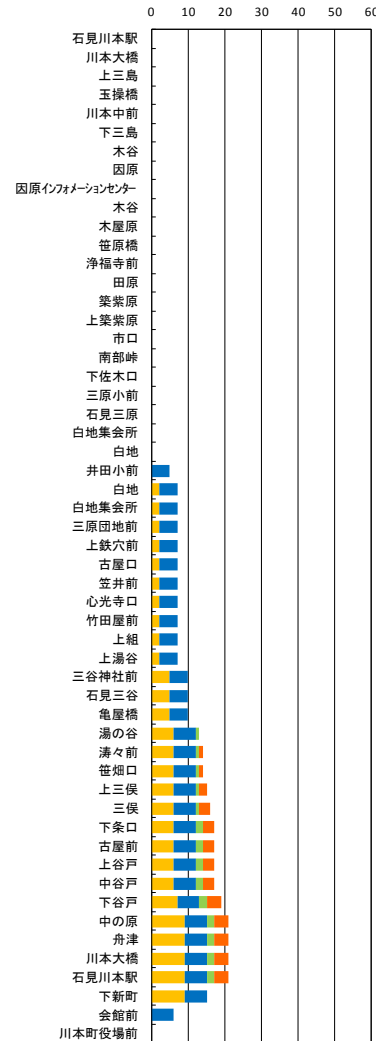
通過人数



6月18日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

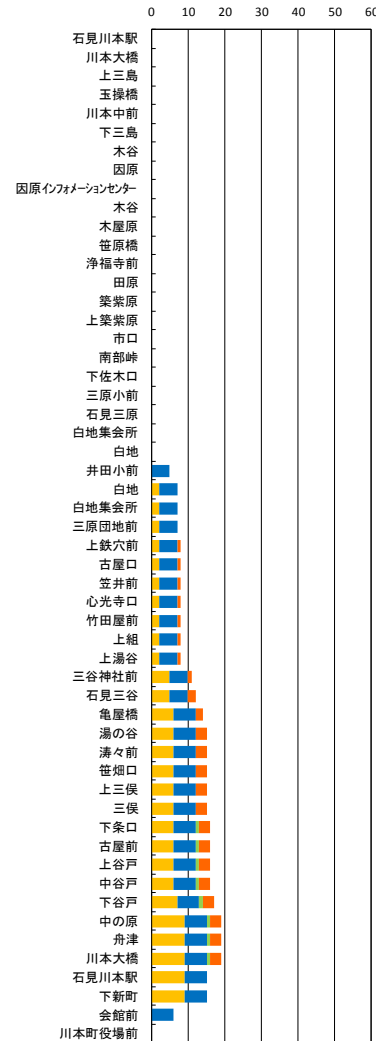
通過人数



6月19日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

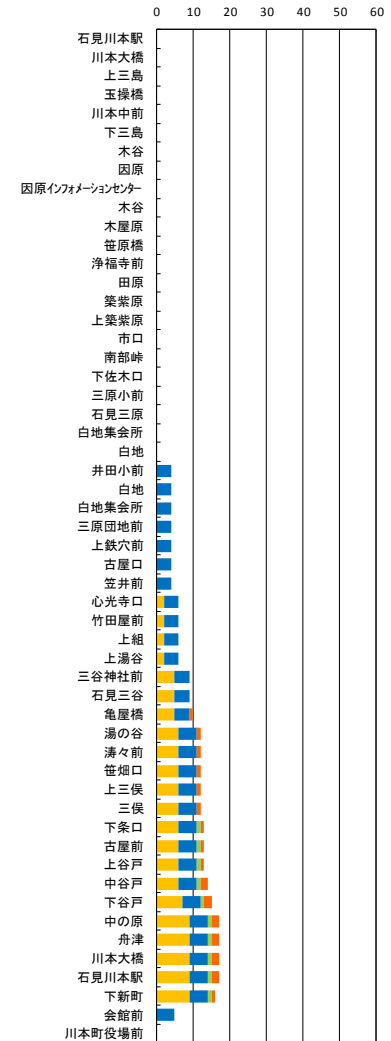
通過人数



6月21日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数



便名:2

石見川本駅 7:08 発

川本町役場前 8:06 着

三谷回り

調査日	就学前	小学生	中学生	高校生	一般	高齢者	計
6月18日	0	13	3	7	1	9	33
6月19日	0	17	1	5	0	3	26
6月21日	0	12	2	7	2	6	29
合計	0	42	6	19	3	18	88

3日間合計

6月18日

6月19日

6月21日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

通過人数

通過人数

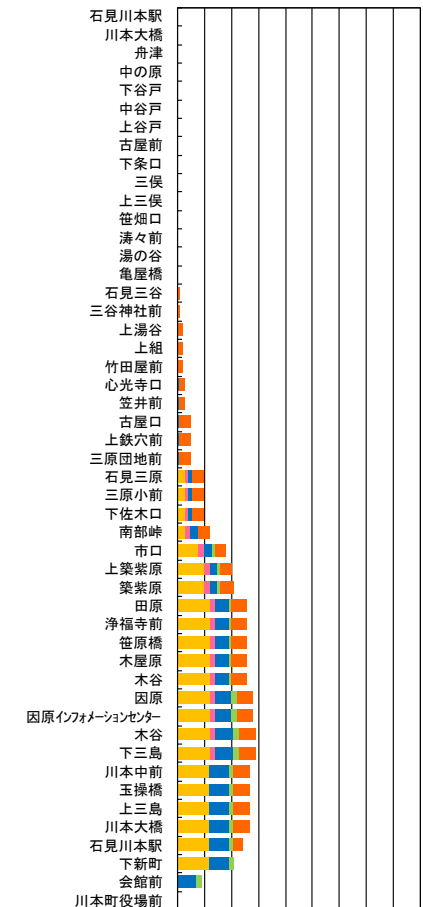
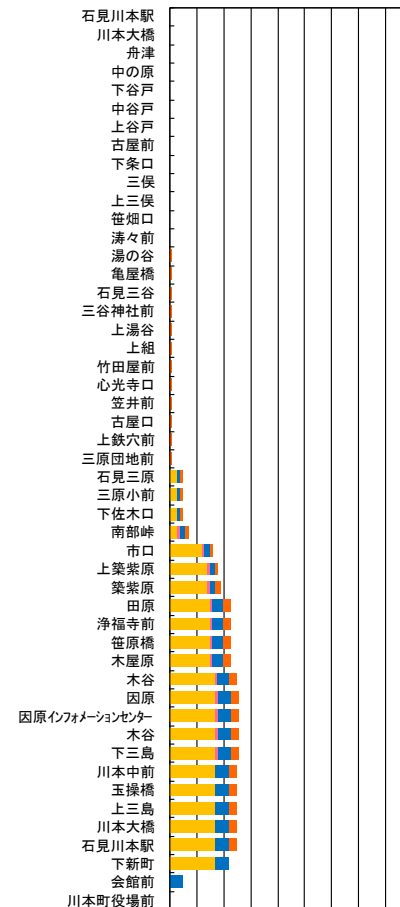
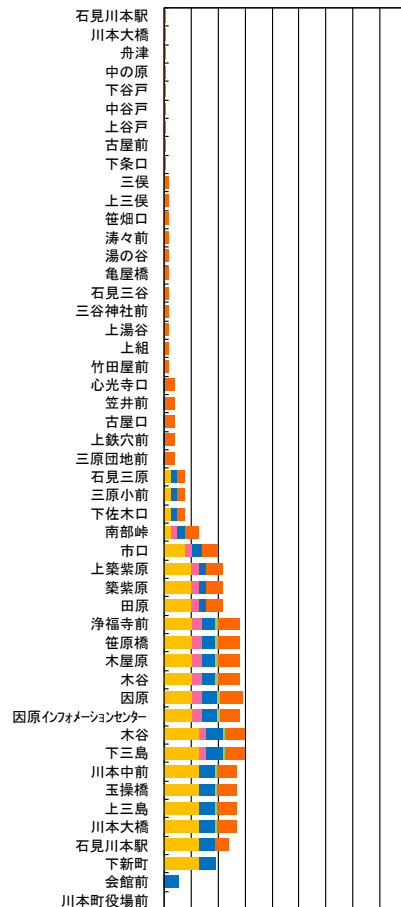
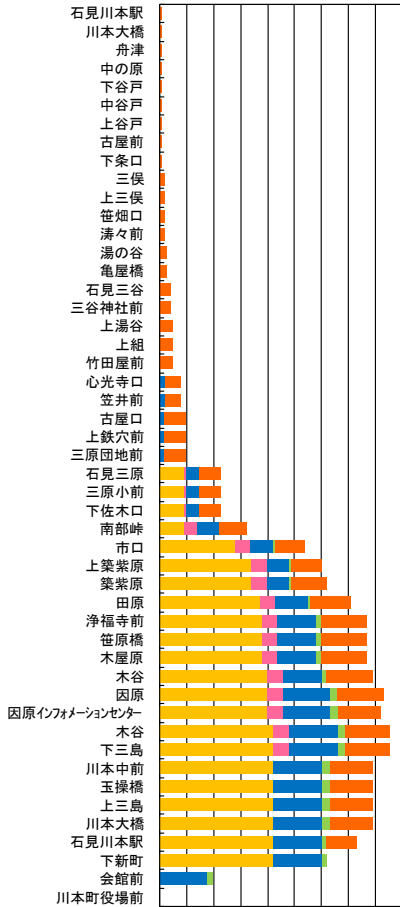
通過人数

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90



便名:3

石見川本駅 9:00 発

川本町役場前 9:55 着

木谷回り

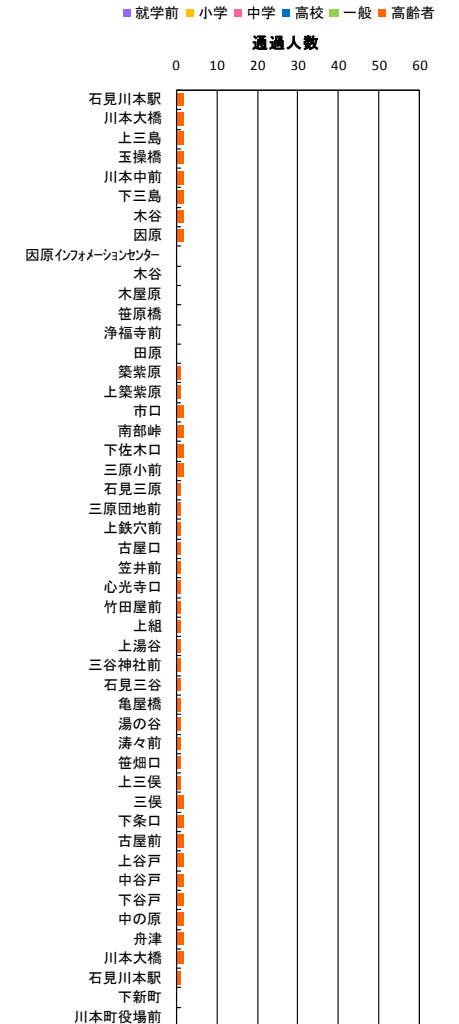
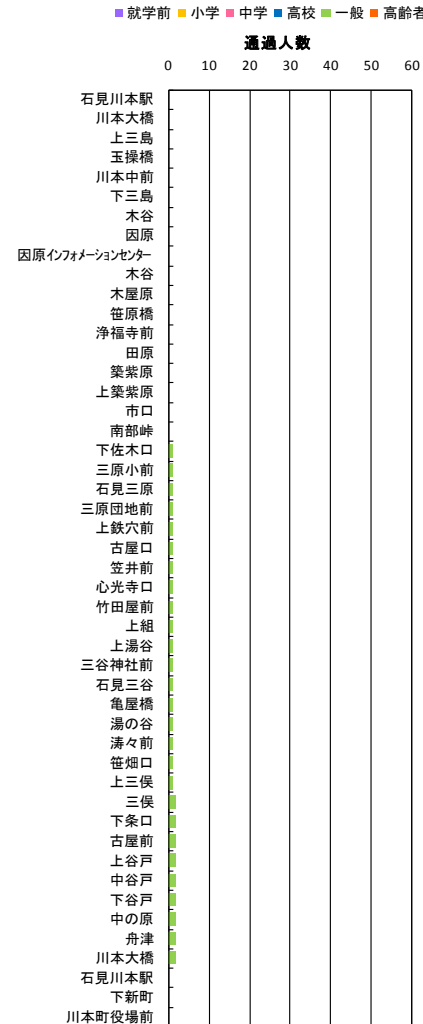
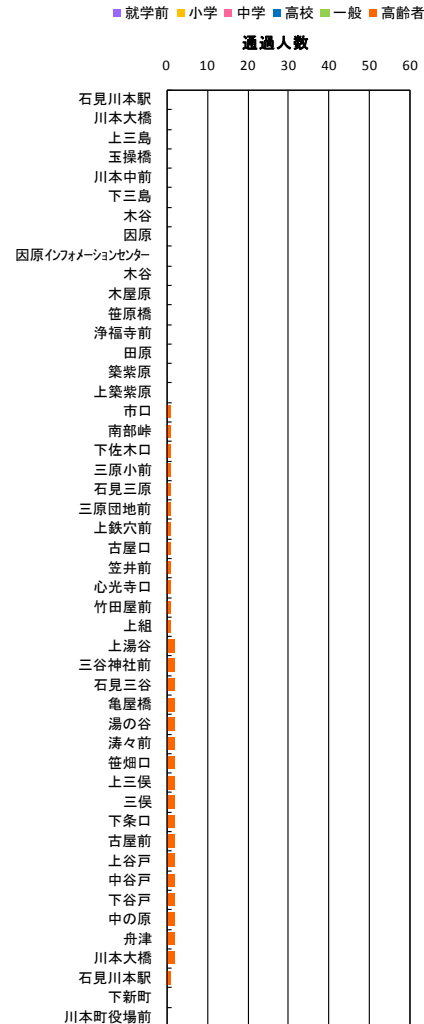
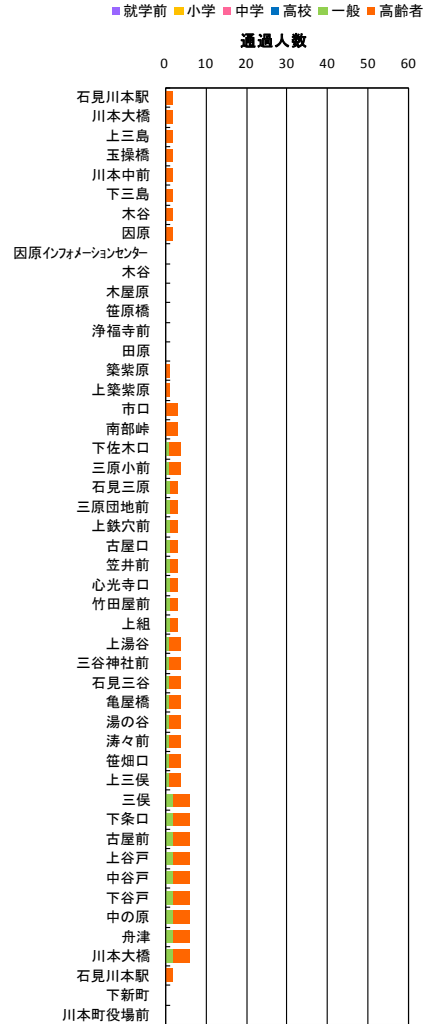
調査日	就学前	小学生	中学生	高校生	一般	高齢者	計
6月18日	0	0	0	0	0	2	2
6月19日	0	0	0	0	2	0	2
6月21日	0	0	0	0	0	5	5
合計	0	0	0	0	2	7	9

3日間合計

6月18日

6月19日

6月21日



便名:201

石見川本駅 10:00 発

湯谷温泉 10:16 着

三谷回り

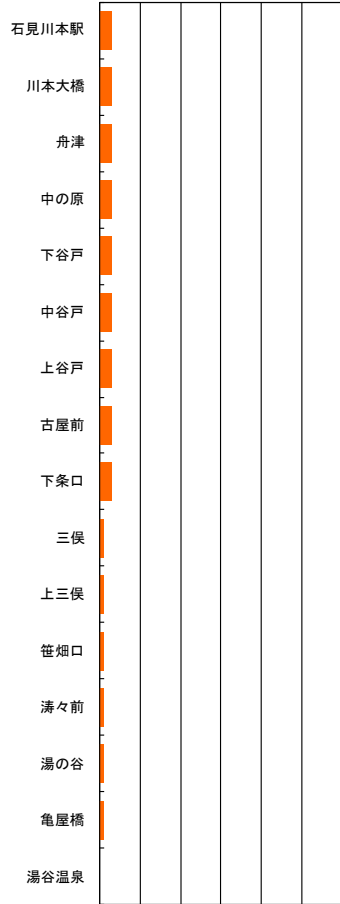
調査日	就学前	小学生	中学生	高校生	一般	高齢者	計
6月18日	0	0	0	0	0	0	0
6月19日	0	0	0	0	0	0	0
6月21日	0	0	0	0	0	2	2
合計	0	0	0	0	0	2	2

3日間合計

■ 就学前 ■ 小学 ■ 中学 ■ 高校 ■ 一般 ■ 高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60

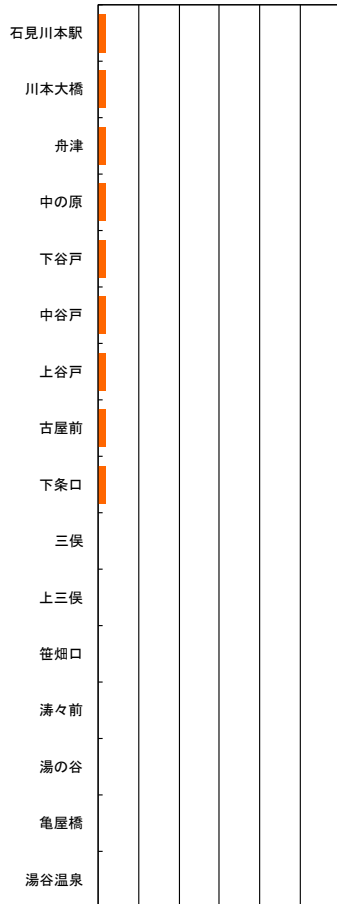


6月18日

■ 就学前 ■ 小学 ■ 中学 ■ 高校 ■ 一般 ■ 高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60

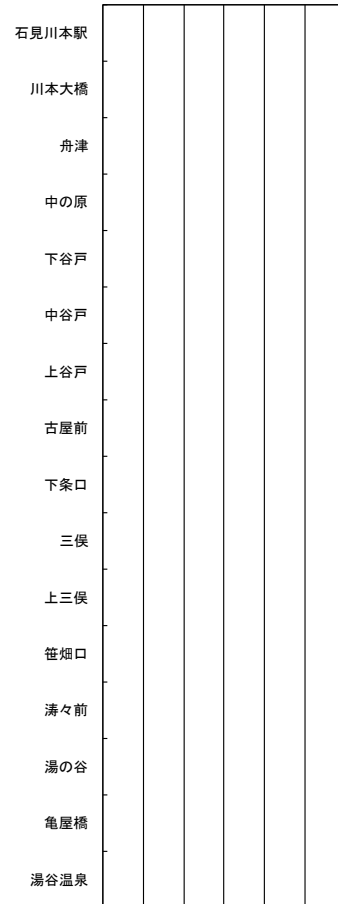


6月19日

■ 就学前 ■ 小学 ■ 中学 ■ 高校 ■ 一般 ■ 高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60

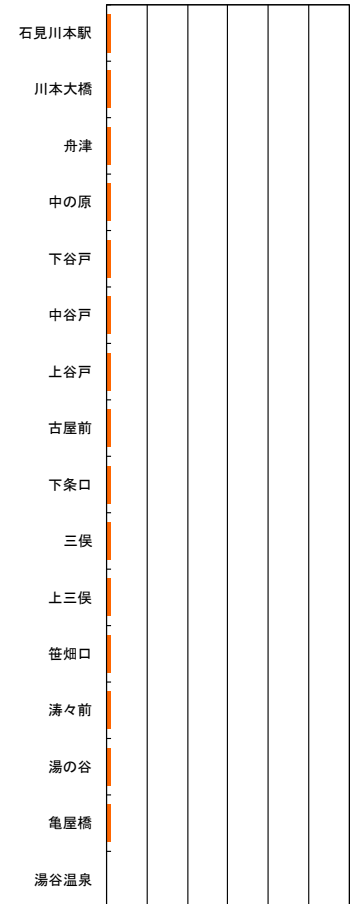


6月21日

■ 就学前 ■ 小学 ■ 中学 ■ 高校 ■ 一般 ■ 高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60



便名:202

湯谷温泉 10:20 発

石見川本駅 10:36 着

木谷回り

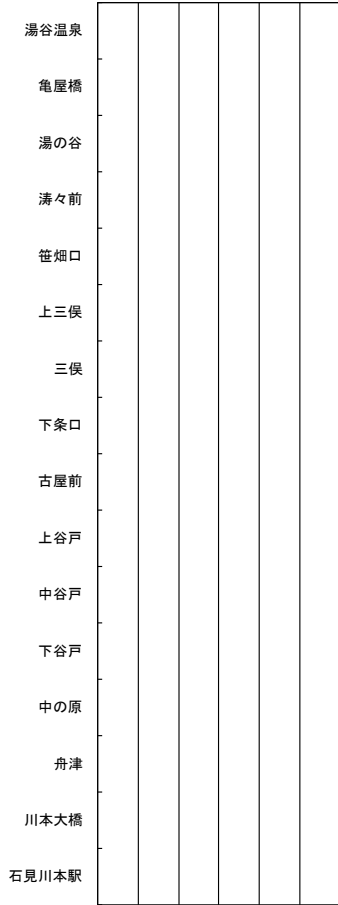
調査日	就学前	小学生	中学生	高校生	一般	高齢者	計
6月18日	0	0	0	0	0	0	0
6月19日	0	0	0	0	0	0	0
6月21日	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0

3日間合計

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60

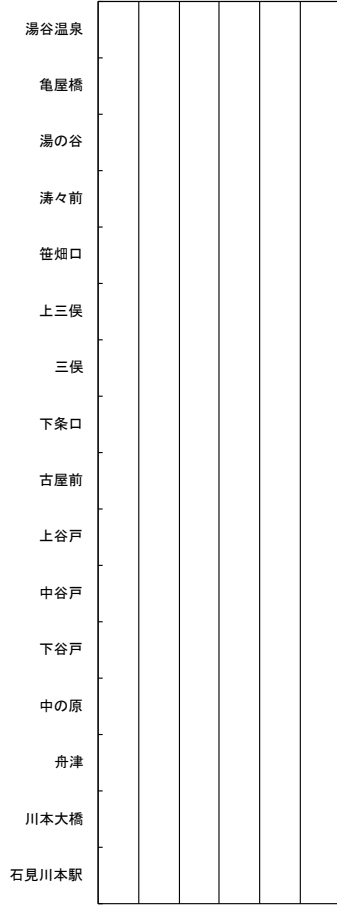


6月18日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60

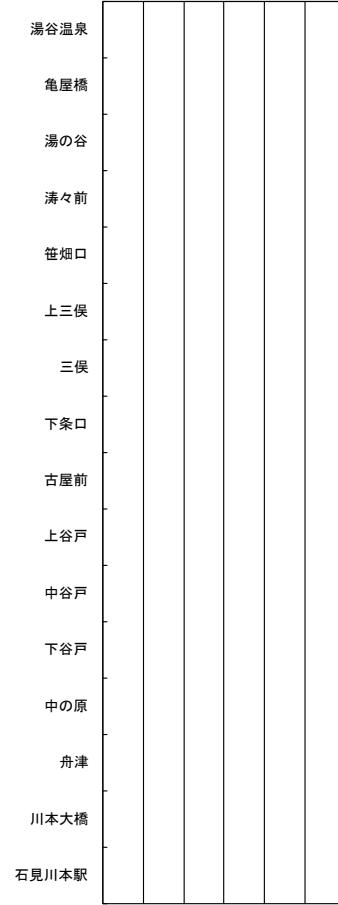


6月19日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60

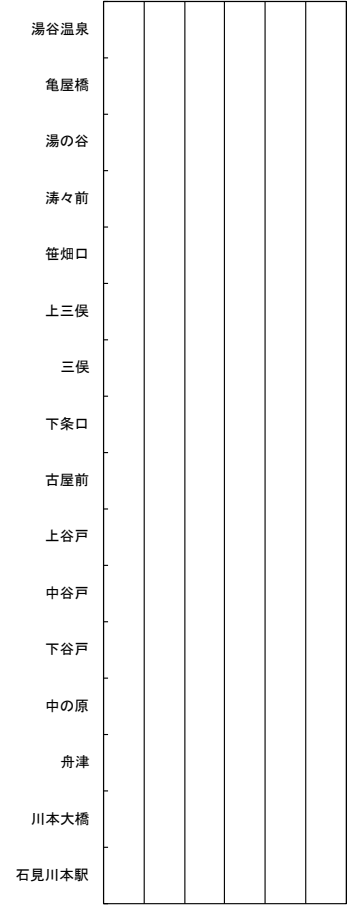


6月21日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60





便名:4

川本町役場前 11:57 発

川本町役場前 13:06 着

三谷回り

調査日	就学前	小学生	中学生	高校生	一般	高齢者	計
6月18日	0	0	0	0	1	11	12
6月19日	0	0	0	0	2	7	9
6月21日	0	0	0	0	1	7	8
合計	0	0	0	0	4	25	29

3日間合計

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数



6月18日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数



6月19日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

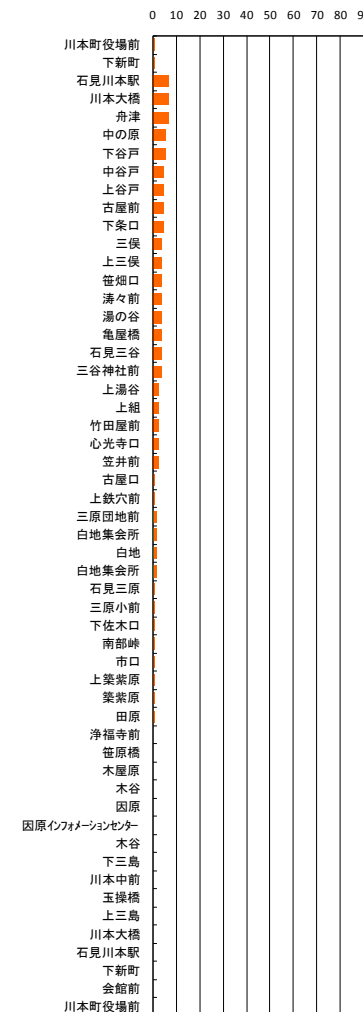
通過人数



6月21日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数



便名:7

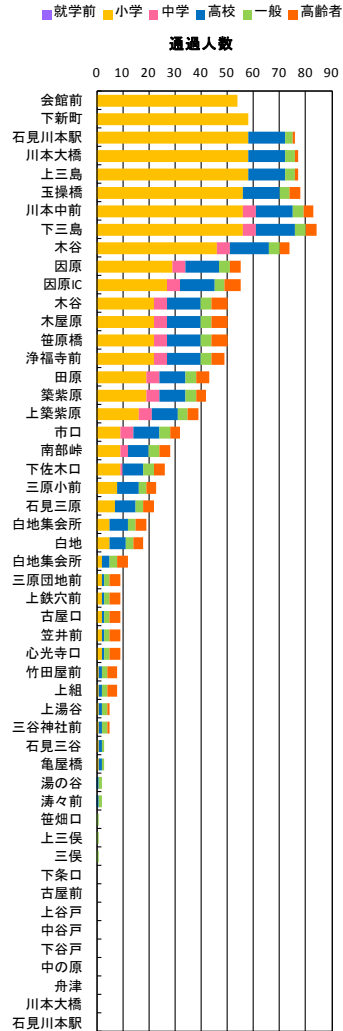
会館前 16:15 発

石見川本駅 17:19 着

木谷回り

調査日	就学前	小学生	中学生	高校生	一般	高齢者	計
6月18日	0	8	1	1	0	0	10
6月19日	0	26	1	11	3	4	45
6月21日	0	24	3	3	1	2	33
合計	0	58	5	15	4	6	88

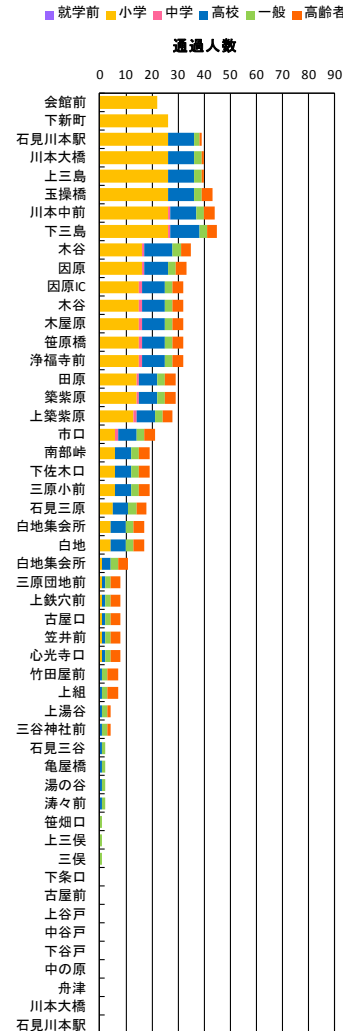
3日間合計



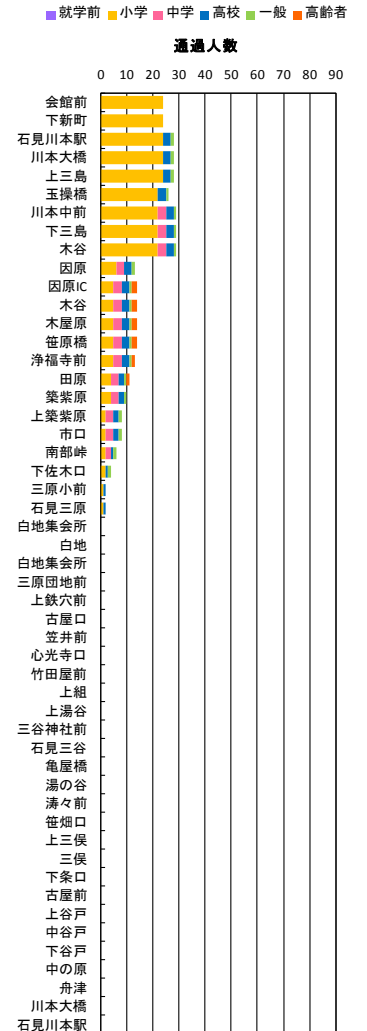
6月18日



6月19日



6月21日



便名 :9

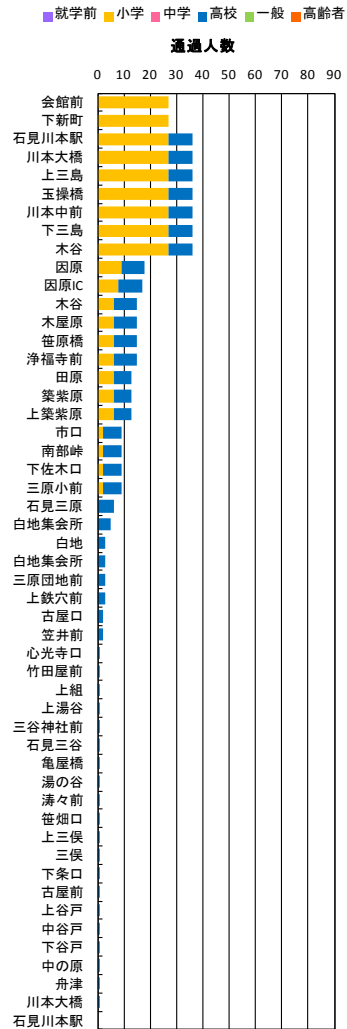
会館前 17:26 発

石見川本駅 18:30 着

木谷回り

調査日	就学前	小学生	中学生	高校生	一般	高齢者	計
6月18日	0	3	0	6	0	0	9
6月19日	0	13	0	1	0	0	14
6月21日	0	11	0	3	0	0	14
合計	0	27	0	10	0	0	37

3日間合計



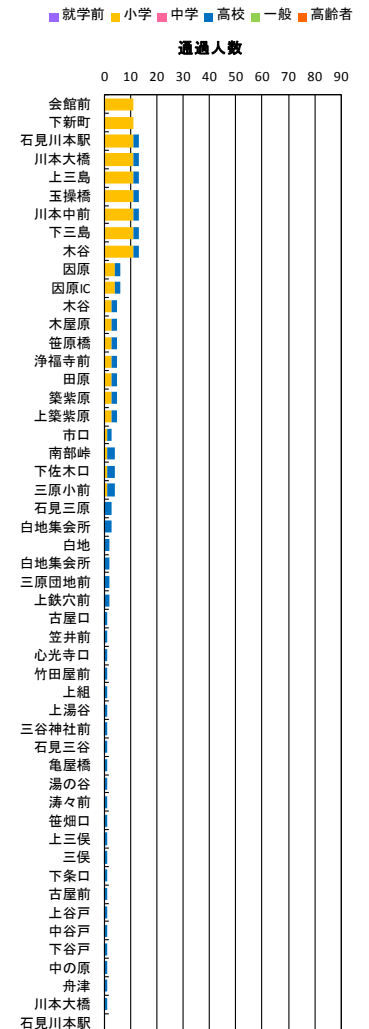
6月18日



6月19日



6月21日



便名:11 石見川本駅 18:35 発 石見川本駅 19:35 着 木谷回り

調査日	就学前	小学生	中学生	高校生	一般	高齢者	計
6月18日	0	0	1	3	0	0	4
6月19日	0	0	0	2	0	0	2
6月21日	0	0	0	4	0	0	4
合計	0	0	1	9	0	0	10

3日間合計

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90

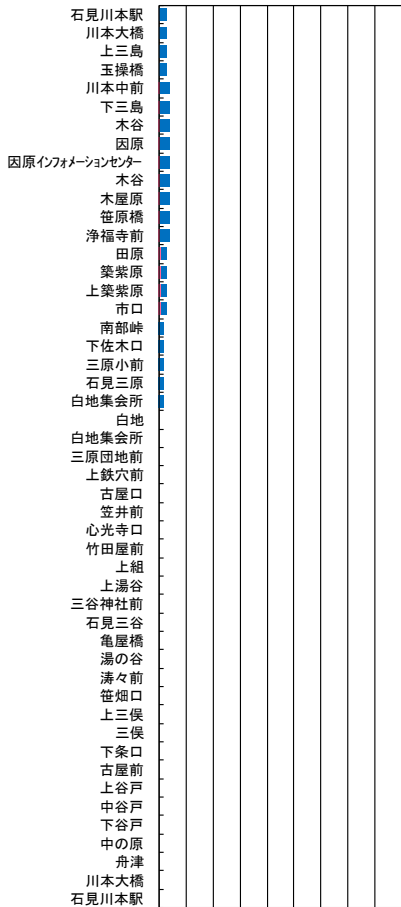


6月18日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90

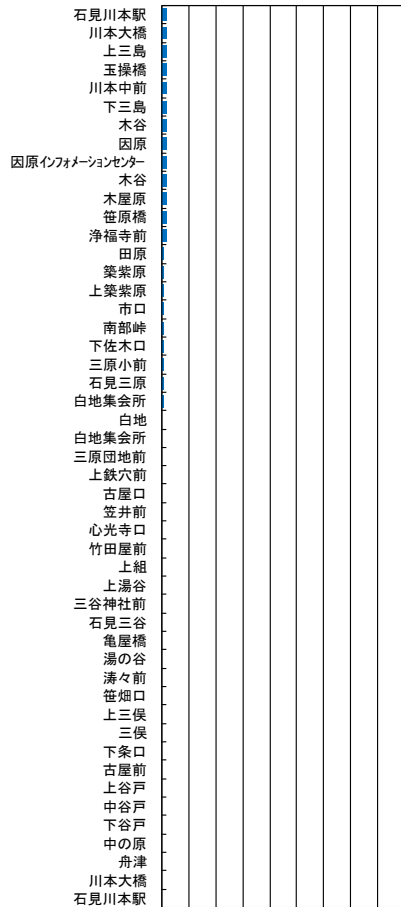


6月19日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90



6月21日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

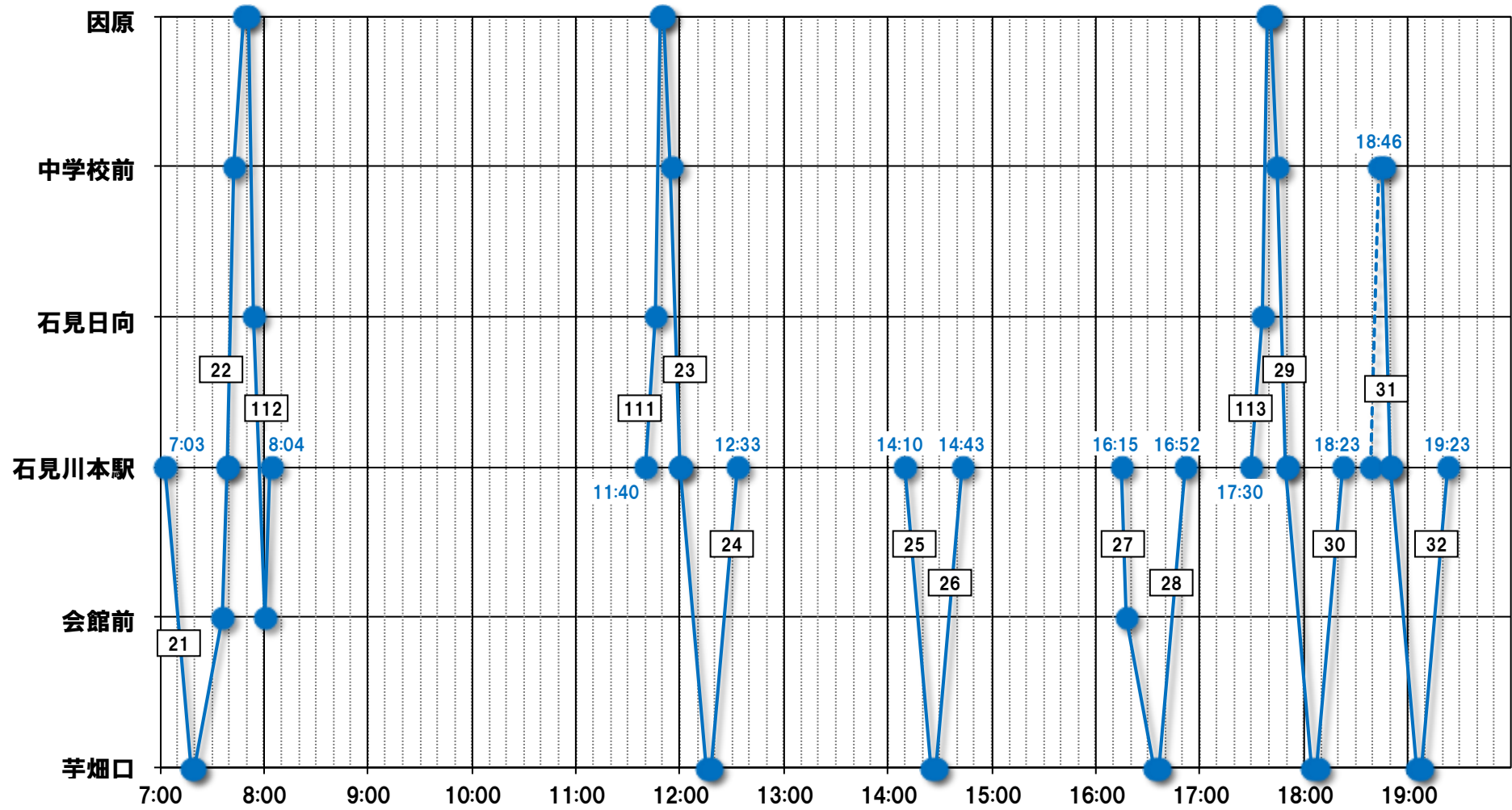
通過人数

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90



(2) 矢谷線

53



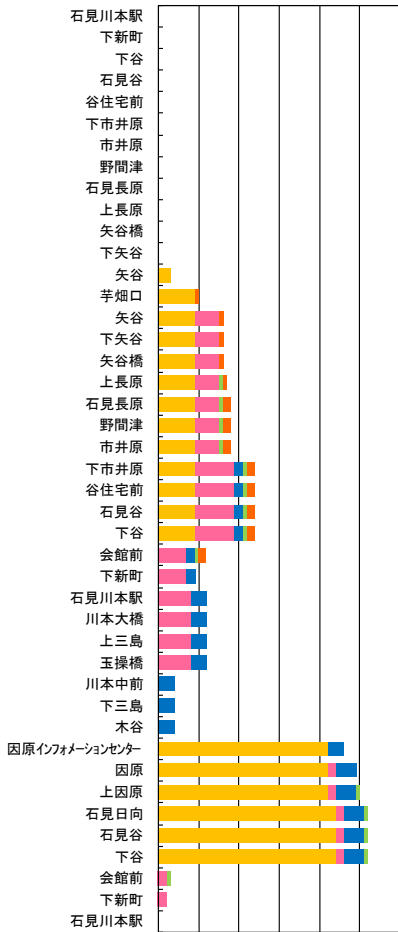
調査日	就学前	小学生	中学生	高校生	一般	高齢者	計
6月18日	0	20	2	5	1	2	30
6月19日	0	16	7	0	1	0	24
6月21日	0	17	7	0	0	0	24
合計	0	53	16	5	2	2	78

3日間合計

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60

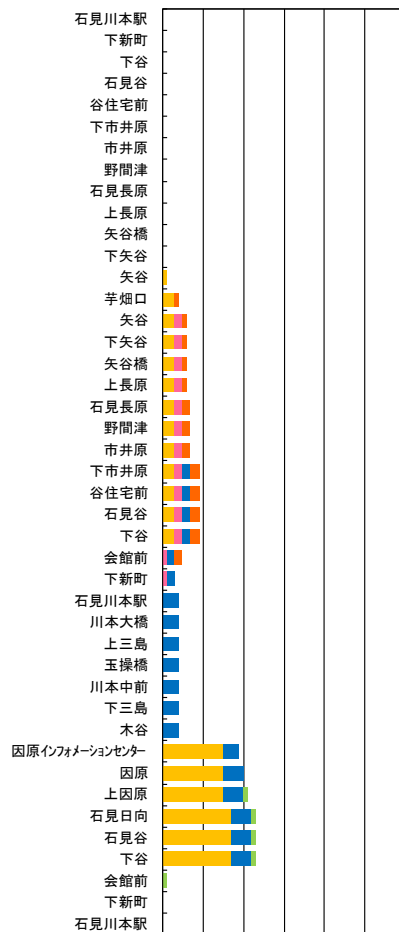


6月18日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60

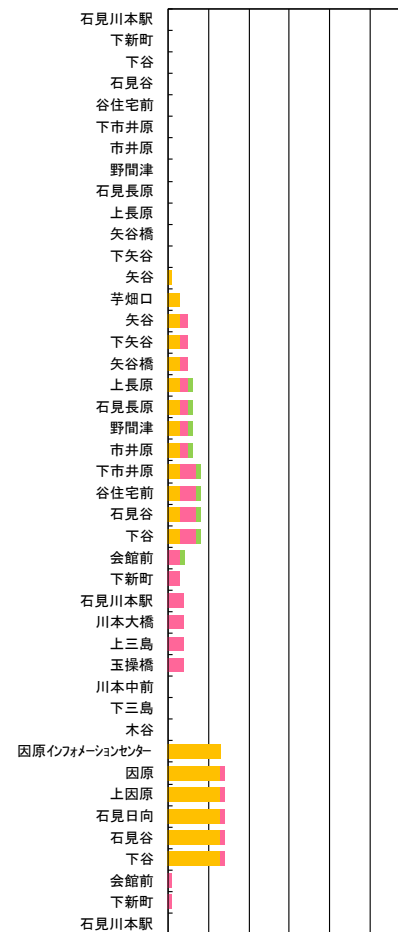


6月19日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60

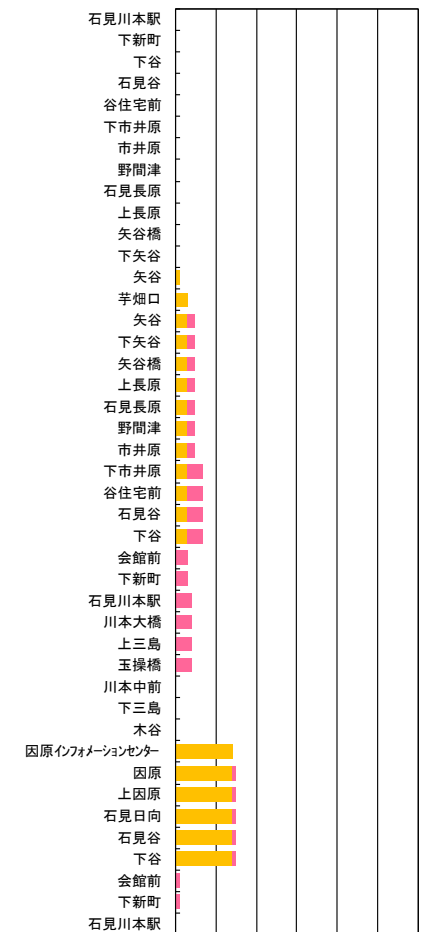


6月21日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60



便名: 111-23-24

石見川本駅 11:40 発→因原→芋畑口→石見川本駅 12:33 着

調査日	就学前	小学生	中学生	高校生	一般	高齢者	計
6月18日	0	0	0	0	1	3	4
6月19日	0	0	0	0	0	0	0
6月21日	0	0	0	0	2	4	6
合計	0	0	0	0	3	7	10

3日間合計

6月18日

6月19日

6月21日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

通過人数

通過人数

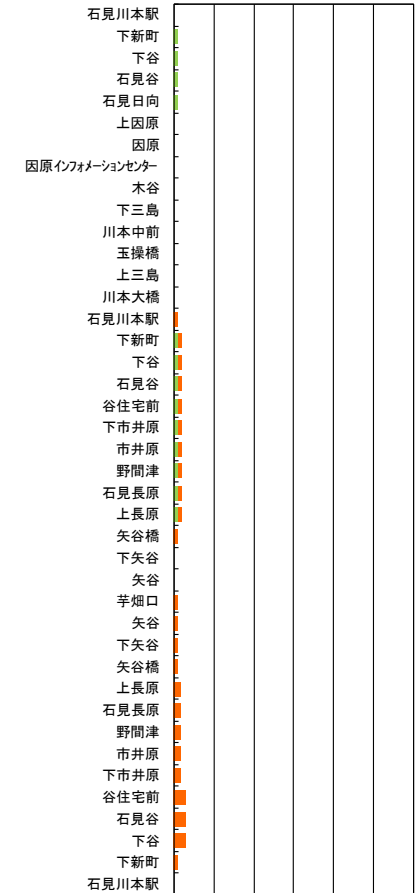
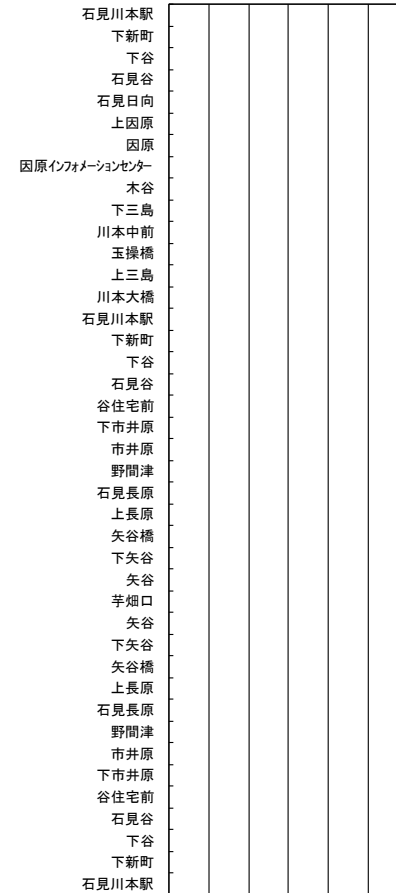
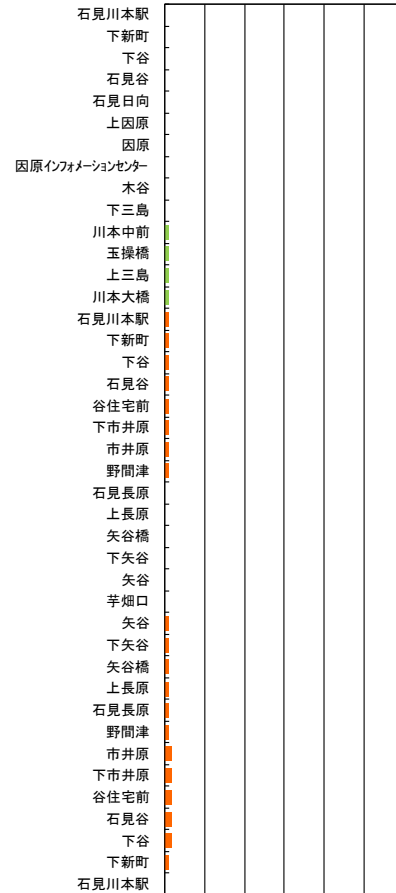
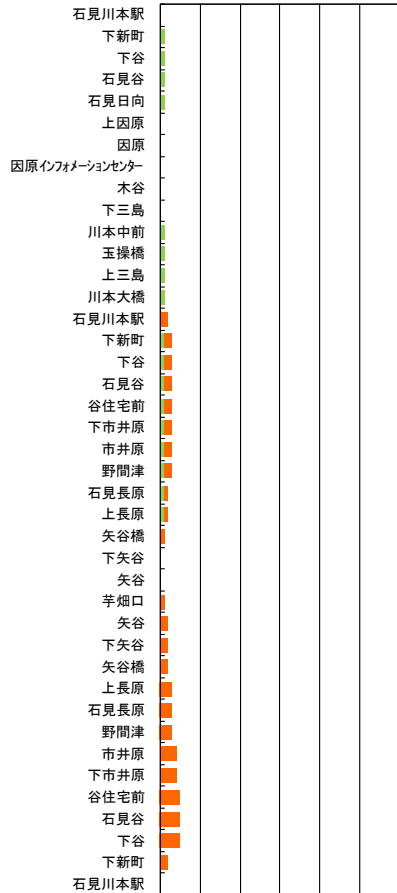
通過人数

0 10 20 30 40 50 60

0 10 20 30 40 50 60

0 10 20 30 40 50 60

0 10 20 30 40 50 60



便名: 25・26

石見川本駅 14:10 発→芋畑口→石見川本駅 14:43 着

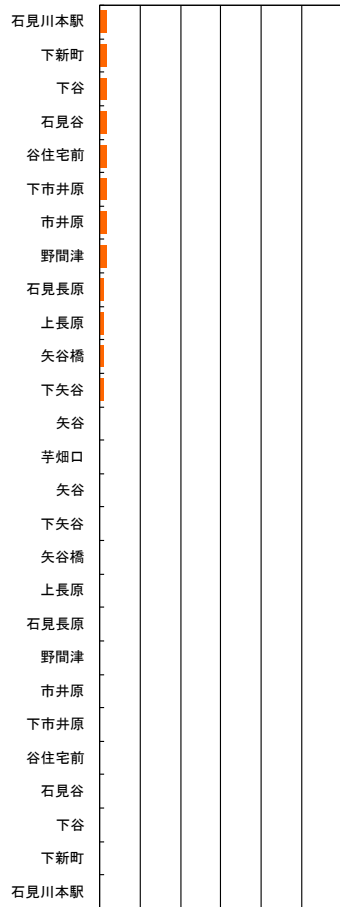
調査日	就学前	小学生	中学生	高校生	一般	高齢者	計
6月18日	0	0	0	0	0	0	0
6月19日	0	0	0	0	0	0	0
6月21日	0	0	0	0	0	2	2
合計	0	0	0	0	0	2	2

3日間合計

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60



6月18日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60

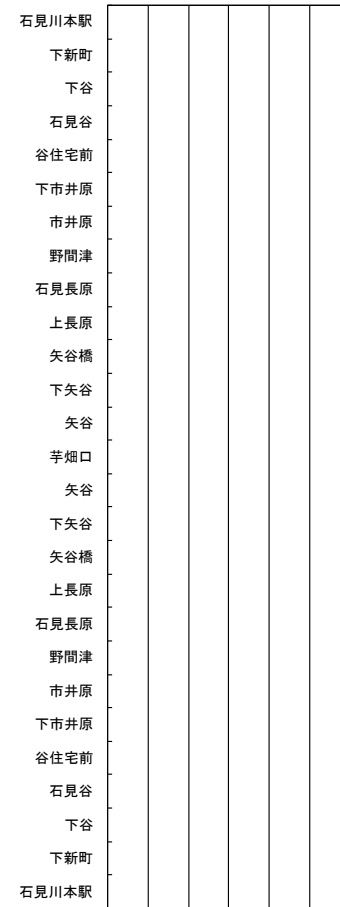


6月19日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60

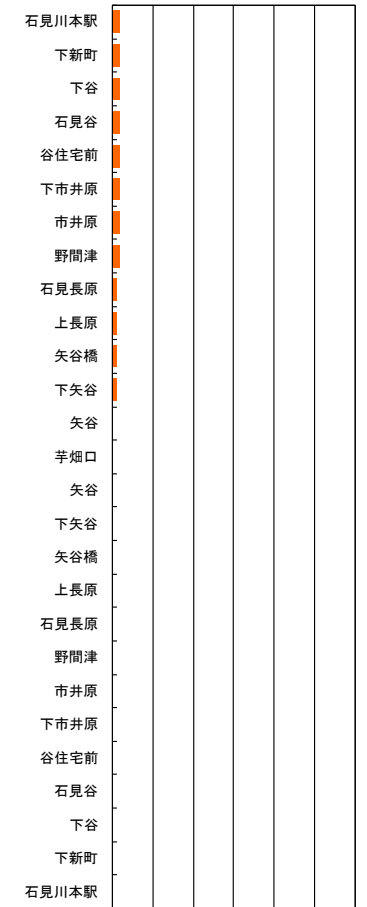


6月21日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60





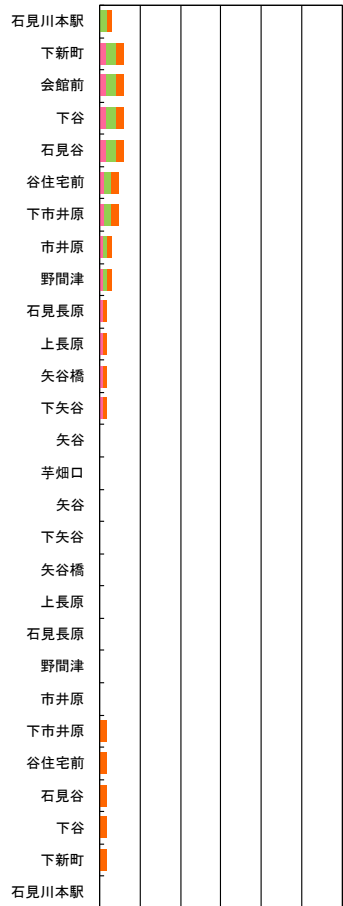
調査日	就学前	小学生	中学生	高校生	一般	高齢者	計
6月18日	0	0	0	0	2	3	5
6月19日	0	0	1	0	0	0	1
6月21日	0	0	1	0	0	1	2
合計	0	0	2	0	2	4	8

3日間合計

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60

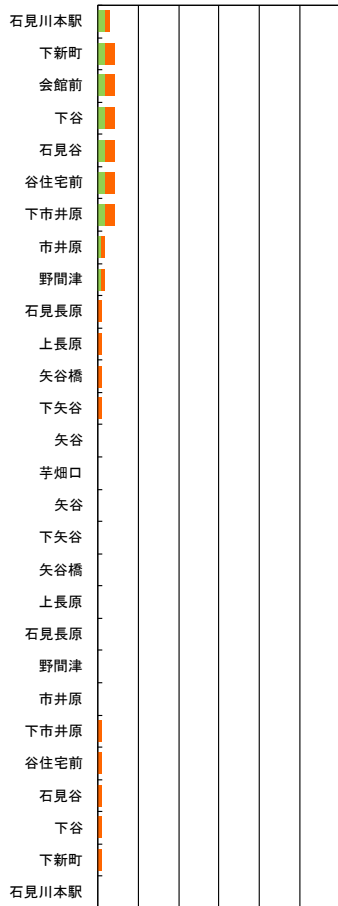


6月18日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60

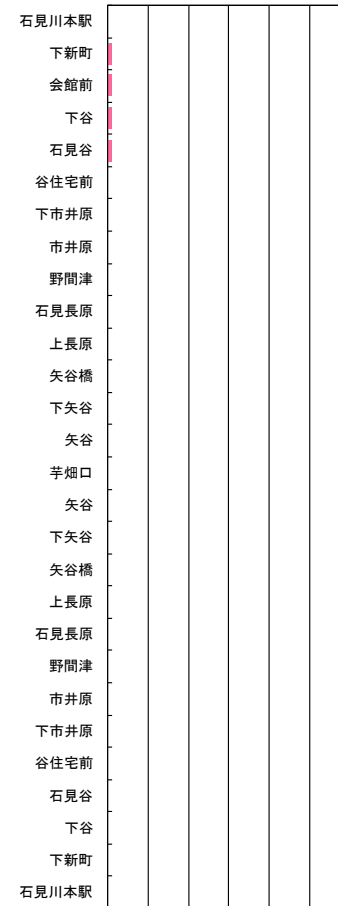


6月19日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60



6月21日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60



便名: 113-29-30

石見川本駅 17:30 発→因原→芋畑口→石見川本駅 18:23 着

調査日	就学前	小学生	中学生	高校生	一般	高齢者	計
6月18日	0	0	0	3	1	0	4
6月19日	0	0	1	0	2	0	3
6月21日	0	0	3	0	1	0	4
合計	0	0	4	3	4	0	11

3日間合計

6月18日

6月19日

6月21日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

通過人数

通過人数

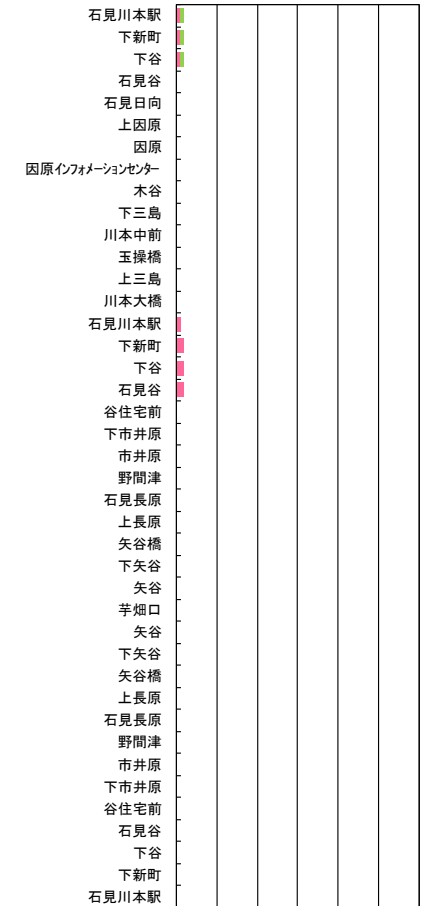
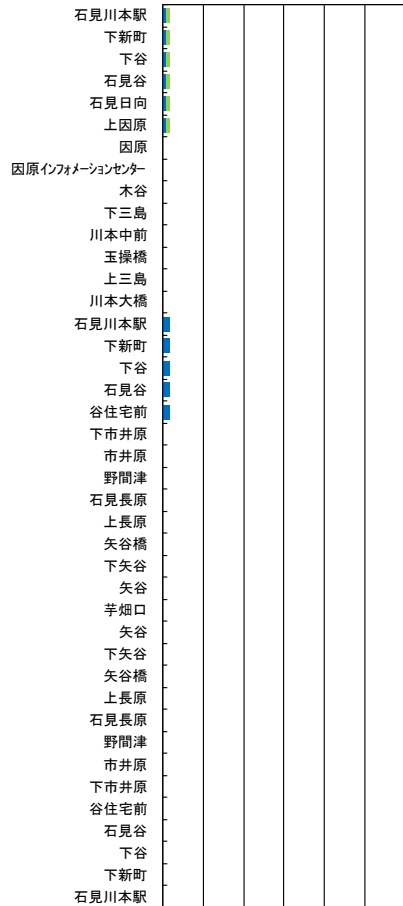
通過人数

0 10 20 30 40 50 60

0 10 20 30 40 50 60

0 10 20 30 40 50 60

0 10 20 30 40 50 60



便名 31.32

川本中学校前 18:46 発→芋畑口→石見川本駅 19:23 着

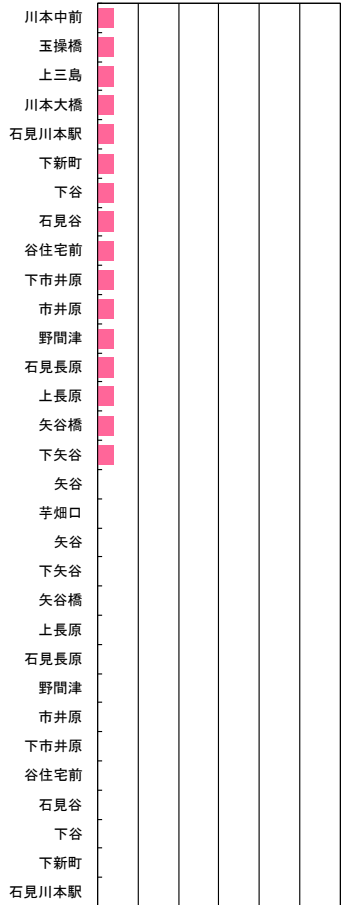
調査日	就学前	小学生	中学生	高校生	一般	高齢者	計
6月18日	0	0	2	0	0	0	2
6月19日	0	0	2	0	0	0	2
6月21日	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	4	0	0	0	4

3日間合計

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60

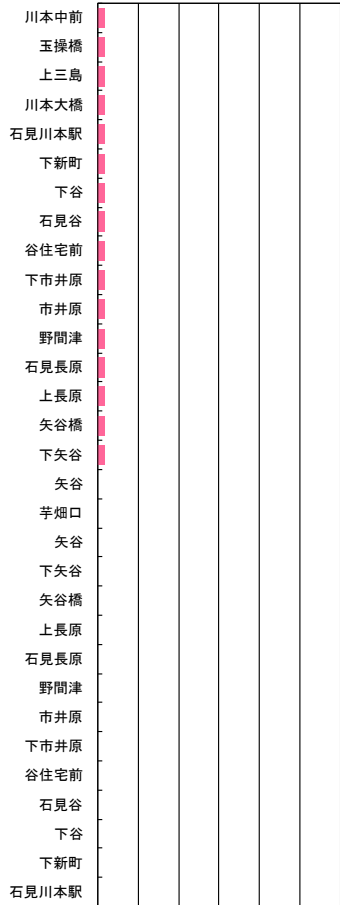


6月18日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60



6月19日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60



6月21日

■就学前 ■小学 ■中学 ■高校 ■一般 ■高齢者

通過人数

0 10 20 30 40 50 60



## 2. 川本町スクールバス利用者アンケート調査結果

### (1) 調査概要

#### ① 目的

○川本町スクールバスの利用状況を詳細に調査し、改善点等を検討するための基礎資料とする。

#### ② 実施時期

○平成 25 年 6 月 18 日（火）・19 日（水）・21 日（金）の 3 日間

※「まげなタクシー」の運行日に合わせて実施

#### ③ 調査方法

○調査員が川本町スクールバス全便に 3 日間乗車し、アンケート用紙を配布・回収するとともに、乗降バス停の人数を把握した。（※アンケートの配布は小中学生・高校生を除く一般利用者を対象とした）

#### ④ 調査内容

○アンケート調査

○乗降調査

#### ◆アンケート調査項目◆

- ①性別      ②年齢層      ③住所      ④免許の有無
- ⑤バス利用区間（乗車バス停、降車バス停）
- ⑥主な利用目的（通勤、通学、通院、買物、ビジネス、観光・レジャー、その他）
- ⑦支払方法（定期券、回数券、現金）
- ⑧バス利用について（利用回数、土日祝日の利用、希望するバスの時間）
- ⑨「まげなタクシー」について（認知度、利用の有無等）      ⑩自由意見

#### ⑤ 回収枚数

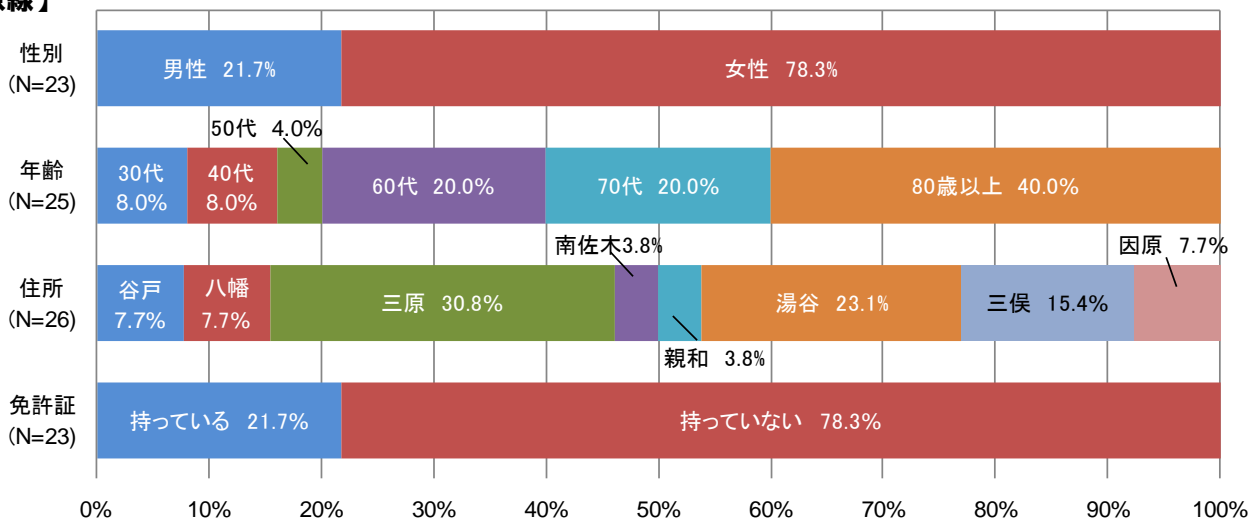
○アンケート用紙を 80 枚配布し、44 枚回収した。（回収率 55.0%）

路線名	配布枚数	回収枚数	回収率
三原線	61 枚	26 枚	42.6%
矢谷線	19 枚	18 枚	94.7%
計	80 枚	44 枚	55.0%

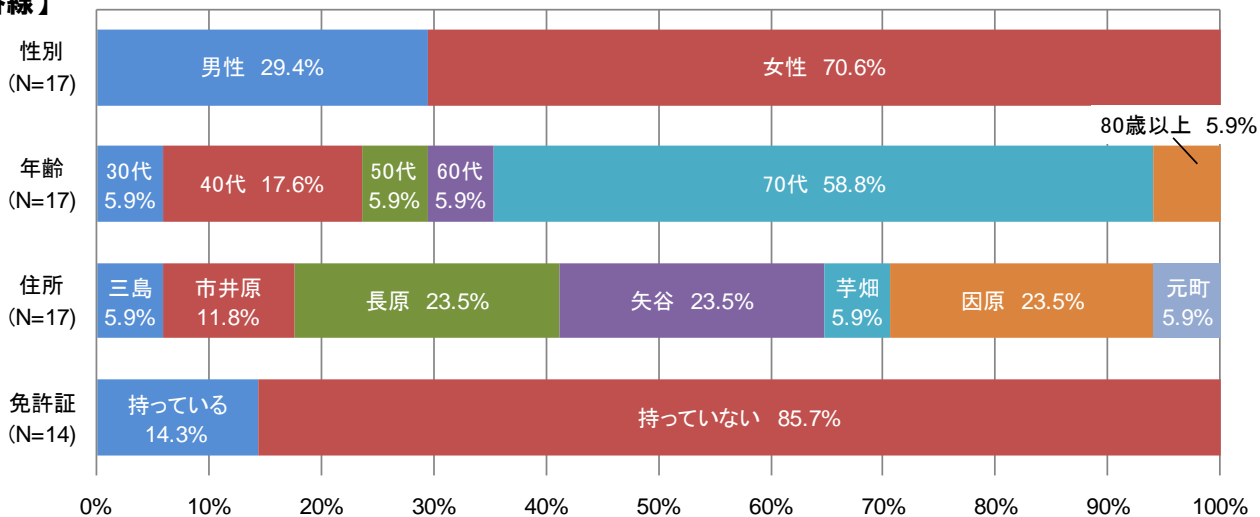
## (2)利用者の属性

- 性別では、三原線、矢谷線とも女性が7割以上を閉めている。
- 年齢構成では、三原線、矢谷線とも70代以上が6割を超えている。
- 住所は、三原線では「三原」「湯谷」「三俣」の占める割合が、矢谷線では「矢谷」「長原」「因原」の占める割合が高い。
- 免許証保有の有無については、全体として8割程度が「持っていない」と回答している。

### 【三原線】



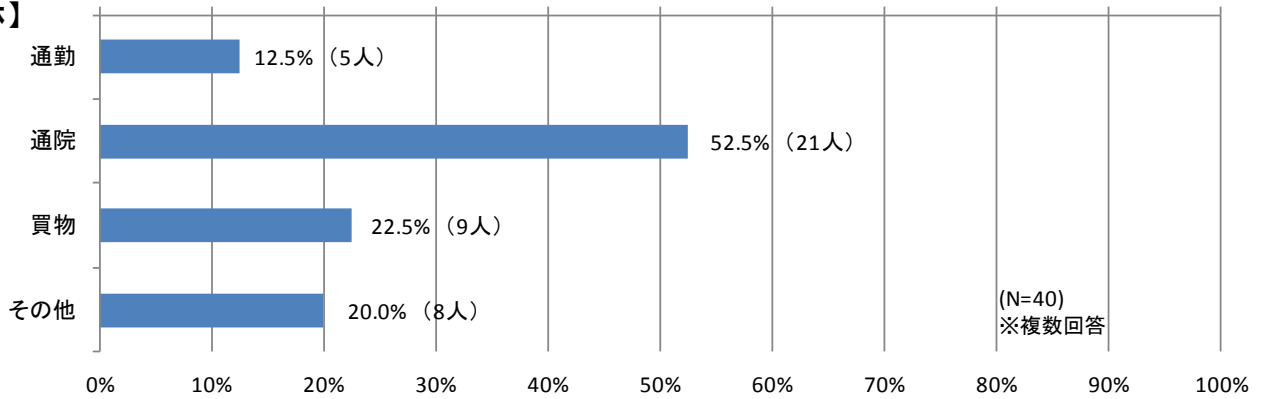
### 【矢谷線】



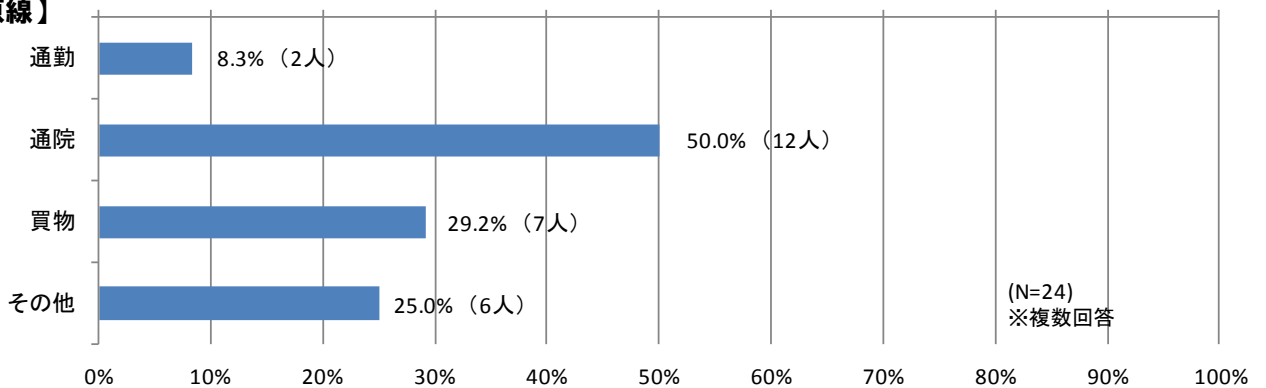
### (3)利用目的

○全体としては「通院」の割合が最も高く、「買物」「その他」「通勤」の順となっている。  
 ○路線別にみると、三原線、矢谷線とも「通院」の割合が最も高くなっているが、矢谷線で「通勤」の割合が高いのが特徴的である。

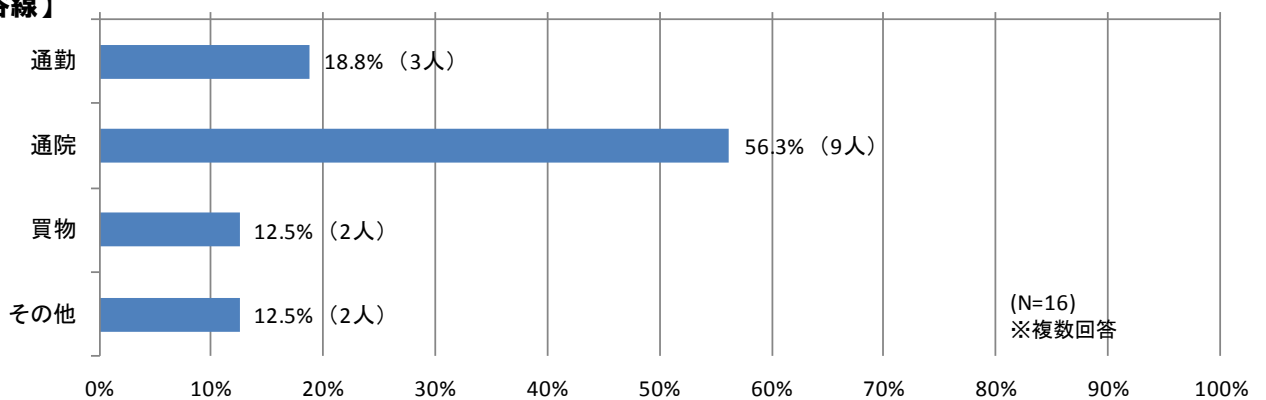
#### 【全体】



#### 【三原線】



#### 【矢谷線】

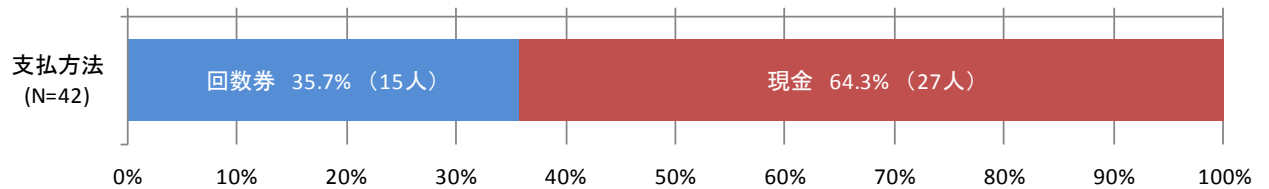


その他具体的内容
会議へ出席
銀行等

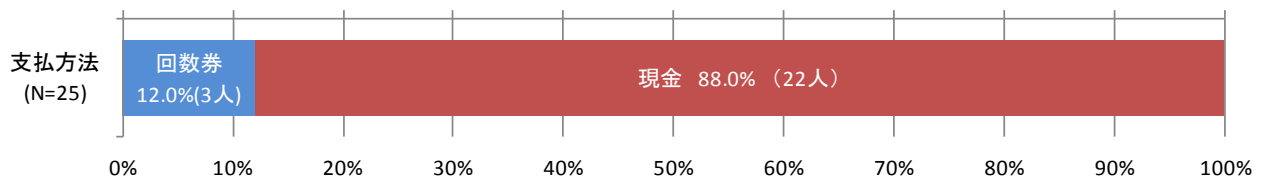
#### (4)支払方法

○支払い方法は、全体で見ると「現金」の割合が「回数券」よりも高いが、矢谷線は「回数券」の割合が「現金」を上回っている。

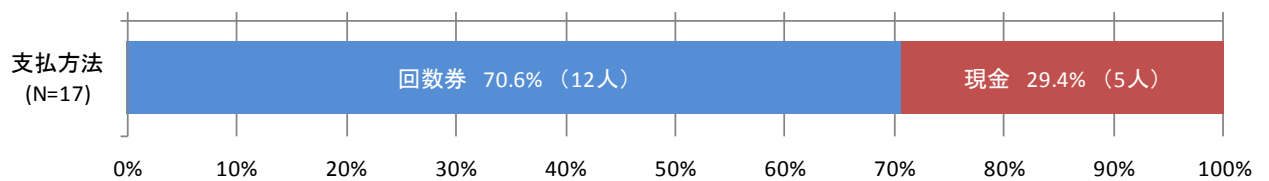
##### 【全体】



##### 【三原線】



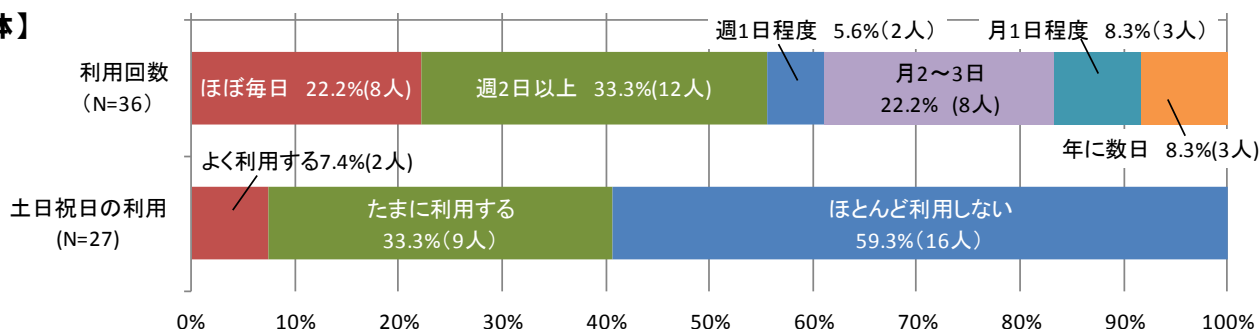
##### 【矢谷線】



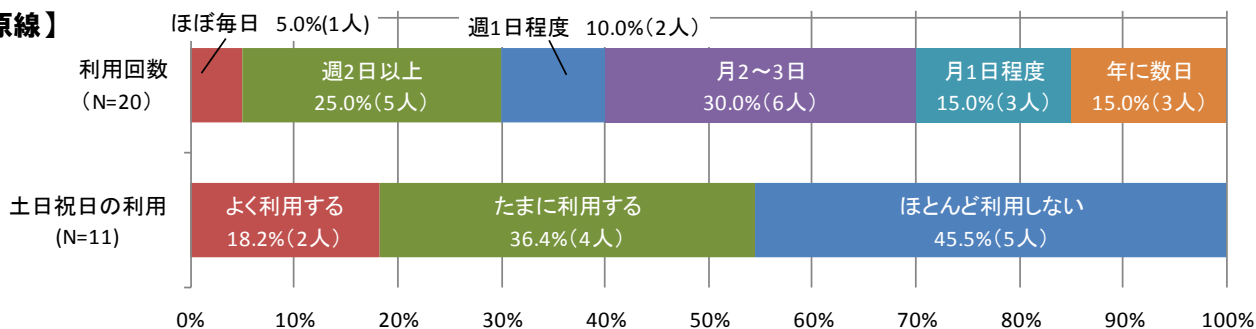
## (5) 利用回数、土日祝日の利用

- バスの利用頻度は、全体では「週2日以上」の割合が最も高く、「ほぼ毎日」と「月2~3回」が次いで高い。
- 三原線では「月2~3回」の割合が最も高いのに対し、矢谷線では「ほぼ毎日」と「週2日以上」が同数で、全体の9割近くになっており、矢谷線の方が利用頻度が高くなっている。
- 利用目的と利用頻度の関係を見ると、「通勤」は「ほぼ毎日」、「通院」は「週2日以上」、「買物」は「月2~3回」を挙げる割合が高い。
- 土日の利用については、矢谷線が平日運行となっているため、「ほとんど利用しない」割合が高い。

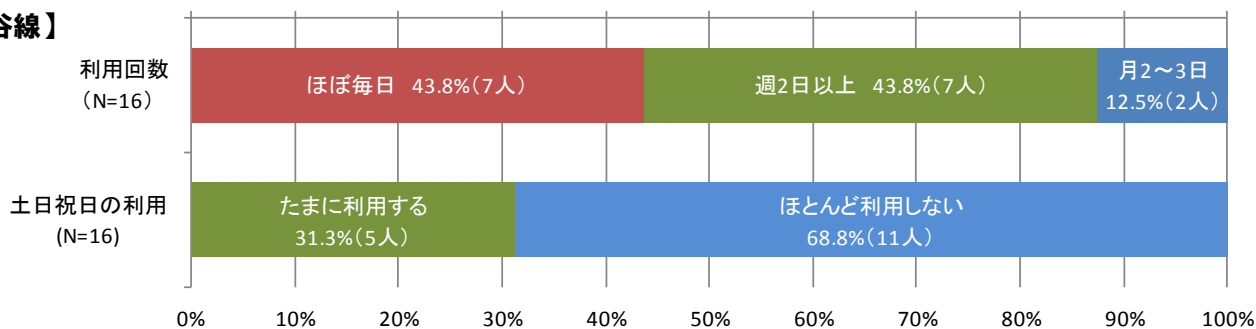
### 【全体】



### 【三原線】



### 【矢谷線】



利用目的と利用頻度の関係

項目	通勤	通院	買物	ビジネス	観光レジャー	その他	計
ほぼ毎日	3	3	1			1	8
週2日以上	1	8	2				11
週1日程度		2					2
月2~3日	1	3	3			3	10
月1日程度		1				1	2
年に数回		2	1			1	4
今回がはじめて							
計	5	19	7			6	37



## (6)希望するバスの時間帯

○全体的な傾向として、石見川本駅方面への早い時間（7:00～7:30）の到着を希望する声が挙がっている。

○三原線で中心部から三原方面への 13:00～15:00 頃の便の希望がある。（昨年度廃止した便）

○矢谷線で、現在運行していない 8：30～11：00 の時間帯の便を求める声がある。

No	出発地	到着地	到着時間	性別	年代	住所	利用目的・頻度
1	田原	石見川本駅	7:00	女性	80 歳以上	八幡	通院
2	因原	〃	7:30	男性	40 代	因原	通勤でほぼ毎日バスを利用
3	三原	〃	7:30	女性	-	三原	通院で週 2 日以上バスを利用
4	谷戸	〃	8:00	女性	70 代	谷戸	通院で月に 2～3 日バスを利用
5	芋畑	〃	8:30	男性	60 代	芋畑	通院で週 2 日以上バスを利用
6	田原	〃	9:00	女性	80 歳以上	八幡	通院
7	因原	〃	9:30	女性	70 代	因原	月に 2～3 日バスを利用
8	本町	〃	午前中	女性	70 代	本町	通勤でほぼ毎日バスを利用
9	因原	〃	13:00	女性	70 代	因原	月に 2～3 日バスを利用
10	三原	〃	15:00	女性	60 代	三原	月に 2～3 日バスを利用
11	川本	下矢谷	10:30	女性	70 代	矢谷	通院で週 2 日以上バスを利用
12	川本	矢谷橋	11:00	女性	40 代	矢谷	通院で週 2 日以上バスを利用
13	川本	三俣	午前中	女性	80 歳以上	三俣	通院で月 1 日程度利用
14	川本	因原	13:00	女性	70 代	因原	月に 2～3 日バスを利用
15	川本	湯谷	14:00	男性	80 代	親和	通院で週 2 日以上バスを利用
16	川本	湯谷	14:00	女性	70 代	親和	月に 2～3 日バスを利用
17	川本	市井原	15:00	女性	50 代	市井原	週 2 日以上バスを利用
18	川本	下条口	15:00	男性	30 代	三俣	通勤でほぼ毎日バスを利用
19	川本	笹畑口	午後	女性	80 歳以上	三俣	通院で週 1 日程度利用

三原線

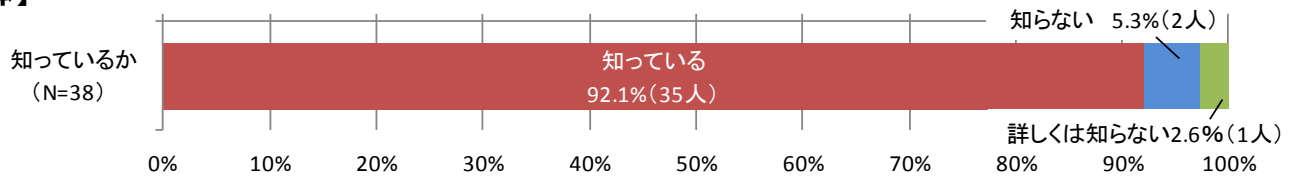
矢谷線

## (7)「まげなタクシー」について

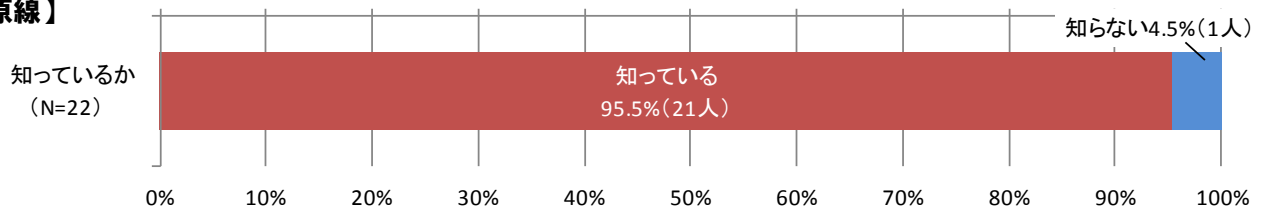
### ①認知度

○全体では9割以上の方が「まげなタクシー」の運行を認知しており、三原線利用者のほうが矢谷線利用者より認知度の割合が若干高い。

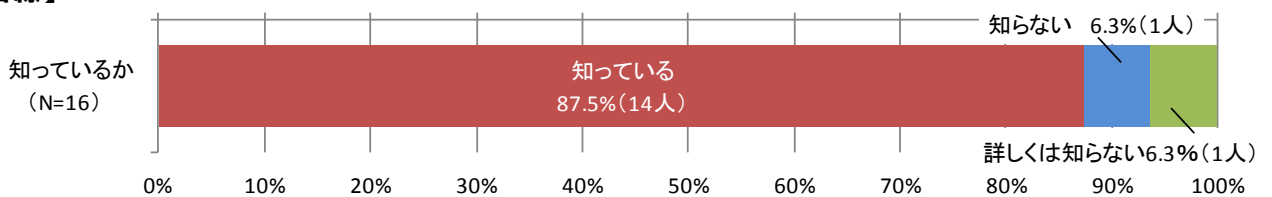
#### 【全体】



#### 【三原線】



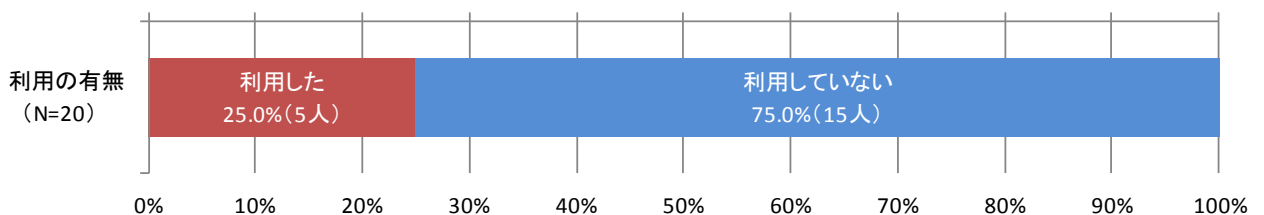
#### 【矢谷線】



### ②利用の有無

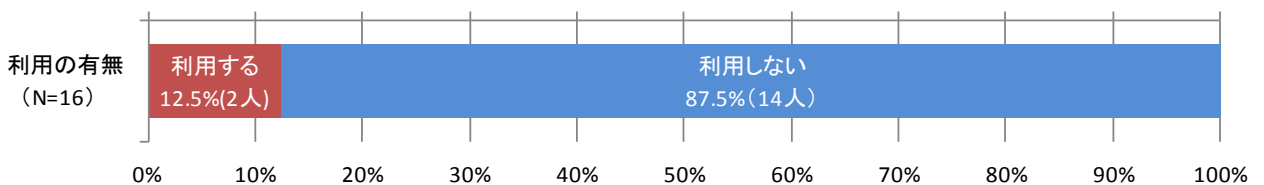
#### 【三原線】

○三原線利用者の4分の1が「まげなタクシー」を利用している。



#### 【矢谷線】

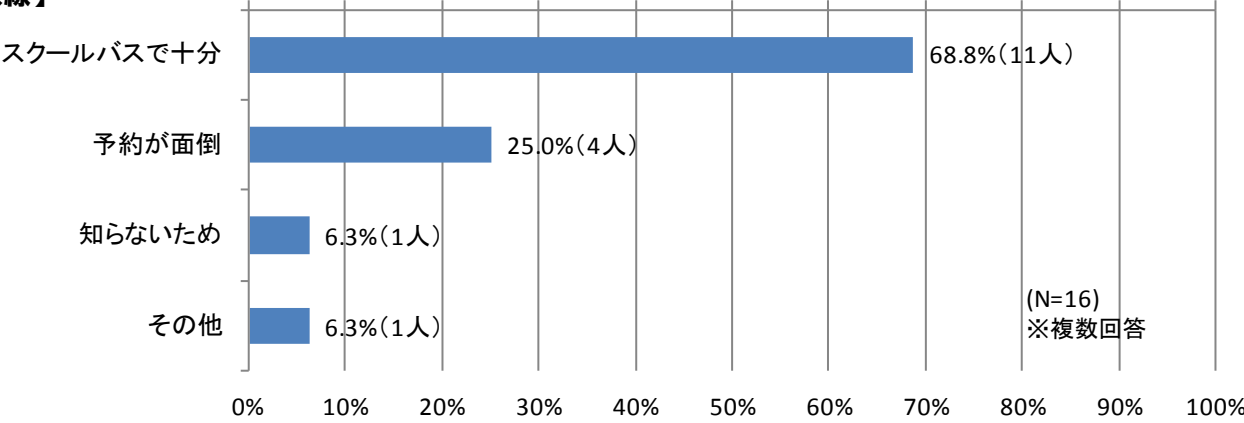
○矢谷線利用者に「まげなタクシー」があれば利用するかどうかの意向を尋ねたところ、「利用する」との回答は12.5%にとどまった。



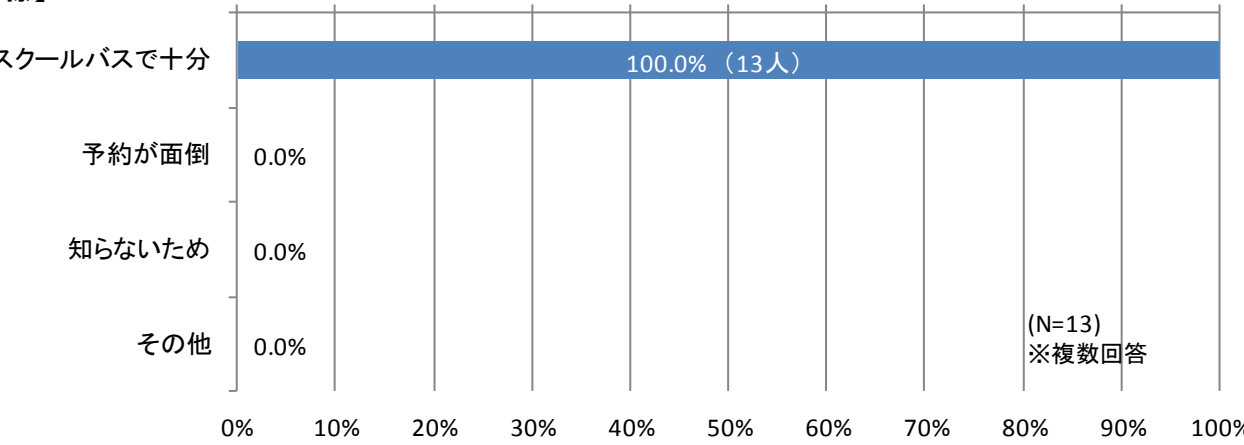
### ③利用しない理由

○「まげなタクシー」を利用しないと回答した人にその理由を尋ねると、三原線では「スクールバスで十分」との回答が7割近くを占め、「予約が面倒」が4分の1あった。  
 ○矢谷線利用者では、回答した13人全員が「スクールバスで十分」と回答した。

#### 【三原線】



#### 【矢谷線】



### (8)自由意見

年齢	性別	意見
30代	男性	三谷への午後便を増やして欲しい。
40代	男性	日向線の土日運行。人が多いため子供が立って乗っていて危ない。
70代	女性	土日があって欲しい。
70代	女性	以前 14:30 の便がなくなりましたので、川本で用事の際大変不便です。特に因原、三原方面で用事に利用する事が出来ません。
		住民の交通手段の確保をお願いいたします。
80代以上	女性	利用は少ないが、なくなると困る。
		高齢でなかなか出かけれなくなりましたので、助けて頂いております。

## (9)川本町スクールバス利用者アンケート調査結果の総括

### 1. 三原線

- 通院・買物利用が中心で、現金による支払いがほとんどとなっている。
- 現金による支払いが中心となっている理由としては、「月2～3日」から「年に数日」という回答者が全体の6割を占めており、比較的利用頻度が低いからと考えられる。
- 土日祝日の利用については「よく利用する」「たまに利用する」を合わせると5割を超えており、通年で運行する便は基本的に存続していく必要があると思われる。
- 希望するバスの時間帯としては、三原方面への13:00～15:00の帰宅便への要望が目立っており、昨年度廃止した便の復活を求める声がある。これについては住民アンケート調査結果からも多くの要望が寄せられており、検討する必要があると思われる。
- まげなタクシーの認知度は高いが、使わない人は「スクールバスで十分」と考えている。おそらく、バス路線の沿線住民の意見と思われる。また、「予約するのが面倒」との回答も比較的多くみられる。まげなタクシーと川本町スクールバスとの役割分担について検討する必要がある。

### 2. 矢谷線

- 通院利用が多いが通勤利用も見られ、全体的に利用頻度も高い。したがって、回数券利用者が回答者の7割を占めている。
- 矢谷線はすべて平日運行であり、現状では土日祝日の利用はできないが、この質問に寄せられた回答として「ほとんど利用しない」が7割近く、「たまに利用する」が3割程度挙がっている。この回答から土日祝日の運行が必要かどうかは判断できない。
- 希望するバスの時間帯としては、午前中に弓市・因原方面へ出かける便と帰る便、午後3時台に矢谷方面に帰る便が求められている。現状では8:30～11:30の間はバスが運行されていないことから、この間の便の必要性を検討していく必要がある。
- 矢谷線は矢谷方面の集落だけでなく、因原や三島の人にも利用されているが、この地域からも9:30あるいは石見川本へ行く便の要望が出されている。
- まげなタクシーの認知度は高いが、「利用したい」とする人は少ない。利用しない理由としては、「スクールバスで十分」との回答が100%となっており、道路沿いに集落が展開する矢谷線沿線ではあまり必要と思われていないように感じられる。

# 「川本町スクールバス」利用状況調査票（三原線用）

調査主体：川本町地域公共交通会議（事務局：川本町まちづくり推進課）

この調査は、川本町スクールバスがどのように利用されているのかを把握するためのものです。調査の主旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。なお、この調査票に記入された内容は、この目的以外には使用いたしません。

調査日	平成 25 年 6 月 日 ( ) 天気 ( )	調査バス	三原線 便
-----	-----------------------------	------	-------

それぞれの項目について、あてはまるものに○印をつけるか、書き込んでください。

## ■あなたご自身のことについてお答えください。

①性別	1. 男性	2. 女性			
②年齢層	1. 10代 5. 50代	2. 20代 6. 60代	3. 30代 7. 70代	4. 40代 8. 80歳以上	
③住所	1. 谷戸 6. 三原 11. 三俣 16. 矢谷 21. 因原 26. 上新町 31. 天神町	2. 笹畑 7. 田窪 12. 三大字 17. 芋畑 22. 多田 27. 中新町	3. 三島 8. 南佐木 13. 谷 18. 双葉 23. 久座仁 28. 下新町	4. 西 9. 親和 14. 市井原 19. 中倉 24. 木路原 29. 元町	5. 八幡 10. 湯谷 15. 長原 20. 日向 25. 日の出 30. 本町 32. その他 ( )
④免許の有無	1. 自動車免許あり	2. バイク免許あり	3. なし		

## ■この便のご利用について、次の問いにお答えください。

⑤乗られたバス停名	⑥降りるバス停名
⑦利用目的	1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 買物 5. ビジネス 6. 観光・レジャー 7. その他 ( )
⑧支払方法	1. 定期券 2. 回数券 3. 現金

【裏面にお回りください。】

■三原線沿線で運行している「まげなタクシー」（予約制乗合タクシー）について、次の問いにお答えください。

⑨「まげなタクシー」を知っていますか	1. 知っている 2. 知らない 3. 聞いたことはあるが、詳しくはわからない
⑩「まげなタクシー」を利用したことがありますか。	1. 利用した 2. 利用していない
⑪⑩で「2. 利用していない」と回答された方におたずねします。その理由は何ですか。当てはまるもの2つ以内に○印をお付けください。	1. 川本町スクールバスで十分だから 2. 予約するのが面倒だから 3. 利用方法がよくわからないから 4. まげなタクシーを知らなかった 5. その他 ( )

■普段のバス利用について、次の問いにお答えください。

⑫利用回数	1. ほぼ毎日 2. 週2日以上 3. 週1日程度 4. 月2~3日 5. 月1日程度 6. 年に数日 7. 数年に1日 8. 今回が初めて
⑬土日祝日の利用	1. 土日・祝日もよく利用する 2. 土日・祝日はたまに利用する 3. 土日・祝日はほとんど利用しない
⑭あなたが希望するバスの時間帯	1. ( ) 時頃、( ) へ到着する便が欲しい 2. ( ) 時頃、( ) へ到着する便が欲しい 3. ( ) 時頃、( ) へ到着する便が欲しい

■スクールバス（三原線）の運行について、ご意見があればお書きください。

ご協力ありがとうございました。

この用紙は下車の際、降車口付近にあるアンケート回収箱にお入れください。

# 「川本町スクールバス」利用状況調査票（矢谷線用）

調査主体：川本町地域公共交通会議（事務局：川本町まちづくり推進課）

この調査は、川本町スクールバスがどのように利用されているのかを把握するためのものです。調査の主旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。なお、この調査票に記入された内容は、この目的以外には使用いたしません。

調査日	平成 25 年 6 月 日 ( ) 天気 ( )	調査バス	矢谷線 便
-----	-----------------------------	------	-------

それぞれの項目について、あてはまるものに○印をつけるか、書き込んでください。

■あなたご自身のことについてお答えください。

①性別	1. 男性	2. 女性			
②年齢層	1. 10代 5. 50代	2. 20代 6. 60代	3. 30代 7. 70代	4. 40代 8. 80歳以上	
③住所	1. 谷戸 6. 三原 11. 三俣 16. 矢谷 21. 因原 26. 上新町 31. 天神町	2. 笹畑 7. 田窪 12. 三大字 17. 芋畑 22. 多田 27. 中新町	3. 三島 8. 南佐木 13. 谷 18. 双葉 23. 久座仁 28. 下新町	4. 西 9. 親和 14. 市井原 19. 中倉 24. 木路原 29. 元町	5. 八幡 10. 湯谷 15. 長原 20. 日向 25. 日の出 30. 本町 32. その他 ( )
④免許の有無	1. 自動車免許あり	2. バイク免許あり	3. なし		

■この便のご利用について、次の問いにお答えください。

⑤乗られたバス停名		⑥降りるバス停名	
⑦利用目的	1. 通勤 6. 観光・レジャー	2. 通学 7. その他 ( )	3. 通院 4. 買物 5. ビジネス
⑧支払方法	1. 定期券	2. 回数券	3. 現金

【裏面にお回りください。】

■ 普段のバス利用について、次の問いにお答えください。

⑨利用回数	1. ほぼ毎日 2. 週2日以上 3. 週1日程度 4. 月2~3日 5. 月1日程度 6. 年に数日 7. 数年に1日 8. 今回が初めて
⑩土日祝日の利用	1. 土日・祝日もよく利用する 2. 土日・祝日はたまに利用する 3. 土日・祝日はほとんど利用しない
⑪あなたが希望するバスの時間帯	1. ( ) 時頃、( ) へ到着する便が欲しい 2. ( ) 時頃、( ) へ到着する便が欲しい 3. ( ) 時頃、( ) へ到着する便が欲しい

■ 三原線沿線で運行している「まげなタクシー」(予約制乗合タクシー) について、次の問いにお答えください。

⑫「まげなタクシー」を知っていますか	1. 知っている 2. 知らない 3. 聞いたことはあるが、内容がわからない
⑬「まげなタクシー」のような乗合タクシーが矢谷線沿線にもあった場合、利用しますか。	1. 利用する 2. 利用しない
⑭⑬で「2. 利用しない」と回答された方におたずねします。その理由は何ですか。当てはまるもの2つ以内に○印をお付けください。	1. スクールバスで十分だから 2. 予約するのが面倒だから 3. 利用方法がよくわからないから 4. その他 ( )

■ 川本町スクールバスの運行について、ご要望があればお書きください。

ご協力ありがとうございました。

この用紙は下車の際、降車口付近にあるアンケート回収箱にお入れください。



### 3. 住民アンケート調査結果

#### (1) 調査概要

##### ① 目的

○川本町の公共交通の現状や今度の対応について住民から意見を聞き、今度の交通政策の方向性を定める基礎資料とするために実施した。

##### ② 実施時期

○平成 25 年 6 月 24 日（月）～7 月 31 日（水）

##### ③ 調査方法

○町内の全世帯を対象に、自治会を通してアンケート用紙を配布・回収した。

##### ④ 調査内容

○調査内容は以下のとおりである。

##### 【アンケート調査項目】

- ①個人属性（住所、性別、年齢、世帯人数、職業）
- ②自動車運転免許証について（免許証の有無、いつまで運転を続けたいか等）
- ③普段の移動手段（弓市方面への移動、因原方面への移動）
- ④「まげなタクシー」について（認知度、他地域への導入に関する考え方）
- ⑤これからの川本町公共交通について
  - ・サービス水準と経費負担のあり方
  - ・公共交通政策で重要と思われるもの
  - ・今後の交通政策への取り組み方
  - ・バス路線存続に向けての利用意向
- ⑥今後利用したいサービスについて
- ⑦自由意見

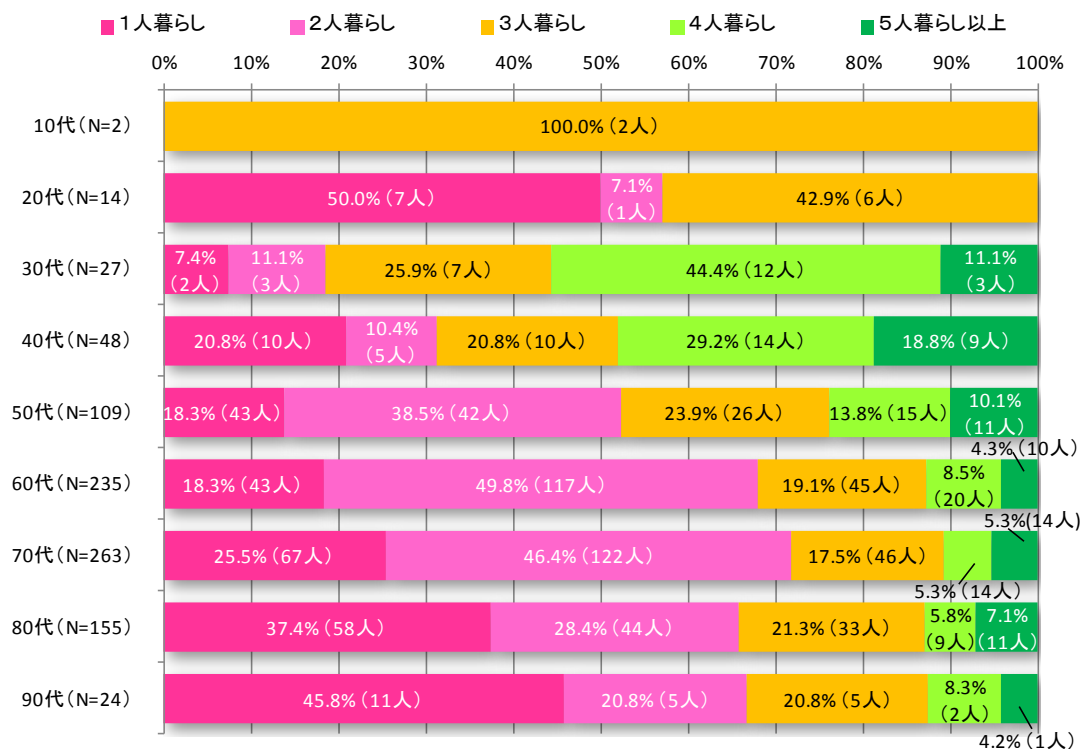
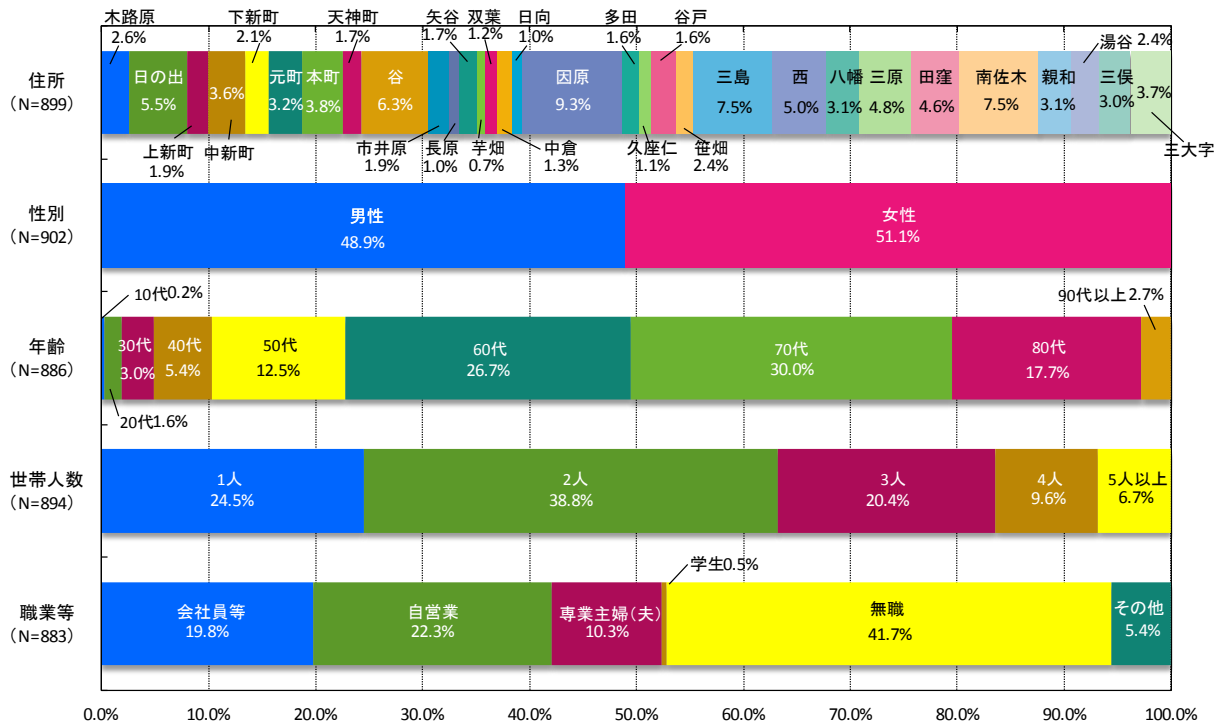
##### ⑤ 回収率

○アンケート用紙を 1,785 枚配布し、930 枚回収した。（回収率 52.1%）

## (2)調査結果

### 問1：個人属性

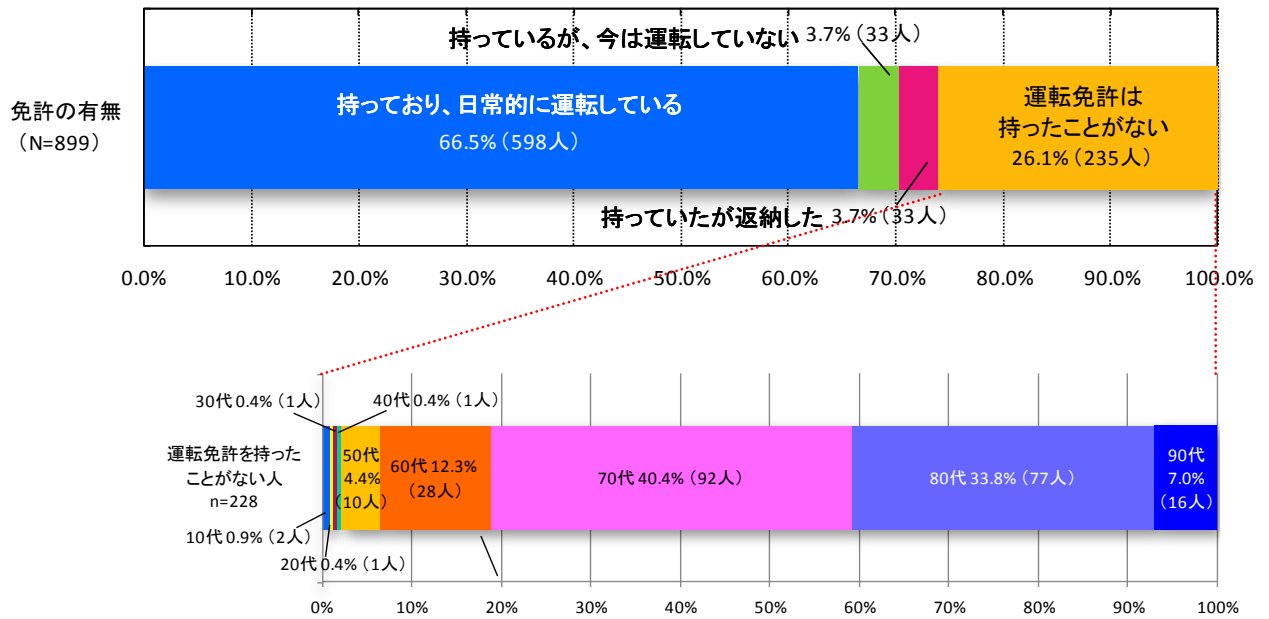
○住所は因原が最も多く、南佐木、三島、谷、日の出等の順となっている。  
 ○性別は男女がほぼ同数となっている。  
 ○年代は70代、60代、80代の順となっており、60代以上が全体の8割近くを占めている。  
 ○世帯人数を「2人」と回答した割合が約4割と最も多く、次いで「1人」、「3人」等の順となっている。世代別にみると、20代を除けば、年代が高くなるにつれて独居の率が高くなっている。



問2：自動車運転免許証について

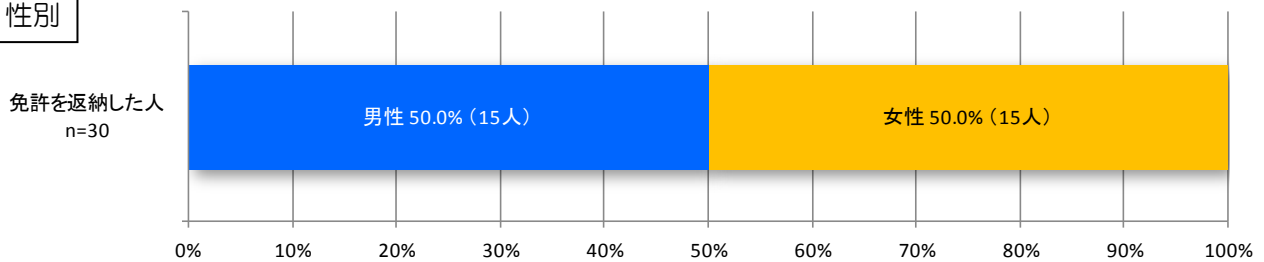
①自動車運転免許証所有の有無

○免許を保有し、日常的に運転している割合が全体の3分の2を占めている。  
 ○回答者の3割程度が免許を持ったことがないか、既に返納している。  
 ○「運転免許は持ったことがない」とした回答者の属性を見ると、9割が女性で、70代以上が8割を占めている。（※これらの人がバス利用者の中心となる）  
 ○免許を返納した人の性別の差はなく、年代はほぼ70歳以上となっている。

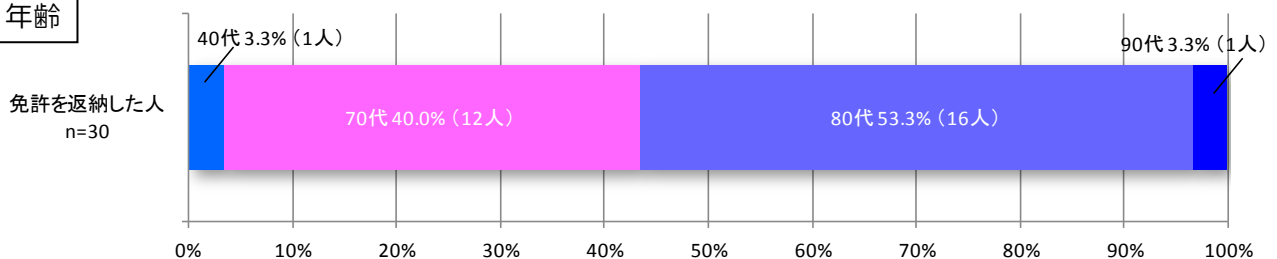


【免許を返納した人の属性】

性別



年齢

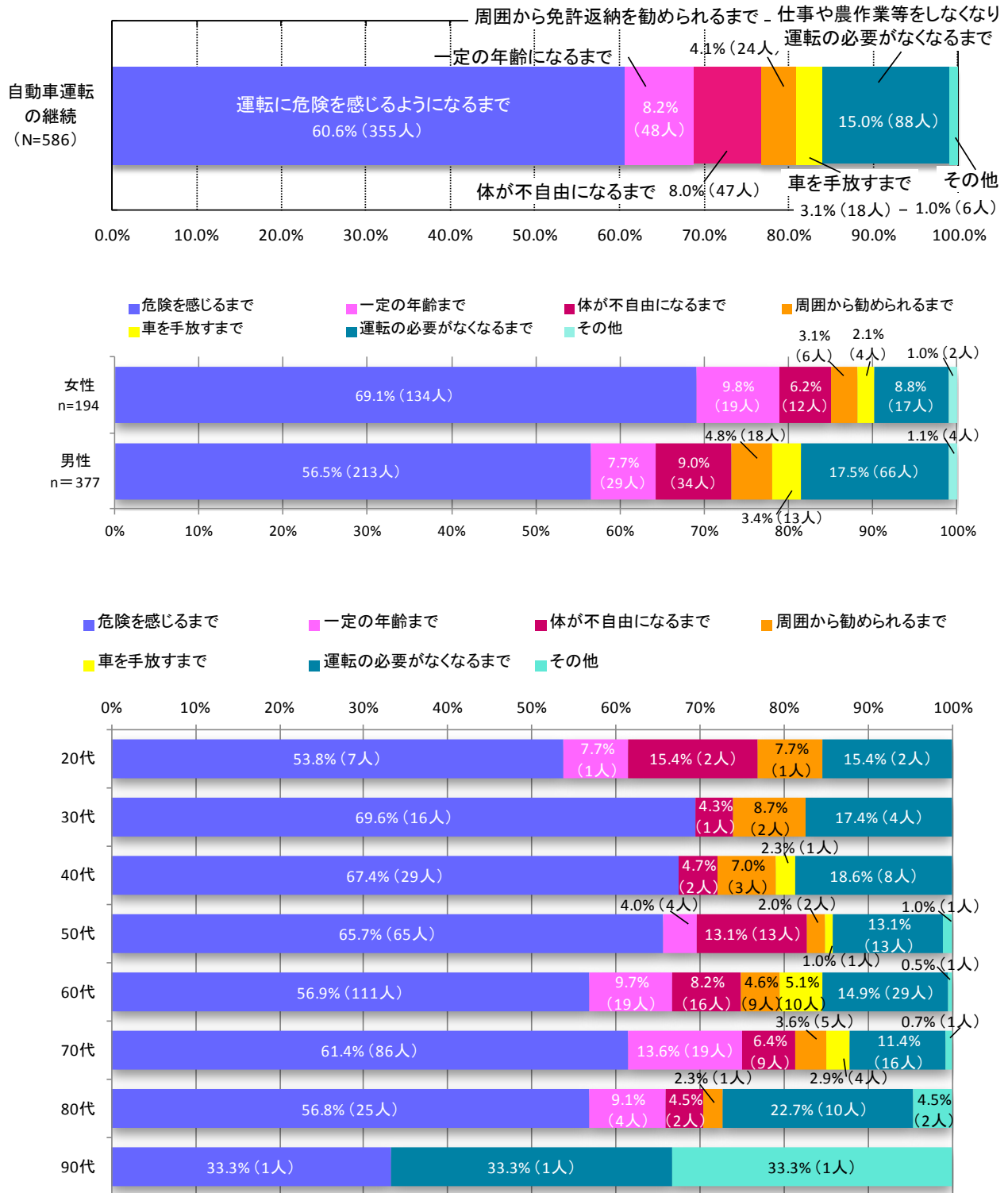


②いつまで自動車の運転を続けたいと考えているか（自動車運転免許証所有者対象）

○「運転に危険を感じるようになるまで」との回答が6割と最も高く、「運転の必要がなくなるまで」が次いで高い。

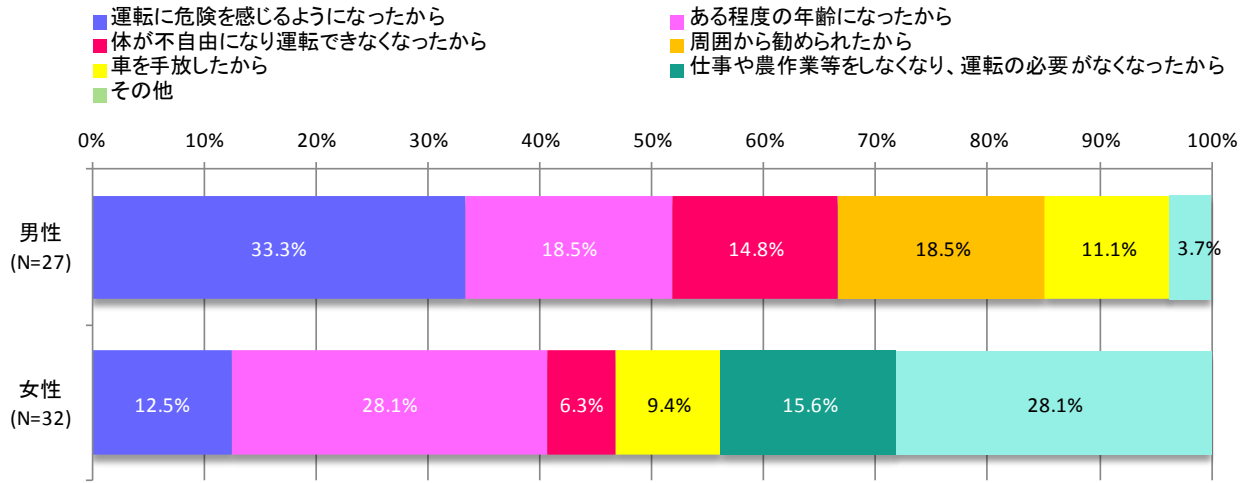
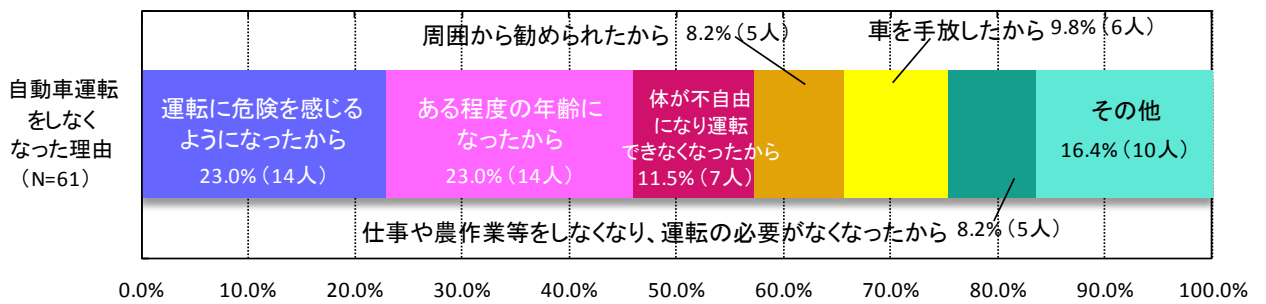
○男女ともほぼ同じ傾向を示しているが、「危険を感じるまで」の割合は女性の方が高く、「運転の必要がなくなるまで」の割合は男性の方が高い。世代間で、あまり大きな差は見られない。

○「一定の年齢になるまで」との回答は全体の1割弱で、9割の回答者がギリギリまで運転したいと考えていることがわかる。



③ 「運転しなくなった」「免許証を返納した」理由（きっかけ）

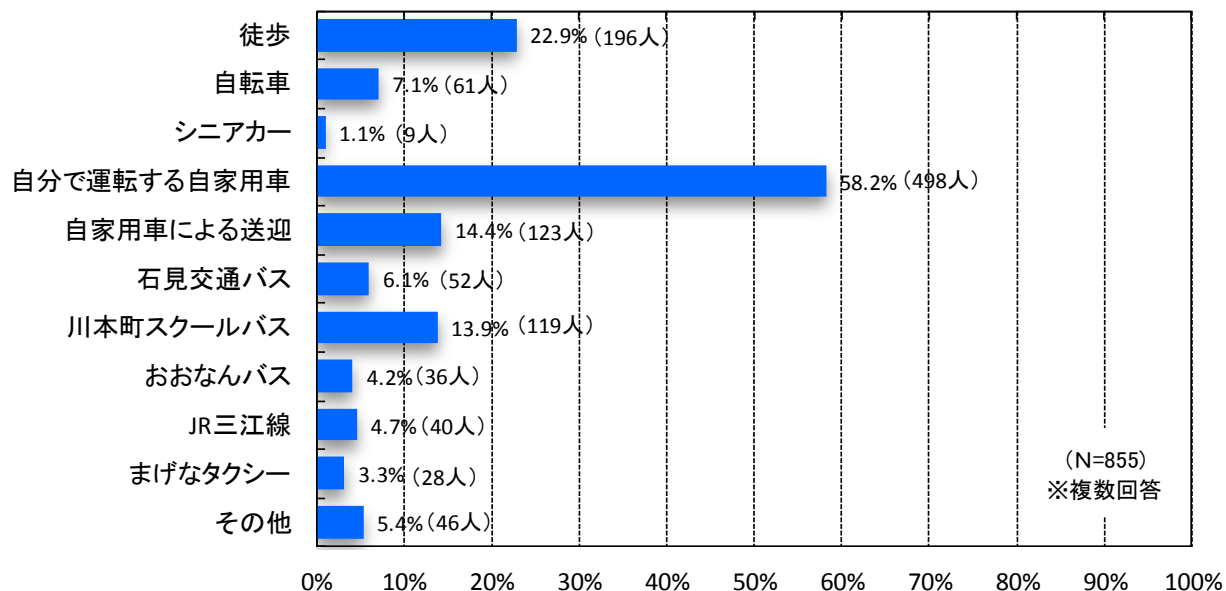
○「運転しなくなった」あるいは「免許を返納した」理由としては、全体では「運転に危険を感じるようになったから」「ある程度の年齢になったから」の割合が高い。  
 ○性別で見ると、男性は「運転に危険を感じるようになったから」が最も高く、「ある程度の年齢になったから」「周囲に勧められたから」が次に高いが、女性は「ある程度の年齢になったから」と「仕事や農作業をしなくなり、運転の必要がなくなったから」「その他」を挙げる割合が高い。



問3：普段の移動手段

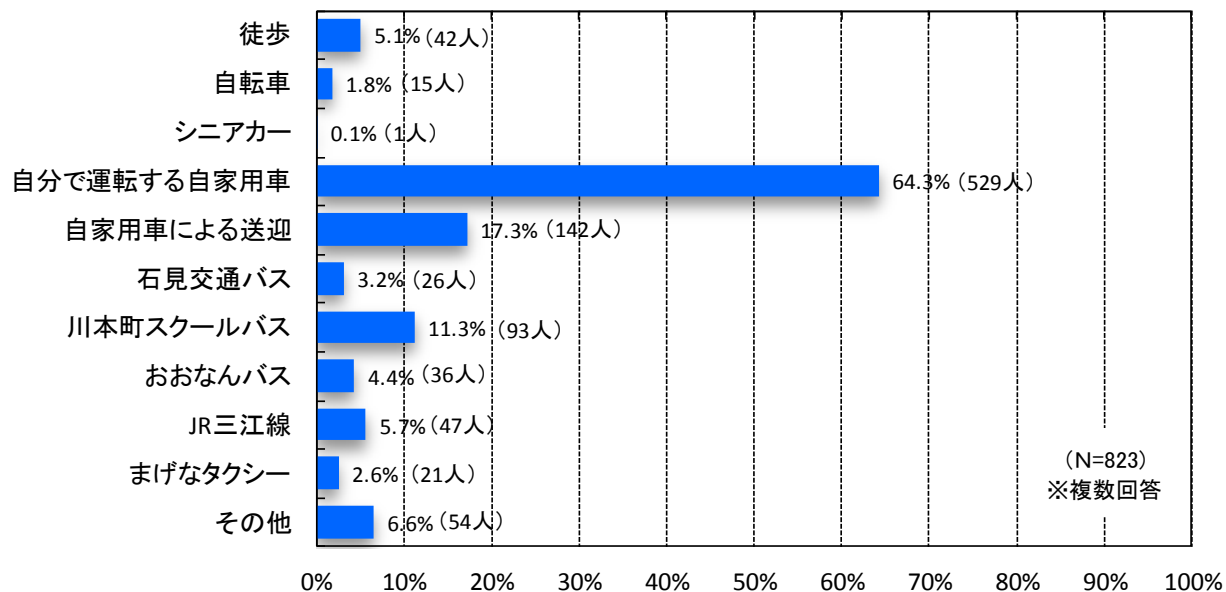
①弓市方面への移動

○全体の集計では「自分で運転する自家用車」を挙げる割合が最も高く、次いで「徒歩」「自家用車による送迎」「川本町スクールバス」等の順となっている。

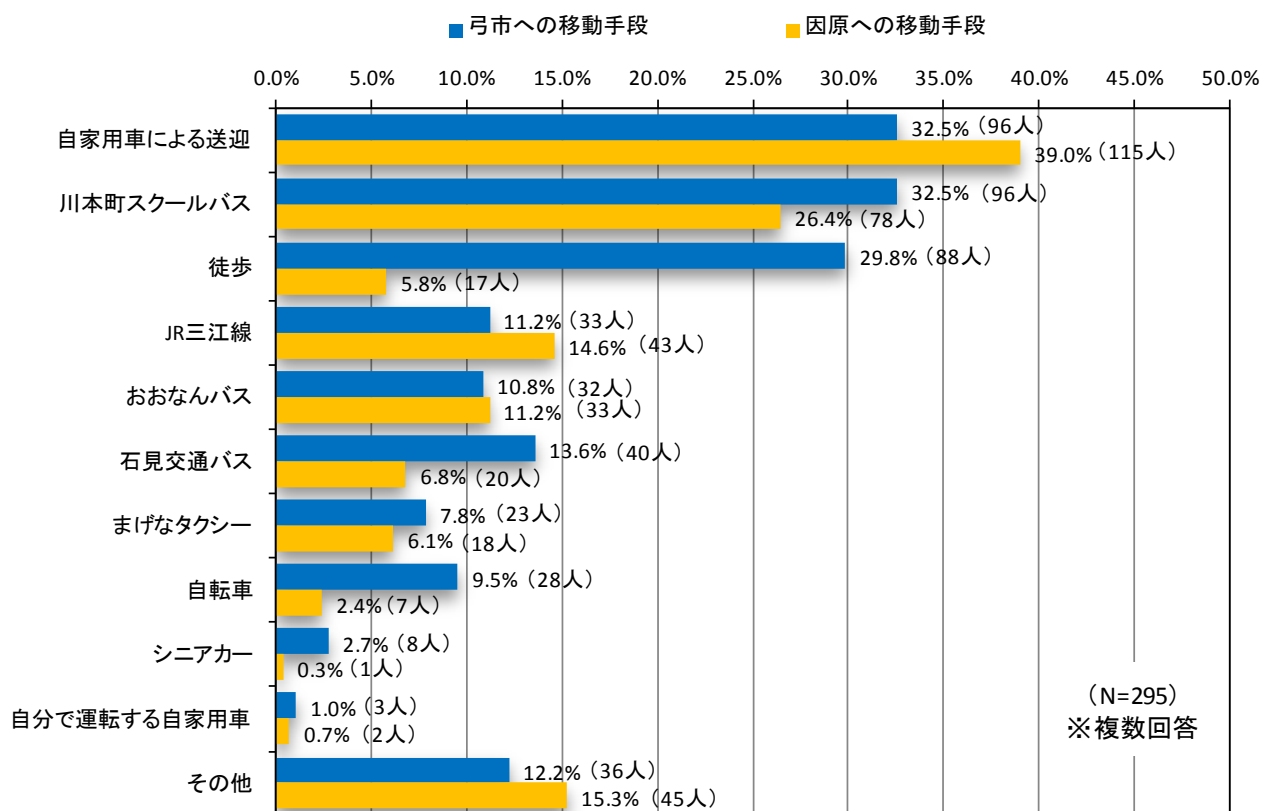


②因原方面への移動

○全体の集計では「自分で運転する自家用車」を挙げる割合が最も高く、次いで「自家用車による送迎」「川本町スクールバス」等の順となっている。



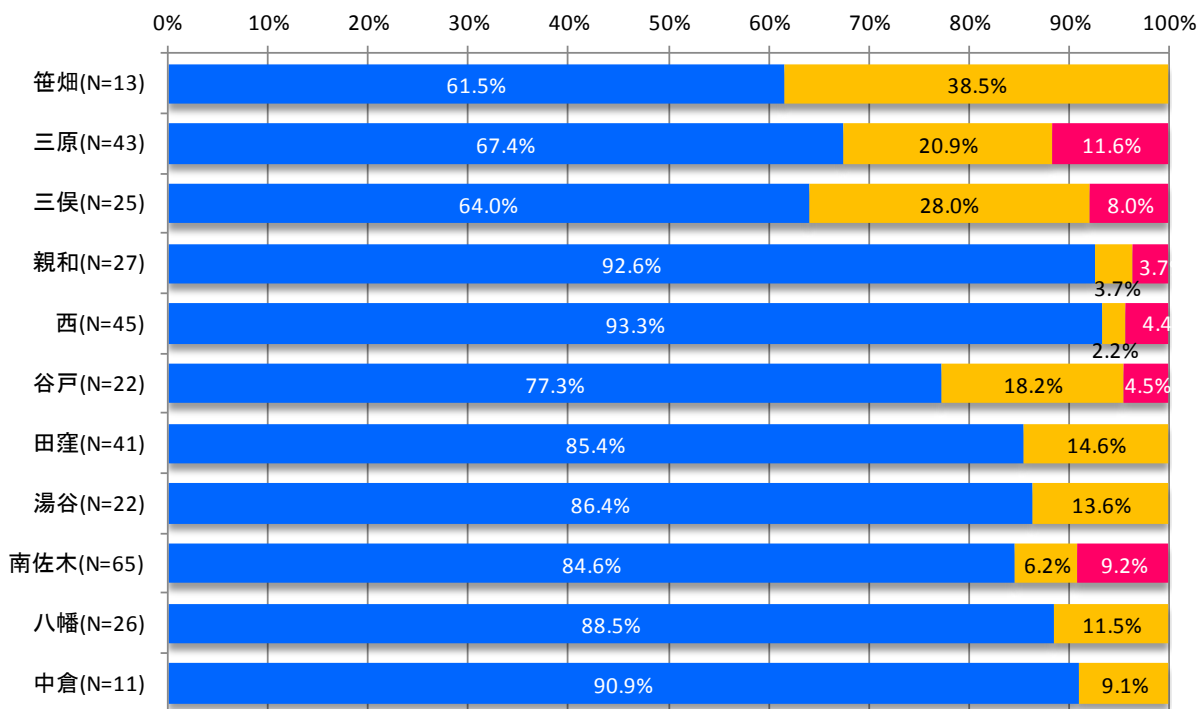
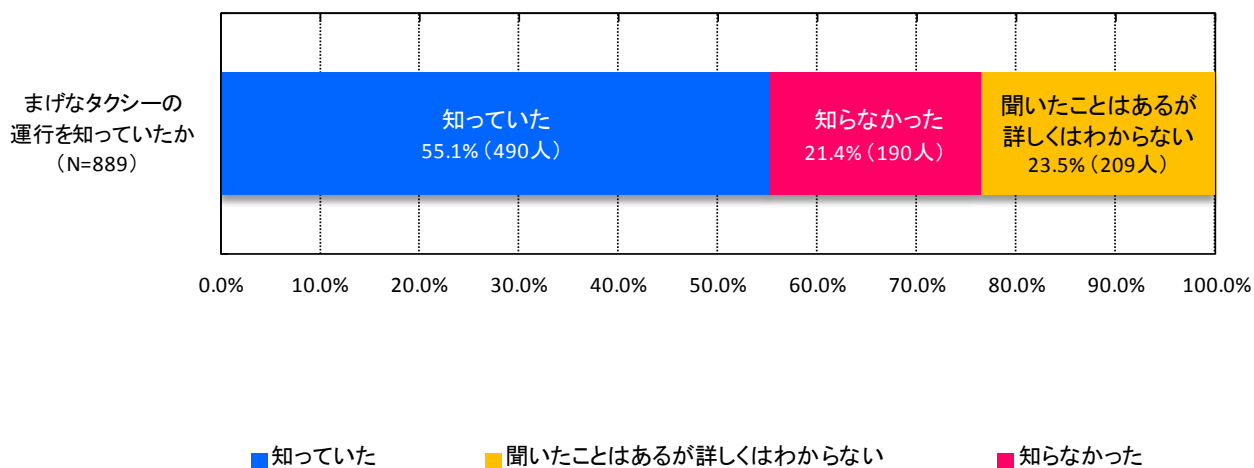
- 「免許を持っているが、今は運転していない」「免許を持っていたが返納した」「運転免許は持ったことがない」と回答した人について、弓市、因原方面別に集計すると、以下のようになる。
- 移動手段としては、いずれも「自家用車による送迎」を挙げる割合が最も高く、次いで「川本町スクールバス」と続いている。
- 弓市地区は集落が集積していることから、「徒歩」による移動が多い。
- 川本町スクールバス以外の公共交通を見ると、弓市方面へは「石見交通バス」「JR 三江線」「おおなんバス」「まげなタクシー」の順に挙げる割合が高く、因原方面へは「JR 三江線」「おおなんバス」「石見交通バス」「まげなタクシー」の順となっている。



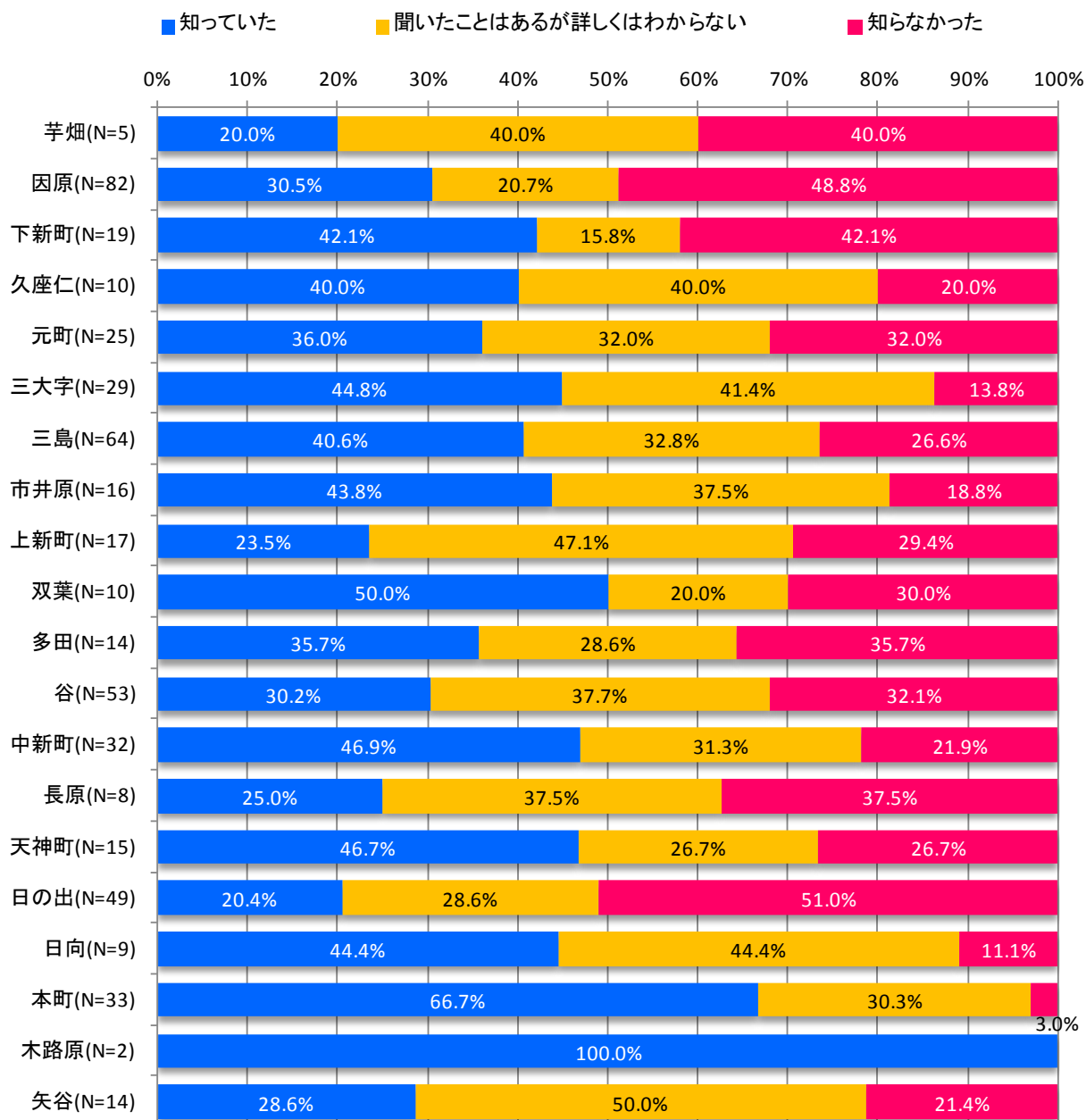
問4：「まげなタクシー」について

①認知度

○「まげなタクシー」の認知度について、町全体としては「知っていた」と「聞いたことはあるが詳しくはわからない」を合わせると8割程度がその存在を認知している。  
 ○「知らなかった」との回答は2割程度であった。  
 ○地区別にみると、「まげなタクシー」を運行している自治会であっても、「知らなかった」との回答が若干見られる。  
 ○「まげなタクシー」が運行していない自治会では回答にバラつきがあるが、運行地区に比べて認知度が低くなっている。

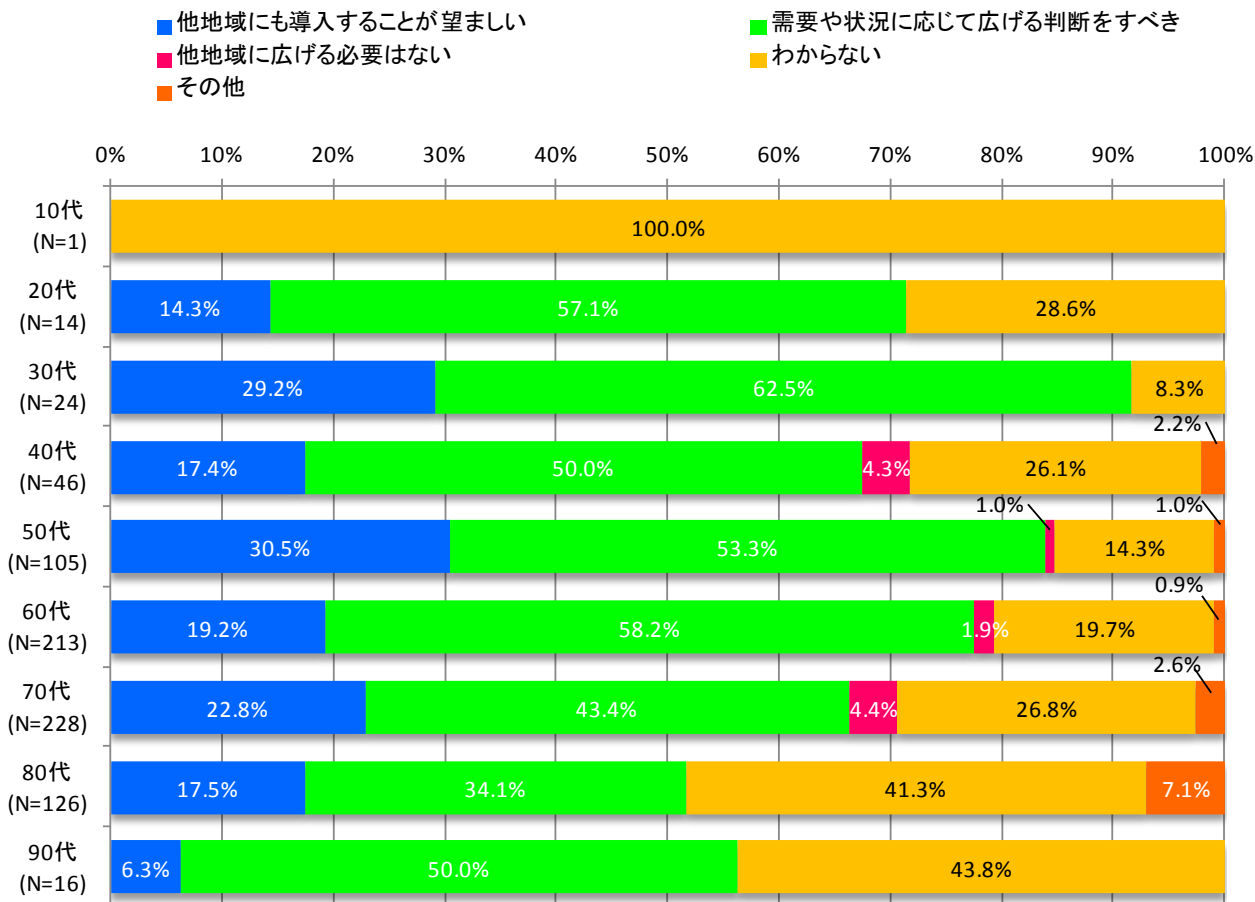
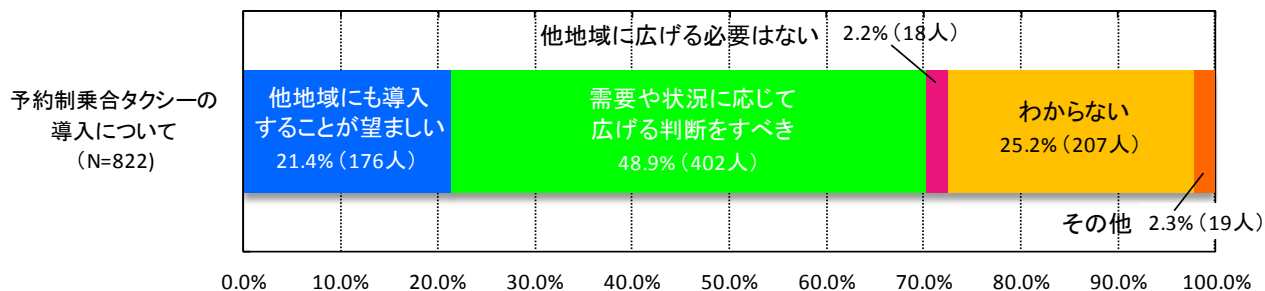




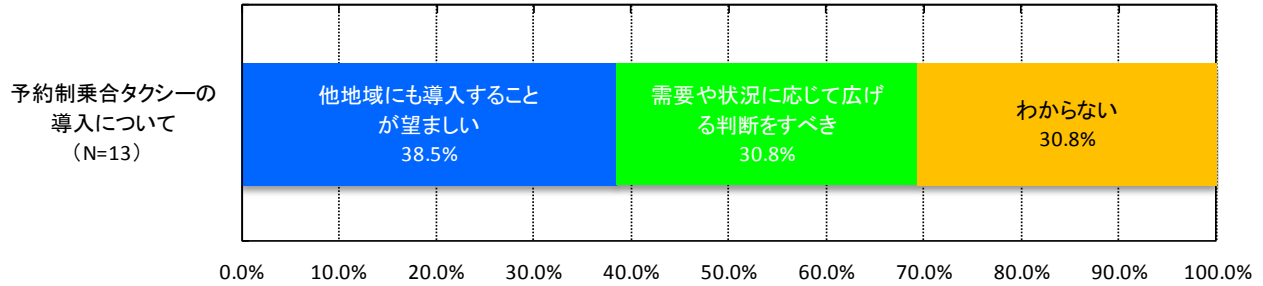


②予約制乗合タクシーの他地域への導入について

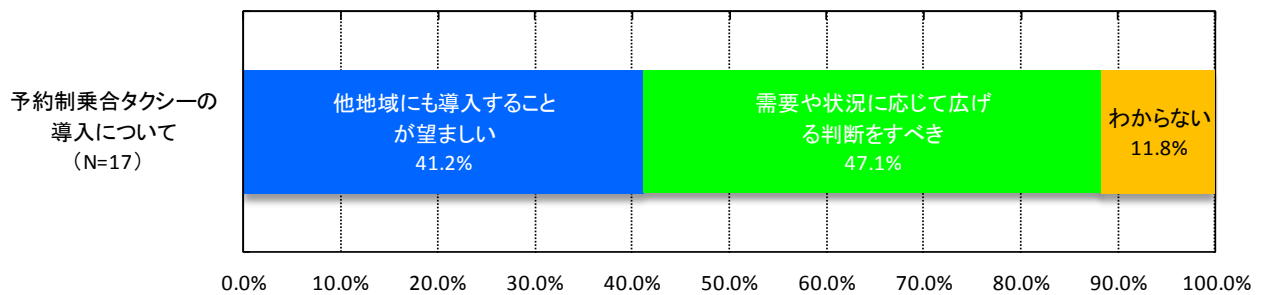
○「まげなタクシー」の他地域への導入について考えを尋ねたところ、全体では「需要や状況に応じて広げる判断をすべき」との意見が半数近くを占めている。  
 ○世代間で比較すると、世代に関わらず「需要や状況に応じて広げる判断をすべき」との回答割合が高くなっているが、30代と50代で「他地域にも導入することが望ましい」の割合が、他の世代に比べて高くなっている。  
 ○交通不便地域の回答では、「他地域にも導入することが望ましい」を挙げる割合が町の平均値を上回っている。



【交通不便地域】畑野・田水・芋畑



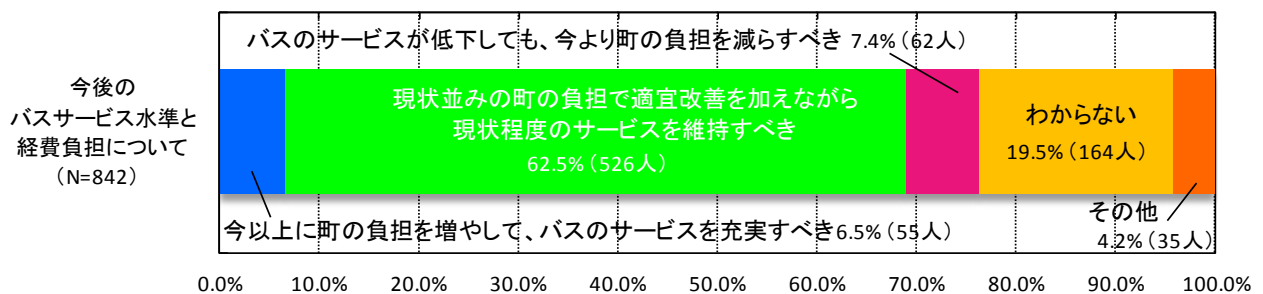
【交通不便地域】川内・馬野原・小谷



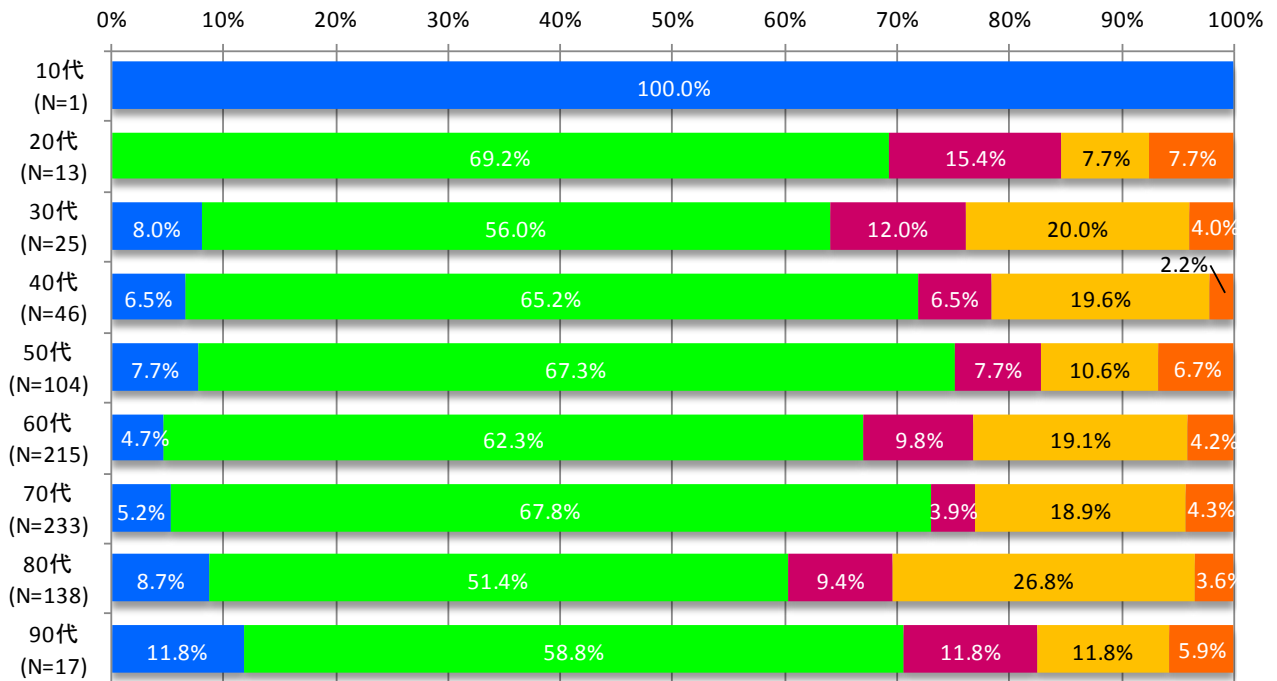
問5：これからの川本町公共交通について

①今後のバスのサービス水準と経費負担について

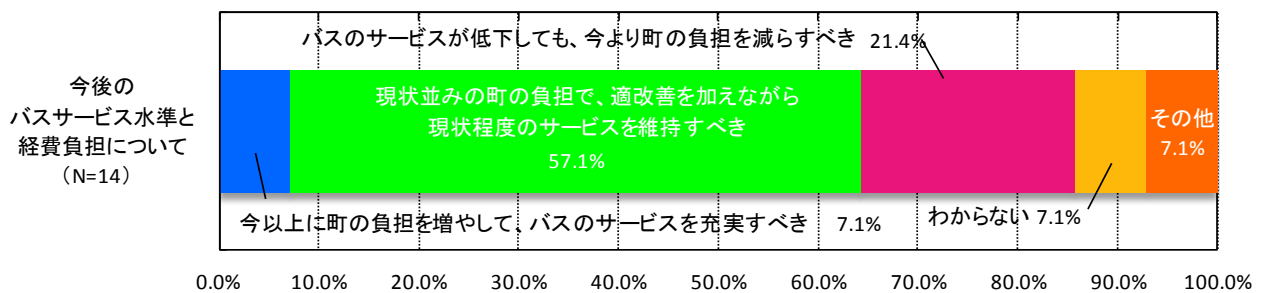
- 全体的には「現状並みの町負担で現状程度のサービスを維持すべき」との回答割合が3分の2程度を占めている。
- 年代別に見てもほぼ同じような傾向を示している。
- 交通不便地域については、「川内・馬野原・小谷」で「今以上に町の負担を増やし、バスサービスを充実すべき」との割合が高く、「畑野、田水、芋畑」で「バスサービスが低下しても、今より町負担を減らすべき」との回答割合が高くなっている。



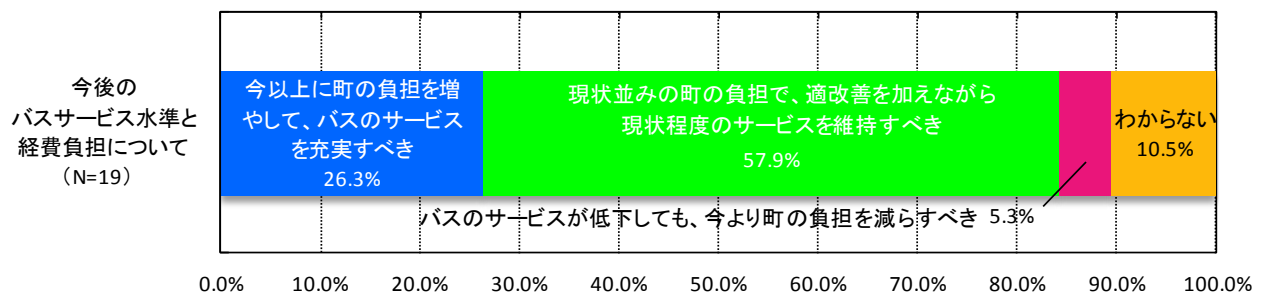
- 今以上に町の負担を増やして、バスのサービスを充実すべき
- 現状並みの町の負担で、適改善を加えながら現状程度のサービスを維持すべき
- バスのサービスが低下しても、今より町の負担を減らすべき
- わからない
- その他



【畑野・田水・芋畑】

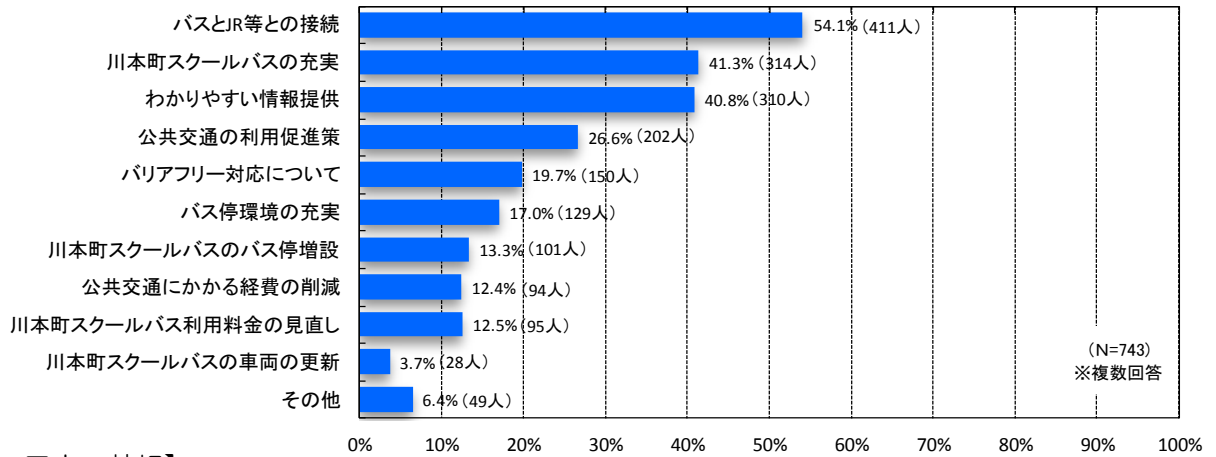


【川内・馬野原・小谷】

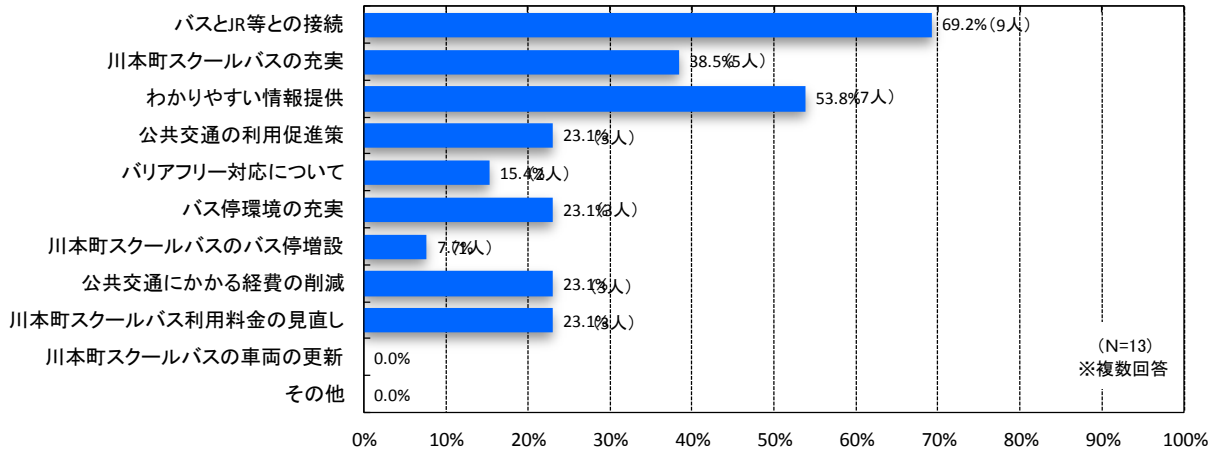


②川本町の公共交通政策で重要だと思うもの

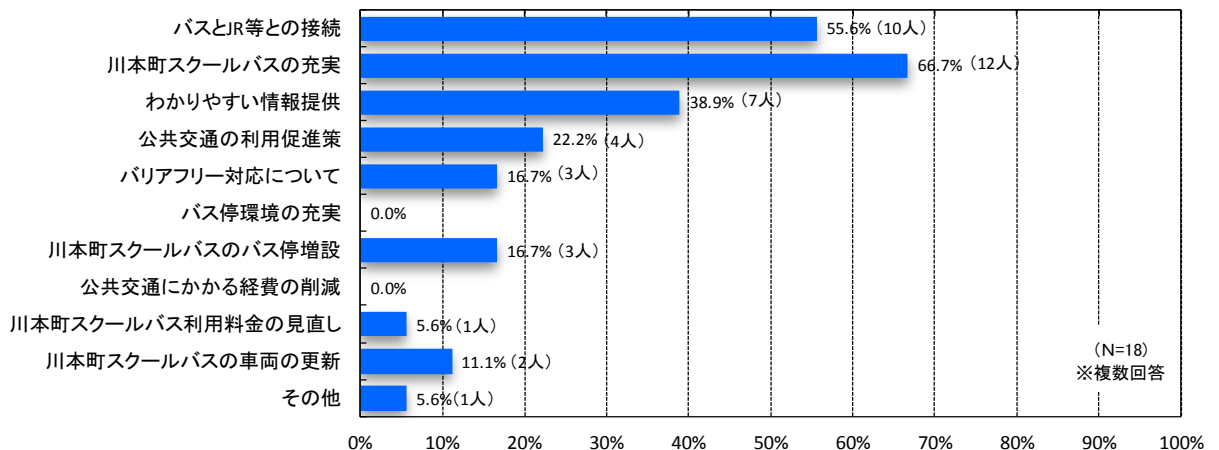
○重要な交通施策として、「バスとJR等との接続」を挙げる割合が最も高く、「川本町スクールバスの充実」「わかりやすい情報提供」「公共交通の利用促進策」等と続いている。  
 ○交通不便地域では、「畑野・田水・芋畑」で「バスとJR等との接続」「わかりやすい情報提供」「川本町スクールバスの充実」の順となっているのに対し、「川内・馬野原・小谷」では「川本町スクールバスの充実」を挙げる割合が最も高く、「バスとJR等との接続」「わかりやすい情報提供」等の順となっている。



【畑野・田水・芋畑】



【川内・馬野原・小谷】

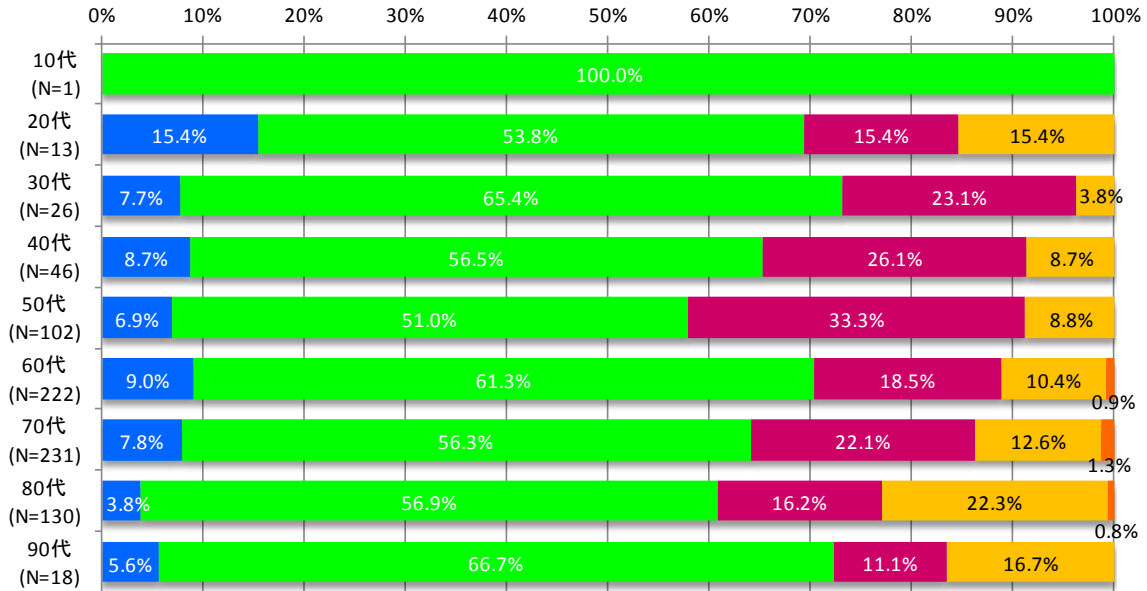
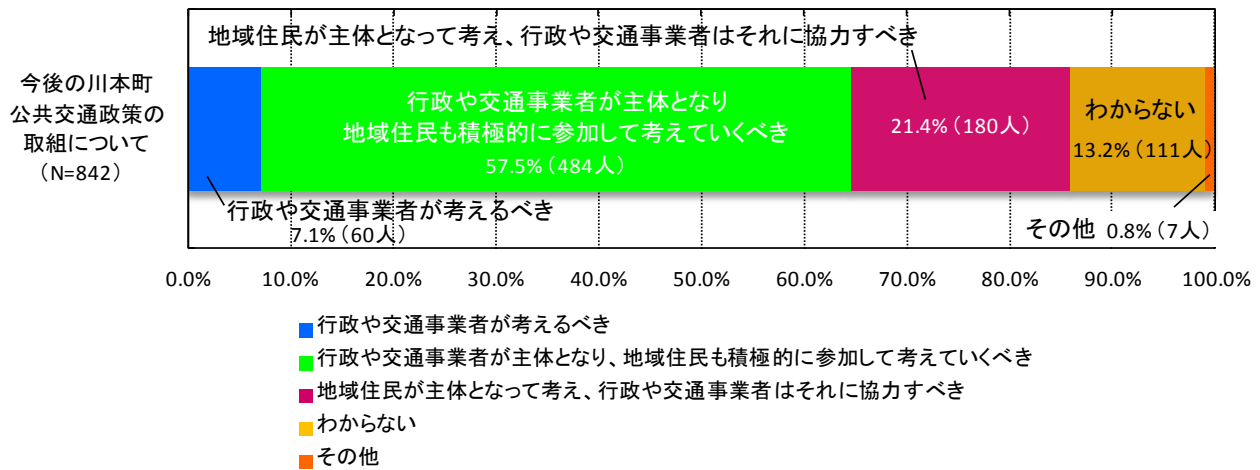


### ③川本町の公共交通政策の取り組み方

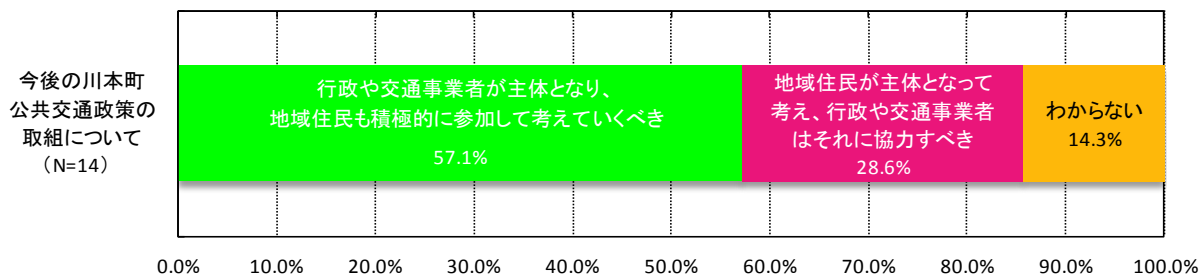
○今後の交通政策への取り組み方としては、「行政や交通事業者が主体となり、地域住民も積極的に参加して考えていくべき」との回答が6割近くを占めており、「地域住民が主体となって考え、行政や交通事業者はそれに協力すべき」との回答も2割程度ある。

○年代別でもほぼ同じような傾向を示しているが、50代で「地域住民が主体となって考え、行政や交通事業者はそれに協力すべき」との回答割合が高い。

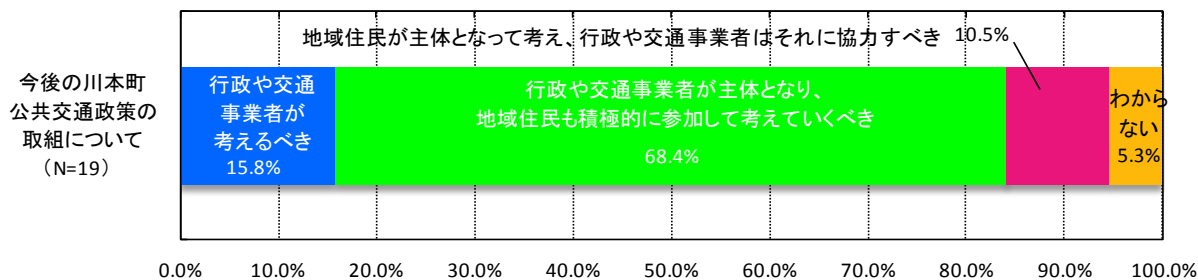
○交通不便地域においては、「畑野・田水・芋畑」で「地域住民が主体となって考え、行政や交通事業者はそれに協力すべき」との回答割合が高く、「川内・馬野原・小谷」では「行政や交通事業者が考えるべき」とする割合が高くなっている。



#### 【畑野・田水・芋畑】

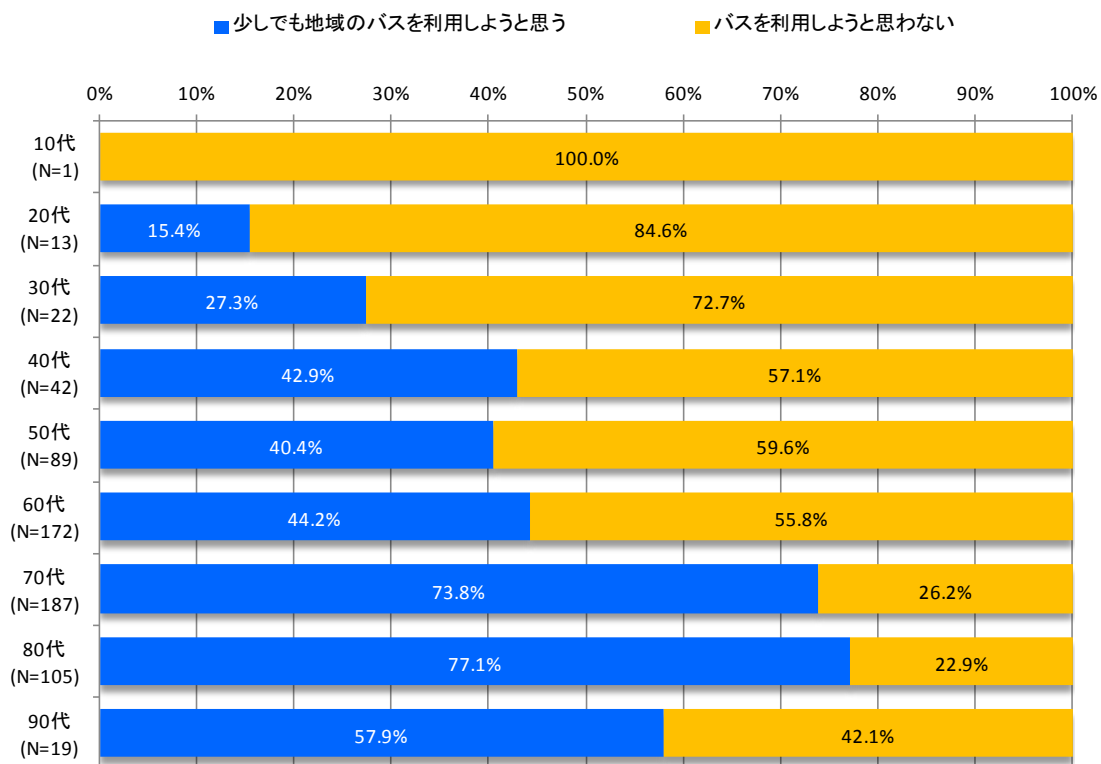
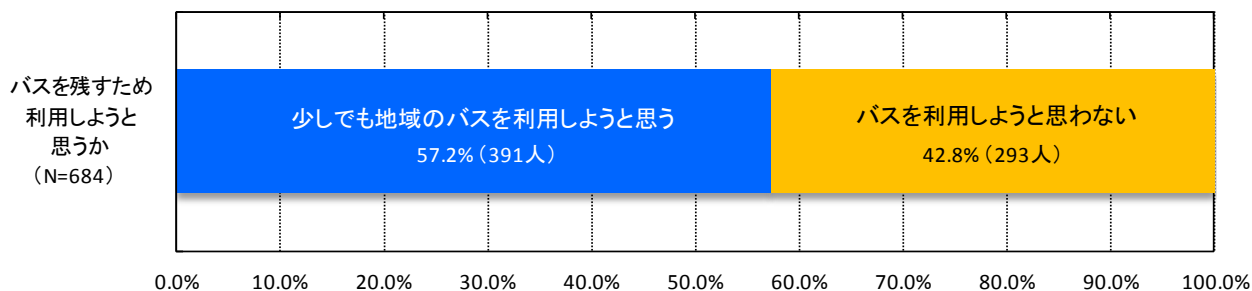


【川内・馬野原・小谷】



④地域バス存続のためのバス利用意向

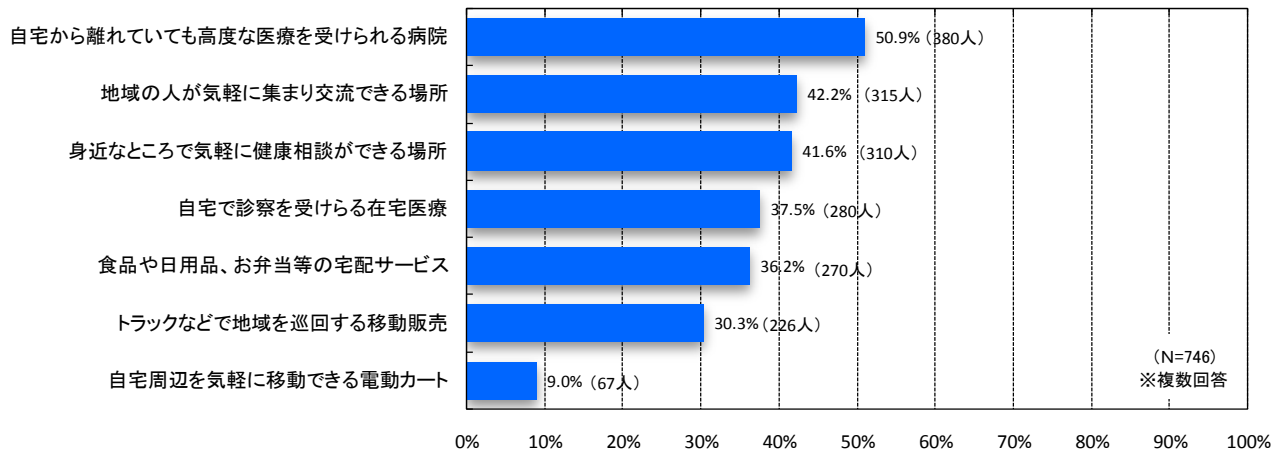
○地域バスを存続するために「少しでもバスを利用しようと思う」とした割合は57.3%で、「利用しようと思わない」をやや上回っている。  
 ○世代別では、年代が高くなるにつれて利用しようと思う割合も高くなる傾向にある。



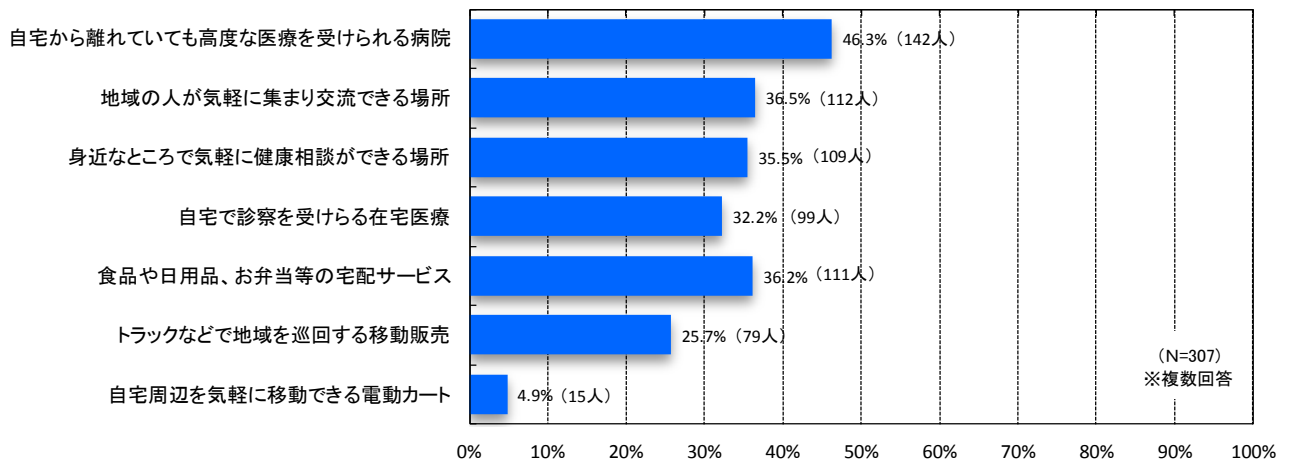
問6：利用したいと思うサービス

○住民の移動に関連するサービスについて、何を利用したいと思うか尋ねたところ、「自宅から離れていても高度な医療を受けられる病院」との回答が最も高くなっており、「自宅で診察を受けられる在宅医療」よりも高度医療機関が求められている。この結果から、出雲市や江津市等の病院へのアクセス環境の改善を考慮する必要がある。

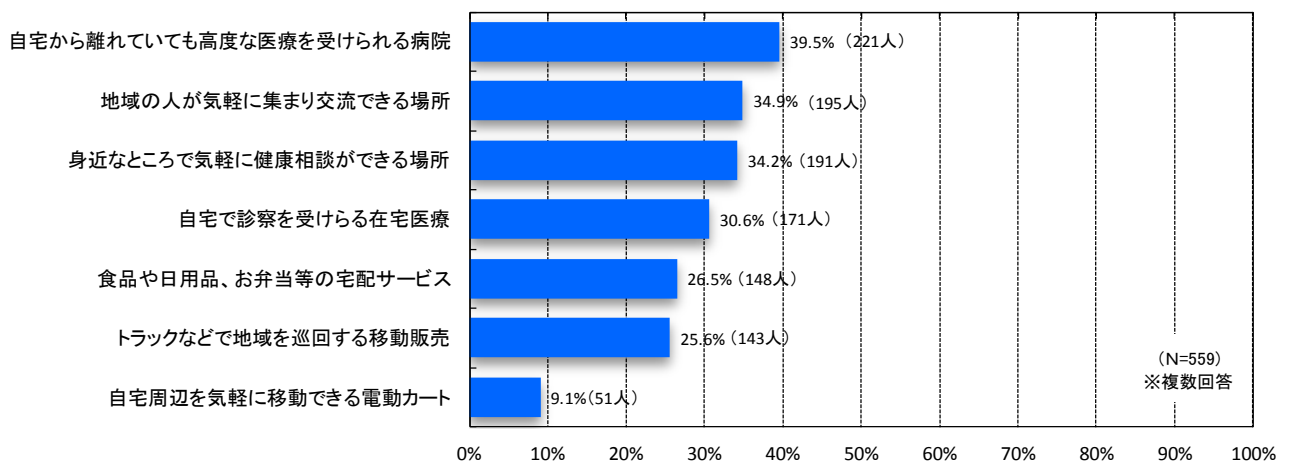
○世代間で比較しても極端な差異は見られないが、「宅配サービス」を挙げる割合が、65歳以上に比べ64歳までの方がやや高い。



【16歳～64歳の回答】



【65歳以上の回答】





問7：自由意見

自由意見	性別	年齢
広島～川本のバスの時刻を改善してほしい。川本7:00⇒広島 広島→川本21:00があると嬉しい	男性	20代
大型スーパー、ファミレスなどのチェーン店、衣服の販売店があったら便利だと思う。	男性	20代
公共交通を残していくには、三江線の積極的な利用を心がけることの一一人の取り組みが求められるが、どうしても時間帯が合わないことで自家用車を使ってしまうのが現状。沿線沿いの絶対数（人口）が減少している中で、今後も三江線を残していくには住民のニーズを満たす運行が必要だと思うが、個人的には高校存続の為に、高校生を中心とした運行で良いともう。	男性	20代
自家用車を所有している人は正直なところバス三江線の利用は厳しいと思います。イベントなどで乗車しても、それっきりになってしまうので、現状はかなり厳しいです。ただ、自分が年をとった時、車に乗れなくなった時の事を思うとこれから先が不安です。人口も減っていくばかりなのでどうにもならないですね。何かいい方法があればいいのですが・・・	男性	20代
問5①に関してバスの料金を上げるべき	女性	20代
私の家は主に車で移動するので支障はありません。ただ、一人暮らしで車を運転されない方等はバスがなくなると困る方がいると思います。町の限られた予算ですべてのことをしようとするのは無理だと思います。個人的には必要最低限なサービスを少ない予算でご維持していただくことが川本町として取るべき施策だと考えます。	男性	30代
問5④に関して週4日利用している	男性	30代
バスよりもジャンボタクシーなどを充実させた方が良いと思います。	女性	30代
利用者が少ないと便数も少ないし、不便だと乗らないので悪循環になってしまっていると思う。商工会も一緒になって公共交通機関を利用してきたらポイントがたまるとか、保育所、学校、福祉施設などにも利用を進める。乗りたくなる、楽しくなる、デザインや企画・・・地元の人だけでなく町外県外の人も取り込めるくらいになればいいですね。SLとかは無理にしても神楽の絵内装で第〇曜日は駅なんかでみることができるとかできなかなあ。	女性	30代
最低数の便は確保されていると思うので、ありがたく思う。然し、無理は長続きしないので、維持可能な方向に移行するのやむを得ないと思う。	男性	40代
石見交通、JRバスは、時間が合わない為三大字にもスクールバスを増便して欲しい。中学校、高校の時間に朝、夕に合う時間を決めて下さい。スクールバスは、町民全員、平等でどこの地区にも行くようにお願いします。	男性	40代
自家用車で移動にて公共交通利用当分必要ない。	男性	40代
バスの本数が少ない。川本町（役場付近）に出て行くのも考える（行けば徒歩でしか帰れない）。子供のスクールバスが今年から通って頂けるようになったが（ありがとうございます）帰りのスクールバス、日向を通るのが17:40過ぎ・・・なぜ？子供がまっすぐ自宅に帰れないので、学校に行きたがらない。（主人の会社終わりを待ち帰るので18:00頃しか帰れない）ついでに・・・三江線・・・日向で止まってくれたら・・・とも思う。お疲れ様でした。	女性	40代
加藤病院重視とします。	女性	40代
ある程度子供が大きくなれば、親の手を借りずとも自宅から遠い町内や町外へ出るときに公共交通を利用して出ることができるように路線の充実、時刻表の周知などもっと詳しく教えて欲しい。	女性	40代
現在自動車があるため不便さは感じませんが、将来運転しなくなってからバスを利用することもあるのではないかと思います。車では因原も近いし買物した物も多くあっても大丈夫ですが、バスの待ち時間や荷物が多いと乗降時間に手間取ることもあるかも知れないと思っています。バスは完全になくしてほしくはないです。	女性	40代
スクールバスについて、中学生も雨の時など乗っても良いようにしてもらえたら助かります。せっかく前まで通り道だから自転車に乗れない時に利用できるようなると喜びます。	女性	40代
川本町の公共交通は本当にあるか。今運行しているバスに乗った事があるのか？全路線を知ってこのアンケートを作成したのか？答えはちゃんとして下さい。	男性	50代
公共交通は将来に対する保険のようなもので、今車を利用してきている人もいずれはお世話になることを忘れてはならないと思います。	男性	50代
川本町スクールバスの名前は通学の為のバスのイメージなので、名前を変える。おおなんバスはどのような人が何のために利用されているのですか？町で支出するなら通学時以外はバスを小型化して便を増やすなど、町独自のバスとしておおなんバスの代わりにしては・・・まげなタクシーを定期化するような？	男性	50代
矢谷線は土曜日は運行しないため高校などでクラブ活動がある時、バスの運行が無い為親などが学校へ行かないので運行して欲しい（いけない時もあるため）定期券が高いと思う（土日などが休みのため）	男性	50代
バスの大きさを変えて運行する。（時間帯・利用状況を考えて）	男性	50代
自治会単位で利用状況調査をする。（1ヶ月間、目的等）地域の利用等による高効率運用。利用者ターゲットの明確化。	男性	50代
これから川本町内の公共交通機関の維持発展は大変難しいと思います。この時代である故過剰な便利さは不要、出来ないと。問題は便利さと負担のバランスだと思います。出来る限り行政と事業者でコントロールするのがいいと思いますが、住民にいつかは相当の負担を担って頂く時期が来ると。問題は、その時何を目的にどこにウェイトを置くのか、そして公平性はどこまで考えるのかだと思います。地域にとって公共交通機関はくらす上で不可欠な要素だと思います。効率がいいとか悪いとかだけでなく、最低ラインは確保することは必要だと思います。そのための討議を今のうちから検討しておく時期だと考えています。	男性	50代
JR三江線の存続理由がいま一つよくわかりません。住民に対する丁寧な説明が必要ではないでしょうか	男性	50代

問6については現在は利用しないが、将来利用したい	男性	50代
運転手のマナー向上（年寄りにつめたい人がいるようだ）	男性	50代
現在は公共交通を利用する回数は皆無だが、高齢等により利用する場合もあると思う。最低限の公共交通は行政の責務であると思う。人口減による利用はますます少なくなると思われる。そのような中、公共交通をどこまで削減して維持するか、住民と行政、企業がもっと先のことを慎重に話し合うべきである。	男性	50代
公共のみで全域をカバーすることは益々困難になるだろう。どうしても地域住民も参加し相互扶助的取組が必要。そのためには、強力なリーダーが不可欠だが、この時代自分を犠牲にしてまで実行できる人がいるかいないか問題となるだろう…	男性	50代
今現在は勤めをしていて、自分で運転して、自分の車で出掛けることができます。健康であればまだしばらくはこのままが続くと思います。ですが、いつ何が起きるか分かりません。その時のことを考えると心配でたまりません。その時は確実にやってきますので、都合のいい話ですが、色々なサービスが今以上に充実すると嬉しく思います。例えば、今のままだとバスを利用したくても自宅前を通らず、バス停まで3キロぐらい歩かなくてはいけないので、自宅前で乗れるようになって嬉しいです。年をとって心配なことは病気と毎日の食事だと思います。この両方が充実していくと、心配しなくていい生活が送れることを切に願います。	男性	50代
今はバスを見ると人が乗っていないで、それでも大型のバスで運行しているのをよく見ます。よく調べてバスを小さくして下さい。今、軽油も高く大きなバスは必要ない。	男性	50代
JR三江線について、川本駅から浜田駅着8:30までに到着するような代や改正は出来なものでしょうか。	男性	50代
今は江津方面に仕事に出ている事もあり、町内の様子はよくわからない。まげなタクシーのポスターを見た時いいものがあるなあと考えた。両親が年をとり、今は2人も運転をしているが、運転は心配だけど車がないと山の中なので生活がなりたない。免許がない人はもっと大変と思う。財政が豊かではないのでお金もかけられない。でも必要なことだと思う。	女性	50代
まげなタクシー前日までに予約が必要とあるが、急に当日必要になった人への対応も考えてほしい。きめられた目的地とあるが、駅から歩いて歯医者まで行かないといけないという話を聞いた。加藤病院（昔から町は加藤病院ばかり・・・前々町長はつながりもあったようで優遇しておられましたが、まだ続いているのですか？）ばかり行く人ではないのもっと考えてほしい。もっとお年寄りの意見も聞いて欲しい。ざっくばらんに話をするともっと本音が聞けますよね！	女性	50代
R261 沿いの尾原にはバス停がない。町のバスでも1日1回でも良いから走らせてほしい。	女性	50代
現在は不便に感じていない	女性	50代
他町市でも言えるが、乗車人員があまりに少ないのに運行しなければならない現実が大変無駄に見えるに忍びない。全車の小型化は出来ないだろうか。運転手の給料体系はどうなっているのでしょうか。あれほどガラガラの少ないバスの運転でそれなりの給料を頂いているのでしょうか。車の整備は外注の出して、運転のみを1台につきいくらかという歩合制にすることは出来ないのでしょうか。それには少し高齢の運転手（60～70）もしくは女性の運転手の採用をする方向に移行することが必要かと（全員にする必要はないですが）将来運転免許を返上した時、不便さにお手上げ状態になるのではと心配しています。こう言ったら何ですが、川本の人は子供を沢山産んでいます。3人以上の人は半数位いるのではないのでしょうか。保育料を全面的にタダにするという公約をしている人がいますが、それは不要です。川本は結婚問題は深刻ですが、出生率は問題なしです（それはジジババがいたりして育てやすいからです）それよりも交通問題の方が私にとっては深刻のような気がします。予約乗合タクシーには正直乗りたくないです（どんな人が乗ってくるのか心配で気を使い心地悪いので）。	女性	50代
あまり必要性を感じていないが、時々利用したいと思った時便が少なく、利用が難しいので無理をして自家用車で出してしまう。	女性	50代
自家用車があると、どうしてもバス等を使うより自分の車で目的地に直接行く方が早いので利用していません。しかし、いつ車を運転できなくなるかわからないので、その時にバス等の公共交通が無ければ大変不自由だと思います。いろいろ工夫をして利用者の使いやすい公共交通を存続してもらいたいと思います。	女性	50代
高度な医療を受けられる病院を増やしてほしいと思います。	女性	50代
町民の公共交通利用ニーズについて、調査し、必要などころ、時間に基づいた運行計画を立て、無駄なバス等を走らせない等の工夫をしては…まげなタクシーとスクールバスを上手に組み合わせる等。	女性	50代
タクシーでも自宅までは来てくれませんので、自分で運転できなくなると生活に支障が出てくるので、いつまでここに住めるか不安です。	女性	50代
町の支出（税金）も少し子供や高齢者が利用しやすく満足できる方法がないですかねえ。負担割合に満足度も利用率もものすごく低いですね。	女性	50代
現在自分で運転できるので、公共交通に関しては実際利用していないので申し訳ないですが、あまり考えられない。でも、高齢になって運転出来なくなったら、バスも利用したいと思うしその時には色々要望が出ると思います。今の利用者の方の意見を重視して利用しやすい公共交通体系をとって頂きたいと思います。	女性	50代
なんとと言っても最寄りのバス停まで約3キロはある。そこまで行くまでが大変です。	女性	50代
川本からほとんど出る事がないので、今のところ必要はないです。	女性	50代
タクシーを利用した場合の交通費の補助（2分の1）があれば助かります。	男性	60代
三大字地区もスクールバスを運行してください。	男性	60代
バスが通っていない地域のことも考えていますか？平等に考えるなら、バスは全て利用者で負担すべきではないか。	男性	60代
今現在は車を運転して自由に外出ができますが、これからますます人口減などが考えられ、気軽に役場、金融関係、買い物、通院などができにくくなるのが不安に思われます。	男性	60代
公共交通の利用促進については、まず行政側が進んで利用して手本を示すべき（職員の手による通勤手当をカットしてでも）だと思ふ。町民に利用を求めても、行政が知らん顔をしていたら町民は動か	男性	60代

ない。三江線も同じ。同じ沿線に勤務しているものは自家用車ではなく公共機関を利用すべきではないか？川本町職員には街をもっと良くしようという姿勢が見えない。色々な面で手本を示してほしい。予算的な問題もあるでしょうが、バス路線がない地域はタクシー利用券が補助金制度があるといいですね	男性	60代
まげネットタクシーを500円スクールバスを300円高校支援を中止し70歳以上の無料（スクールバス）	男性	60代
「自家用車でなくて」交通の便が悪い	男性	60代
問5④に関してはバスが通行していない。	男性	60代
午後2時川本発三原～谷戸の前にあった便があれば家族も便利だと言っていたので増やしてほしい。	男性	60代
今のところバスを利用する事は無いが、運転が出来なくなった場合利用することになるとおもう。また、バスに数人しか乗っていないのが目につきます。バスを小型にし節約してその分サービス等外に回してはどうかと思います。	男性	60代
今のところ要望はありませんが、年齢が増すにつれてバス、タクシーが必要になるときが来ると思います。	男性	60代
因原バス停の整備をよろしくお願いします。インホ通路は危ないと思う。花が植えてある所を通学路に使用したらいいのではないかと？	男性	60代
・三大字地区は町のスクールバス運行はなし・バス利用者の利用内容不明、内容の調査の必要あり。例えば、病院買物、役場等への用事、仕事利用など仕事利用が朝夕の時間帯が合えば役場外の人も利用可能ではないか。そういった時運行時刻と利用者のニーズ合わせを探さなければバス遊びで使う人はいないと思うよ。問6はバス利用とどんな関係？	男性	60代
ボランティア車登録制度①ボランティア車を登録②登録者と判別できるマークシールを貼る③登録者マークを町民に知らせる④この車が走っていたら気軽に乗せてもらえる 文章で説明しにくいですが、車で走っていて乗せてあげようかと思うが、不審者と思われるので声がかげにくい。これだけ町内を車が走りまわっているのだから、それを利用する方法を助け合いの心で考えてはどうでしょうか。	男性	60代
仕事ができるような職場があればいい。若い人が少なくなって、年寄りばかりになっていくようでは川本町はためになっていくと思う。みんなで議員さんたちが集まってもう少し川本町のことを考えて行かないと川本町はつまらなくなっていくと思う。川本町はさびれていっているから人がいなくなっていくと思う。	男性	60代
町民アンケートで本音を引き出すのであれば、通り一遍の選択的なアンケート形式でなく、該当される方々の意見交換会や民生委員の方などをお願いして、どのように公共交通手段を確保したらよいか、対話を重ねての具体的な方向づけがベストです。形式ではなく、中身・すなわちこの意見に対する肉付けが大事です。バス路線をどうするか、三江線をどうするか、は「方法論の手段」の問題であって、「交通弱者」の方々の「交通手段をどのようにして守ることが出来るのか」ということが基本です。公共交通機関のあり方については、地域の人口形態の変化や今後の見通しの中で議論しなければなりません。その中で答えが見えてきます。 町議会議員の交通手段確保についての考えはどうなのか。当然、各議員はそのことについてきっちりとした意見を持っているはずで。町民の代表である立場としての意見を議会の場で発表・質問して頂きたい。日夜、町民の安心安全、生活向上、幸甚な暮らしを考えるのが議員ではないでしょうか。当然、議長がまとめられなければ出来ないとは思いますが。まさに、議長の手腕も問われるはずで。 「敢えて苦言を呈する」人間の気持ちも分かかってほしい。	男性	60代
現在のところ車の運転が出来るのであまりバス汽車の利用がありませんが、数年後には運転ができなくなりそうですのでこしでも利用するように心がけています。	男性	60代
今はまだ元気なのでこれと言って考えはあまりないのですが、年を重ねて行けば今のままではいけないと思います！車も今は運転できます。それが出来なくなった時、汽車、バスを利用しなければこまると思います。自分がその時にならないと先の事は今何がやってほしいとかこうしたらいいという案はなかなかうかんでこないと自分は思います。町内に住んでいればなおのことです。まげなタクシー等を利用する方に聞かれた方がいいと思います。	女性	60代
地域的に（畑野）町内まで自家用車で出てその後公共交通に乗換と言うのは無理がある	女性	60代
県道走るバスを見ると、空の状態では大型バスをよく見かけます。経費節約のため小型バスに移行してはどうでしょうか。時間に応じてバスの差別化でもしたらよいと思います。これからの人口の減少に向け、今から、経費節約と考えて欲しいと思います。	女性	60代
バスに乗る時、降りるとき一定区間だけでなくどこでもフリーバスが出来るようになると良い。バスの運転手さんのお客さんに対する心構え、接し方のマナー等を全員に必要なのでは。	女性	60代
バスは時と場合によっては利用すると思います。今のところ自家用車で間に合ってます。	女性	60代
朝夕は多く有るのかわからないが、老人でするので昼からでも、行き帰りがしたい時に待ち時間が長い様です。コーヒーでも飲んで待つ喫茶店も駅の近くのがなくなってとても残念です。ふるさと会館等、駅から歩いたとして距離も遠く金額も高いためとても老人には・・・。だから、なるべく因原に行く様にしているが、役場・農協等どうしても川本へ。待つのがいやでタクシーとか乗ってもったいないと私以外にも言っておられます。何せ便利悪い等。	女性	60代
現状より悪くならないよう維持して欲しい。問5④に関しては今後車を利用しなくなった時バスを利用したい	女性	60代
矢谷線について19時のバスをやめて、午前10時～10時半発（川本）を増便して欲しい（買い物、病院通いに便利）	女性	60代
・三原を12時半過ぎのバスで川本に行き、14:00のバスで帰っていましたがなくなり、不便に思います。他の方もタクシーで帰ったりしておられます。・まげなタクシーはいいんですが予約の必要があるので急に出かけることが多く利用できません。	女性	60代
大きな車両は使わずスクールバス程度の増便してみたら？1日に1便程度で川本町内・因原方面に全地域にスクールバス（昔のバス停を起点）を走らせる。まげなタクシーでも良い。決まった時間帯をつくったら（往復）。高齢になると車を手放す人が増え早くなんとかしなくては、現在はまげなタクシーは大変良いと思うが前日の予約なので少し不便。加藤クリニックの送迎バス（無料だと思う）的な事	女性	60代

は大変良い。		
高齢化が進むと病院通い、買物等足となる交通は公共交通が欠かせません。他への予算を削減してでも、地域の交通は確保してください。	女性	60代
スクールバスも必要だとは思いますが、車で通学できるところは出来れば車を利用するように、した方がいいと思います。小学校にしても駅から家までの道のりとかで、応用した方がいいと思います。学校も昔の様に、車を利用すればスクールバスも何台も必要ないのではと思うのですが・・・	女性	60代
自動車の運転が出来なくなったら、利用させて頂きます。現在より便数を増やして欲しい。夜 10 時頃まで運行されますと町の店も発展と思います。	男性	70代
現在、必要性がないので不透明な部分があり実態観が伴わない。幹線道までの距離がある場合送迎（自宅からの）がどうなるのか。歩行困難者の問題はどうか。在宅医療介護との課題は孤立の問題との融合をどう考えるのか。考えています。	男性	70代
大きなイベント等がある時は、出来る限り臨時便を出して町民が集まりやすいようにしてほしい。	男性	70代
問5④に関しては今のままでは時間帯、曜日が利用ニーズに合わず不便だから	男性	70代
問5④に関しては今は利用していないが、その内お世話になると思うので地域住民の負担として家族数に合わせて負担金を取れば良いと思う。	男性	70代
自分の現在の生活についてお話しいたします。妻が4年前に脳梗塞（脳出血）で倒れ今日まで介護サービス、地域の方々のお世話になりながら在宅での生活を送っています。定期的に受信する妻の病院へはまだ私の運転する車で通院しております。いつまで自分が運転できるかはわかりません。バスの運行については孫が小学校に通学しており、朝は集団登校、帰りは学年によりバスの時間も違い、それぞれバスを利用して帰宅しています。今のダイヤで丁度良いのではと感じております。これから先のことはわかりませんが、できるだけ自分で運転をし通院したいものです。医療の面でも妻の薬代のことなど大変助かっており感謝しております。	男性	70代
時間帯及び便数、通行場所をもっと増やしてほしい。	男性	70代
バス便が少なく困っている。多くあることを願う。毎回タクシーの利用が多い。	男性	70代
バスの運行中に一人も乗っていない時は運行をやめては？川本に出る時は予約して、予約の無い時は運行をやめては？	男性	70代
今は車だが、先では利用したいと思っている。	男性	70代
今後、ますます高齢化が進みます。地域バス（小型）は必要です。町財源も考えながら効率の良い運営を望みます。	男性	70代
「思うがままに」なかなかこれぞ！と言った名案が浮かびませんが、問4にあります「まげなタクシー」的なものいいと思います。誰もがより利用しやすいものにするため試行錯誤やってみてはどうでしょうか。また、すでに取り組んでおられると思いますが、インターネットなどで他県の同じ悩みを持つ町、村と情報交換していいと思う事はどんどん取り入れてみては・・・と思います。	男性	70代
まげなタクシーを利用する場合、前もって連絡することと取り消すときには前回までに連絡するのに手配の人は難しいのではないかと	男性	70代
路線バスのない地区の高齢者（自動車運転の出来ない方）を対象としたタクシー割引券の発行を考えてみてはどうですか？	男性	70代
・高齢になっても車を使っているのは、古里にいつまでも住みたいからです。・病院や買い物などで、できる限り自分で行きたい希望が強いのです。・老人は家に居てじっとして行動出来なくなり若者が外へ出て行ってしまふのを見ることはつらいものです。・大変なおとりくみですが、町民の方が互いにささえあって行くための大切な取組です。期待しております。	男性	70代
高齢になるので医と食が簡単に利用出来る町になるよう工夫してもらいたい。	男性	70代
公共交通ではないけど、松ヶ崎にもゴミ箱を置いてほしい。尾原まで出しに行くのは老いては大変。ゴミ箱が奥にあるため道路に止めてですので、危険性があると思う。少し遠いと思う。是非お願いします。	男性	70代
ちょっとした買い物とかお金の出入りとか、11：30のバスで出て12：30のバスで帰れますが、病院に行ったりして12：30のバスに遅れると16時まで三島に帰るバスがありません。タクシーもなかなかつかまらない時もあり、この前一度はちょうど三島に帰る人たちがタクシーを待っておられたので同乗させてもらいました。三島→川本に出るバスは3本位あるのですが、川本→三島に帰るバスが12：30～16：00までないのはちょっと不便な感じ。12：30～16：00までの間にもう一便あればいいな～と思います。たまにしか使わないものがわがままをいっております。すみません。	女性	70代
川本駅前発、弥山荘（ゆたに温泉）経由の三原行き、冬場各共、弥山荘にはいっていただくと喜びます。	女性	70代
【問5④】今のところは将来のためにバスの利用は考えていないとのこと。	女性	70代
高い場所に住んでいて、年とともに苦痛になります。	女性	70代
私はまげなタクシーを利用させて頂いてます。大変ありがたく思っています（自宅から目的地まで）。今後ともよろしくお願い致します。	女性	70代
公共交通を一度運行をやめたのが間違いです。川本町から他県に出て行きたい方が里帰りするときは皆が自家用車とは限りません。バスが不便で本数もないから2回帰っていたのが1回になったとか冬は自家用車だと雪が心配だから帰ると、自然と人の流れが悪くなり寂しい川本になりましたね！目先のお金の流れに気をもむよりもっと先を見つめて町運営をしてください。	女性	70代
町内に住んでいるため不自由なことはありませんが、主人が死亡したら不自由になると思います。その場合のことを考えたら問6④食品や日用品、お弁当など家まで届けてくれる宅配サービスを利用したい。（自分が体調が悪くなった場合）	女性	70代
今は車の運転出来るが、運転できなくなったときのことが不安です。	女性	70代
まげなタクシー急に出掛けたい時に当日にお願いできたらとても助かります。朝何時までとか？	女性	70代
土曜日8：00のバスを週1.2回走って欲しい。谷戸地区の住民1戸建ての個人宅とに別れていて便乗させて頂くことは大変なのでふるさと会館の行事イベントがあるときはシャトルを出して欲しいこともあります。私はスクールバス利用で病院・買物を利用しております。	女性	70代

町内に買い物に出掛けてもトイレが駅まで行かなくてはならないので町内の中心部に設けていただきたい と思います。移動販売を利用しています。これはありがたいです。	女性	70代
現在は自家用車で送迎してもらっているが、これが出来なくなってくるとバス、タクシーを利用させて いただくことになる。今後このような人は年々増えてくるであろう。よろしく願いいたします。	女性	70代
・病院へ行くのに前もってタクシーを予約していますが、自分だけならバスを利用できますが、主人 が弱いので歩くことができず、バスが使えるとよいのですが前もって予約できる巡回予約できるよ うな・・・弱い者の味方になるようなことをしていただきたい。	女性	70代
バスを利用するにはバス停まで遠く、まげなタクシーを利用しています。	女性	70代
現在主人が運転してくれています。私が1人暮らしになったらタクシーを利用しないと動けなくな ると思います。その時は果たして?です。	女性	70代
問5④に関しては何年後かには利用するようになると思う。	女性	70代
現在、邑智病院に通院しています。バスがなくならないように願っています。	女性	70代
スクールバス それに住民のために時間を少し考えてほしいと思う。出ても帰るまで時間が過ぎ る	女性	70代
現在の川本町は何と言っても人口の減少と少子化と高齢化の3本、三つ巴の現状にて公共交通を利用 しりのが本当に少なくなり、JR三江線も利用客減となりました。スクールバスや、おおなんバス、 石見交通バスの運行と病院の診察に間に合う時間を設定したり、買物バスを決めたり、因原・川本 町内を中心にバスの運行を行うのも良い方法かと思えます。マイカー通勤も考えていくのが一つの案で す。”ノーマイカーディ”です!!川本町の発展を願う一市民の一人です。JR三江線も何かイベント を行って乗る人を呼び、又、バスもたとえ乗る人が少なくても”継続は力”なりです。運行を続けて くださいませ。川本町民の一人です。	女性	70代
まげなタクシーの回数を増やしてほしい。タクシーの割引チケットを交付したらどうでしょう(1人 1ヵ月3枚程度)現在の通学バスを増便して欲しい。まげなタクシー当日の電話でお願いできないか (川本→南佐木)	女性	70代
一人暮らしの方や現在自家用車の運転出来ない方の為バスは必要。	女性	70代
○公共交通を利用するのは主に子供と高齢者だと思われるので、町営スクールバスの有効利用を考 える。実態がわからないのでアンケート結果を町民に返していただければ、その上で意見や要望が出 せると思う。公共交通だけではなく合わせて街づくりをかんがえてはどうですか。たとえば高齢化する 川本町で安心して住み続けるために商店の活性化・医療・郵便局をはじめとする金融機関などなど生 活に必要なものがあるかどうかなどの点検も含めて、高齢者の日常生活は自宅を中心に半径500mぐ らいだといわれていることも考え、町内のどこに何が必要なのか見えてくるのではないですか。○大 田・広島間の銀山号は2便あるのでもあま利用しやすく便利ですが、広島から大田便の午後2:55 便がもう少し(3時台)遅くなるとなお便利だと思えます。○浜田道瑞穂インターと川本を結ぶ便、 朝・ター本ぐらいできませんか。	女性	70代
因原→川本 9:30 着の時間希望。川本→因原 14:00~15:00 発の時間希望	女性	70代
三原から因原のいき帰りのバスの便が不便。前は12時便で2時便で替えられていたけどなくなった。	女性	70代
今は車に乗れて自由ですがもう目の前に限界がきています。その後どうするか不安です。	女性	70代
現在は自家用車で用事をすましているが、いつ乗れなくなるかわかりません。その時は利用させて いただきます。病院や買物等タクシーの事を思うと料金が・・・近所の方もまげなタクシーを利用し ていらっしやいますがとても親切にして頂くと喜んでおられました。前の日に予約というのが出来る のか・・・と不安です。年を取ると忘れて、当日に思い出すということも・・・。時刻表等頂ければ と思います。	女性	70代
自分が運転できなくなったら公共交通にお世話になるでしょうが、今は利用はないですね。	女性	70代
今は自家用車を自分で運転しているので、不便は感じません。が、後何年運転出来るのか?いつ病気で 身体が不自由になるのか?出来るだけ元気で自分でしたいと思えます。その為には元気で病気になる 様に自分で気を付けて食事・運動をしたと思っています。	女性	70代
問5④に関しては今は車があるので	女性	70代
三原線の午後2時頃のバスを復旧してほしい。	女性	70代
問5④に関しては自家用車を運転出来る間は利用しようとは思わない	男性	80代
従来あった川本2時発因原経由三原行きバスを復活してほしい。	男性	80代
体が弱ってくるのでなかなかむずかしい。	男性	80代
「まげなタクシー」を拡大、活用して方法を考えて方が良い。	男性	80代
バスを利用したくてもバス停まで歩くのが少々苦痛となり、自家用車で送迎してもらっている。まげ なタクシーは用事が済んでも帰りたい時に帰れないので、結局家族に迎えを頼むという現状。ワゴン 車程度で便数を増やして頂けたら利用できる気もする。	男性	80代
公共バス運行について現在上三坂上りの便を一本でも良いから大朝インターまで伸ばして頂けると、 車のない人や身体の弱い人が大変助かると思えます。是非考えてみて下さい。お願いいたします。	男性	80代
川本町、三原、田窪の八区の住民は午前中の帰りがないので不便です。	男性	80代
※今後、高齢化がますます進むことを思うと、どの地域からでも日常生活に必要な買物、病院に便利 な交通を更に考慮してほしい。私は今はその必要を感じていないが、間もなく必要になると思えます。 ※行政として便利で明るくてすまい街づくりを積極的におすすめしていきたい。地方にでている川 本出身者が住むことを希望するようになることを望みます。大変と思えますがそのために今後の街づく りについて住民と話し合うときが持たれますことを希望します。そしてみんなで川本の将来について 考えることが必要かとおもいます。	男性	80代
問5④についてはバス停が無い。笹畑もバスが走ると良い。	男性	80代
これから高齢者がますます増加し、歩行困難者も増えると思われるので、町内の停留所でもなくとも どこでもバスに乗降できるようにすることを考えてほしい。	男性	80代
問5④に関してはバス停までが遠いので利用できない	男性	80代

道路に平気でバイクが置いてあるが、絶対にやめてほしい。歩く人のためには「ぜったい」に危険です。	女性	80代
①久座仁の停留所は高所にあつて、住宅から歩いて行くには足腰の弱い老人には苦痛である。もっと停留所を住宅前ぐらいにしたら助かる。②立派な会館ができたのだから、バス停留所がないのは不自然。路線の変更をお願いしたい。③現在のバス停と休憩所がはなれすぎて不便である。④予約制乗合タクシーもいいけれども、個人タクシーでもバスでも高齢者には補助券をいただくとありがたい。⑤邑南町、美郷町、川本町スクールバスはその地域の住民でなければ乗れないのでしょうか？せまい地域根性をとっばらって共同で利便をはかったらバスのショーでもあるまいいかがでしょうか？	女性	80代
スクールバスがあるので本当に助かっております。	女性	80代
因原に買い物に行きたい。バスを利用したいが今のところよくわからない。どれにのるのか。	女性	80代
畑野ですが、皆さん自動車を持っておられます。私は一人で住んでいます。病院買い物は川本タクシーを頼んでております。週1回加藤病院に寿苑にリハビリに行く（送迎あり）	女性	80代
今後もまげなタクシーを続けて下さい。	女性	80代
1.各種バスの時刻表だけではわかりにくいので、路線地図を合わせて、記入して欲しい（停留所も明記してもらおう）2.まげなタクシーの申込締切時間を使用したい日の朝8:00頃まで延長して欲しい。	女性	80代
田窪地区、下佐木、古屋口下区はバス停が無いのでスクールバスかそのほかお昼過ぎに帰れるよう川本発のバスの便があると良いと思います。（田窪発川本への1便、帰りの笹畑を通過して1便で田窪まで）私は娘（と言っても高齢ですが）ですが、病院へ朝連れて行って帰りは母は自分でバスで帰っていますが、古屋口バス停から日盛りに帰宅するのはとてもつらいそうです。田窪の方、下佐木の下区の方の方はつらいこともあると思います。同じ利用者が少ないなら笹畑の方、古屋口下、下佐木、田窪の方々助かると思います。	女性	80代
・因原経由の16時台のバスがなくなり大変不便である ・まげなタクシー、中学生・高校生も利用できるのか？利用できないなら利用できるようにしてほしい。（夏休み時期とか）	女性	80代
あまり出る事がないので子供達に連れて出てもらう。	女性	80代
今まであった（2年前）2時発（午後）三原回り川本行き町営バスを再開して欲しい。これが無いと不便。	女性	80代
川本町は店が少ない為、ジュンテンドーなどに買い物に行くに自動車の不便が悪く車が無い為週に1回くらいは昼からでも買い物に行けるようになってほしいです。	女性	80代
川本町スクールバスのわかりやすい時間表	女性	80代
病院で診てもらい、12時のバスに間に合わなかった時、三原線ですけど午後4時過ぎまでありません。前頂きたいな午後2時便があればと思います。	女性	80代
川本・因原・三原2時自動車があれば助かります。	女性	80代
毎日車で通っていますが、バスの回数を減らしてはそれとも小さいバスにしたらどうです。待ちにあわせて車の数を減らしてはどうですか。バスを見ても一人乗っていたら良い方で、大きなバスが多いと思われる。人口にあったバスを動かしてはどうですか。役場の職員さんも多いとおもいます。川本の活性になると思われます。川本町も邑南町、美郷町を少し見習ってはどうか。	女性	80代
私たちの集落は最低の小集落で高齢集落です。若い人の足手まといになっております。なるべく町の負担が少なくなる様に心掛けるようにしたい気持ちはありますが、高齢の一人暮らし、町に対し何もお返しは出来ず申し訳なく思っております。交通の件に付きましては、現在ある便を使用させて頂いて有意義に暮らせて頂いてます。	女性	80代
役所へ月一回連れ居てほしい	女性	80代
年寄りにやさしい住みやすい街になってほしいと思います。	女性	80代
一人暮らしの生活にサポートする人が十分でない。	女性	80代
川本町は高齢者の比率が高く、また、過疎地であるため、合理的で効果の大きい施設が出来ない状況だと思います。まったくの私ごとですが、スクールバス等の交通手段が適用しにくい地区にボランティアで運転ができる人がいるのであれば、利用効果の高いと思える車を提供されてもよいのでは（軽の箱バンとか）管理の問題が難しいと考えられますが、試験的に行える地区は多くあると思いますので。	男性	90代
公共交通と関係ない事で申し訳ありませんが、要望を一つ言わせて下さい。生ゴミ・缶等の収集場所が遠くて持って行くのが大変です。家の近くの道路端でも収集してもらえればと思います。	男性	90代
普通歩けるもの町バス大変便利な乗物と思っていましたが、最近まげなタクシーができ、歩行困難な高齢者には一層の喜びです。病院、役場、農協、購買等多用です。欠くことのできないまげなタクシーです。お力をお願いいたします。	男性	90代



**【問2】 自動車免許証についておたずねします。**

① **あなたは自動車運転免許証を持っていますか。あてはまるもの1つに○をしてください。**

- |                             |                     |
|-----------------------------|---------------------|
| 1. 持っており、日常的に運転している         | 2. 持っているが、今は運転していない |
| 3. 持っていたが返納した（ _____ 歳のとき ） | 4. 運転免許は持ったことがない    |

② ①で「1. 持っている」と回答された方におたずねします。いつまで自動車の運転を続けたいとお考えですか。あてはまるもの1つに○をしてください。

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 運転に危険を感じるようになるまで続けたい           |
| 2. 一定の年齢になるまで続けたい（ _____ 歳頃まで ）   |
| 3. 体が不自由になるまで続けたい                 |
| 4. 周囲から免許返納を勧められるまで続けたい           |
| 5. 車を手放すまで続けたい                    |
| 6. 仕事や農作業等をしなくなり、運転の必要がなくなるまで続けたい |
| 7. その他（ _____ ）                   |

③ ①で「2. 持ってはいるが、今は運転していない」「3. 持っていたが返納した」と回答された方におたずねします。「運転されなくなった」「返納された」理由(きっかけ)はなんですか。あてはまるもの1つに○をしてください。

- |                        |                                |
|------------------------|--------------------------------|
| 1. 運転に危険を感じるようになったから   | 2. ある程度の年齢になったから               |
| 3. 体が不自由になり運転できなくなったから | 4. 周囲から勧められたから                 |
| 5. 車を手放したから            | 6. 仕事や農作業等をしなくなり、運転の必要がなくなったから |
| 7. その他（ _____ ）        |                                |

**【問3】 普段の移動手段として利用しているのはどれですか。あてはまるものすべてに○をしてください。**

弓市への 移動手段	1. 徒歩	2. 自転車	3. シニアカー（電動3輪車）
	4. 自分で運転する自家用車	5. 自家用車による送迎	6. 石見交通バス
	7. 川本町スクールバス	8. おおなんバス	9. JR 三江線
	10. まげなタクシー（予約制乗合タクシー）	11. その他（ _____ ）	
因原への 移動手段	1. 徒歩	2. 自転車	3. シニアカー（電動3輪車）
	4. 自分で運転する自家用車	5. 自家用車による送迎	6. 石見交通バス
	7. 川本町スクールバス	8. おおなんバス	9. JR 三江線
	10. まげなタクシー（予約制乗合タクシー）	11. その他（ _____ ）	

**【問4】 三原線沿線を中心に運行されている「まげなタクシー」(予約制乗合タクシー)についておたずねします。**

現在、川本町スクールバス三原線沿線において、ジャンボタクシーに複数の人が乗り合わせて利用できる「まげなタクシー」を運行しています。前日までに予約が必要で、1乗車300円で自宅（近く）から決められた目的地まで利用することができます。



① 「まげなタクシー」が運行されていることを知っていましたか。あてはまるもの1つに○をしてください。

1. 知っていた      2. 知らなかった      3. 聞いたことはあるが、詳しくはわからない

② 予約制乗合タクシーを他の地域にも導入することが望ましいとお考えですか。あてはまるもの1つに○をしてください。

1. 他地域にも導入することが望ましい      2. 需要や状況に応じて広げる判断をすべき  
3. 他地域に広げる必要はない      4. わからない  
5. その他 ( )

**【問5】** これからの川本町の公共交通についておたずねします。

現在、川本町内を運行するバス路線（石見交通、おおなんバスを含む）は、年間に約 2,718 万円（町民一人当たり年間約 7,460 円）を町から支出し、その運行を維持しています。

① 今後のバスサービス水準（運行本数・料金等）と経費負担について、あてはまるもの1つに○をしてください。

1. 今以上に町の負担を増やして、バスのサービスを充実するべき  
2. 現状並みの町の負担で、適宜改善を加えながら現状程度のサービスを維持するべき  
3. バスのサービスが低下しても、今より町の負担を減らすべき  
4. わからない  
5. その他 ( )

② 川本町の公共交通政策で何が重要だと思えますか。重要だと思うもの3つに○をしてください。

1. 川本町スクールバスの充実（便数の増便、運行ルートの増設等）  
2. 川本町スクールバス利用料金の見直し（現在 200 円）  
3. 川本町スクールバスの車両の更新  
4. 川本町スクールバスのバス停増設  
5. 屋根・イス・自転車置き場・トイレの整備等、バス停環境の充実  
6. 川本町スクールバスと石見交通・おおなんバス・JR等との接続  
7. 時刻表、路線図等のわかりやすい情報提供  
8. 車両の段差などバリアフリー対応について  
9. 公共交通の利用促進策  
10. 公共交通にかかる経費の削減  
11. その他 ( )

③ 今後の川本町の公共交通政策について、どのように取り組むべきだと思えますか。あてはまるもの1つに○をしてください。

1. 行政や交通事業者が考えるべき  
2. 行政や交通事業者が主体となり、地域住民も積極的に参加して考えていくべき  
3. 地域住民が主体となって考え、行政や交通事業者はそれに協力すべき  
4. わからない      5. その他 ( )

④ 地域のバスを将来まで残していくために、バスを利用しようと思いますか。また、利用する場合は現在利用している回数も含めて、月に何回程度バスを利用しようと思いますか。どちらかに○をしてください。

1. 少しでも地域のバスを利用しようと思う ⇒ 月に（　　）回はバスを利用しようと思う
2. バスを利用しようと思わない

問6 現在お住まいの地域での生活において、これからどのようなサービスを利用したいと思いますか。利用したいと思うもの3つに○をしてください。

1. 自宅で診察を受けられる在宅医療を利用したい
2. 身近な所で気軽に健康相談ができる診療所・保健室のような場所を利用したい
3. 自宅から離れていても高度な医療を受けられる病院を利用したい
4. 食品や日用品、お弁当などを家まで届けてくれる宅配サービスを利用したい
5. トラックなどで地域を巡回する移動販売を利用したい
6. 地域の人が気軽に集まり交流できる場所を利用したい
7. 自宅周辺を気軽に移動できる電動カート（シニアカー）を利用したい

問7 川本町内の公共交通についてご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

#### 4. 島根中央高校アンケート調査

問1 島根県立島根中央高等学校 ご担当者様：生徒指導部 教務部 立石 祥美

問2 貴校に在籍している川本町在住の生徒数をご記入ください

1年生生徒数	22人
2年生生徒数	19人
3年生生徒数	27人

問3 貴校に在籍している川本町在住の生徒のうち、島根中央高校専用スクールバス通学生の人数をご記入ください

1年生生徒数	3人
2年生生徒数	1人
3年生生徒数	1人

問4 貴校に在籍している川本町在住の生徒のうち、専用スクールバス以外のバス（石見交通、川本町スクールバス、おおなんバス等）による通学生の人数をご記入ください

1年生生徒数	6人
2年生生徒数	5人
3年生生徒数	3人

問5 貴校に在籍している川本町在住の生徒のうち、JR三江線による通学生の人数をご記入ください

1年生生徒数	2人
2年生生徒数	0人
3年生生徒数	1人

問6 貴校の各種時間についてご記入ください

曜日	月・水・金	火・木
朝礼の開始時刻	8:45	
授業の開始時刻	9:00	
終礼の終了時刻	15:35	16:35
試験時の終了時刻	試験日時間割による（大体昼前）	
部活最終終了時刻	19:00	

問7 貴校の休校期間についてご記入ください

	およその期間	日数
春休み	3月25日～4月7日	約14日間
夏休み	7月27日～8月21日	約26日間
冬休み	12月21日～1月6日	約17日間

問8 現在の公共交通の運行状況について、生徒の通学や部活動などへの影響など、ご意見ご要望等があればご記入ください。

特になし

## 5. 島根中央高校生・保護者アンケート調査結果

### (1) 調査概要

#### ① 目的

○川本町内を運行するバスについての意見を聞き、川本町スクールバス等の問題点・課題を把握するために実施した。

#### ② 実施時期

○平成 25 年 7 月 1 日（月）～7 月 16 日（火）

#### ③ 調査方法

○バスを利用して通学する小学生の保護者を対象に、川本小学校を通してアンケート用紙を配布・回収した。

#### ④ 調査内容

○調査内容は以下のとおりである。

##### 【アンケート調査項目】

- ①個人属性（住所、性別、学校を出る時間）
- ②自宅に一番近いバス停名、自宅からの距離
- ③通学で利用するバス（登校時・下校時）
- ④自宅から、通学で利用するバス停までの主な移動手段（登校時・下校時）
- ⑤川本町スクールバス・石見交通バス・おおなんバスについて（出発時刻・改善点）
- ⑥通学時の送迎について
  - ・送迎の有無、回数
  - ・送迎を行う理由
  - ・マイカー送迎の負担感について
- ⑦自由意見

#### ⑤ 回収率

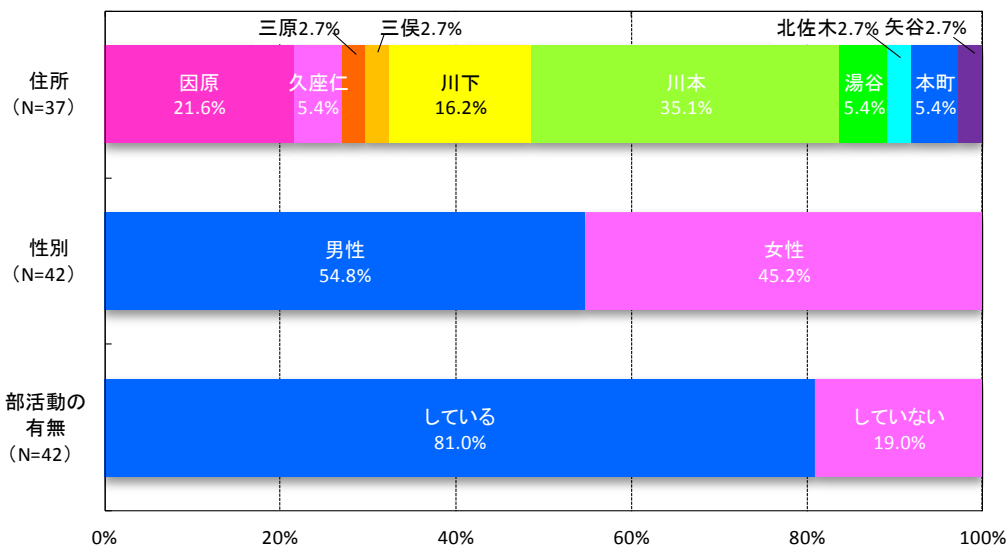
○アンケート用紙を 68 枚配布し、42 枚回収した。（回収率 61.8%）

## (2)調査結果

### 問1：個人属性

○住所は川本、因原、川下が多い。  
 ○性別では男性が女性よりやや多く、8割以上が部活を行っている。  
 ○学校を出る時間は部活によってまちまちである。

#### 【住所】



#### 【島根中央高校の基本情報】

曜日	月・水・金	火・木
朝礼の開始時刻	8:45	
授業の開始時刻	9:00	
終礼の終了時刻	15:35	16:35
試験時の終了時刻	試験日時間割による(大体昼前)	
部活最終終了時刻	19:00	

	およその期間	日数
春休み	3月25日 ~ 4月7日	約14日間
夏休み	7月27日 ~ 8月21日	約26日間
冬休み	12月21日 ~ 1月6日	約17日間

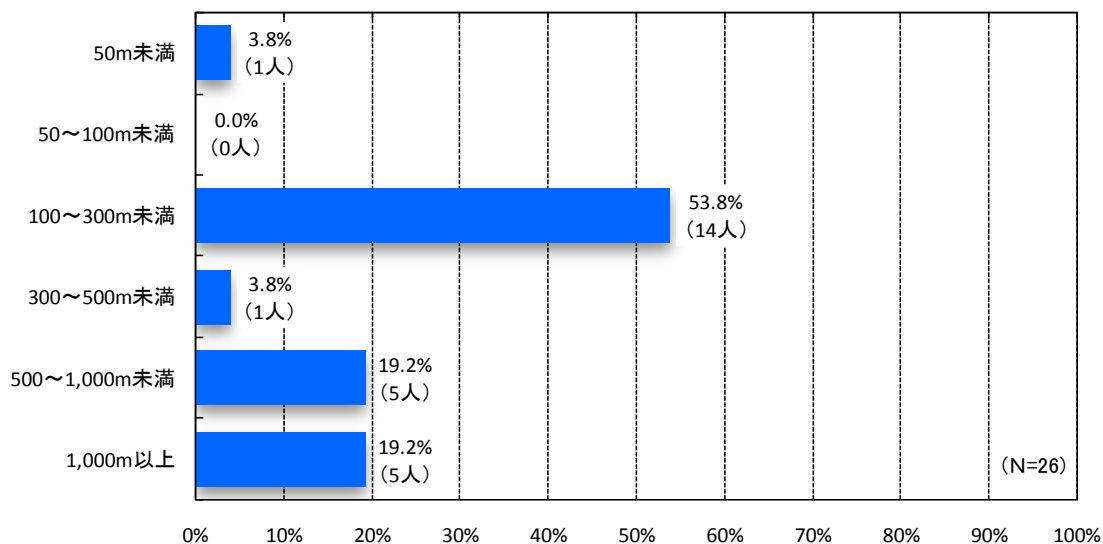
#### 【学校を出る時間】

部活	平日	土曜日	日曜日
JRC	20:15	-	-
新聞部	16:00~17:00	-	-
吹奏楽部	19:30~20:00	17:00~20:30	17:00~20:30
剣道部	17:00~19:00	12:00	12:00
ソフトテニス	17:00~19:30	12:00	-
バスケット部	19:30	12:30	12:30
野球部	19:40~21:00	18:00~19:00	18:00~19:00
陸上部	15:30~20:00	12:00, 20:00	-
なし	17:00~20:00	-	-

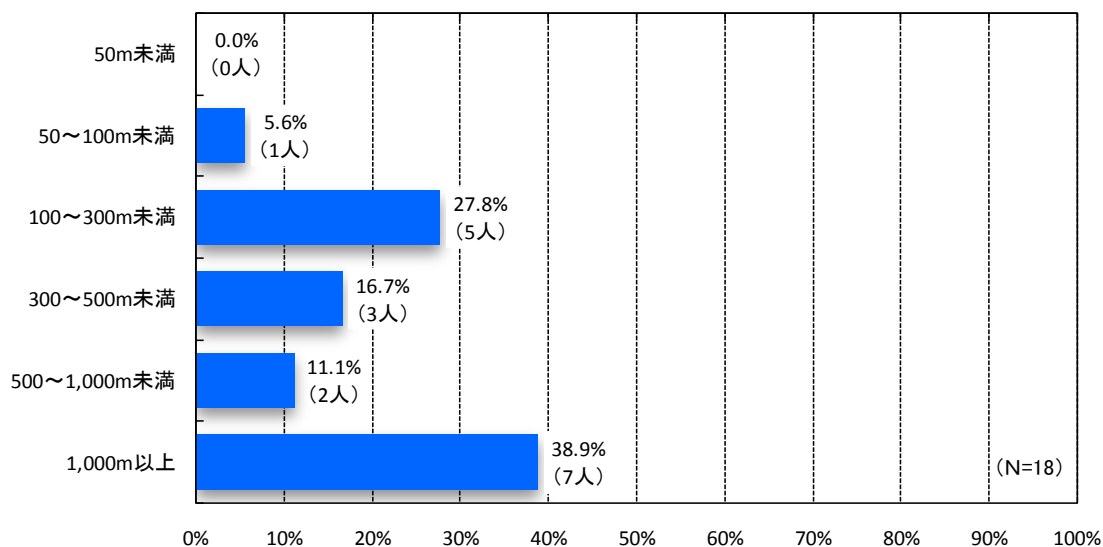
## 問2：自宅に一番近いバス停・JR 駅と自宅からの距離

○回答者の半数以上が、自宅から 300m 未満の場所にバス停がある。  
○自宅から JR 駅までの距離が 300m 未満の場所にあるのは 3 割程度にとどまっており、JR は使いにくい環境にある。

### 【自宅から最寄バス停の距離】



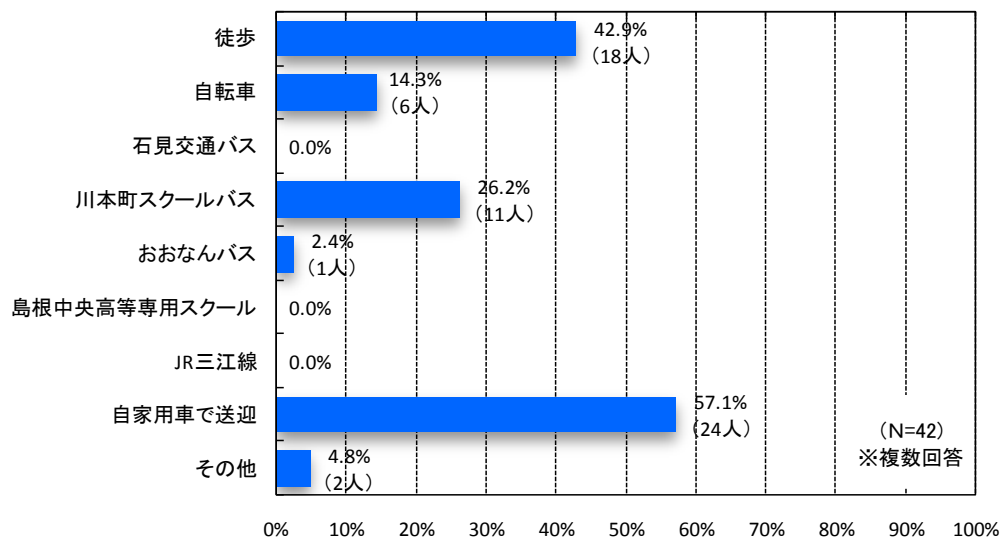
### 【自宅から最寄 JR 駅の距離】



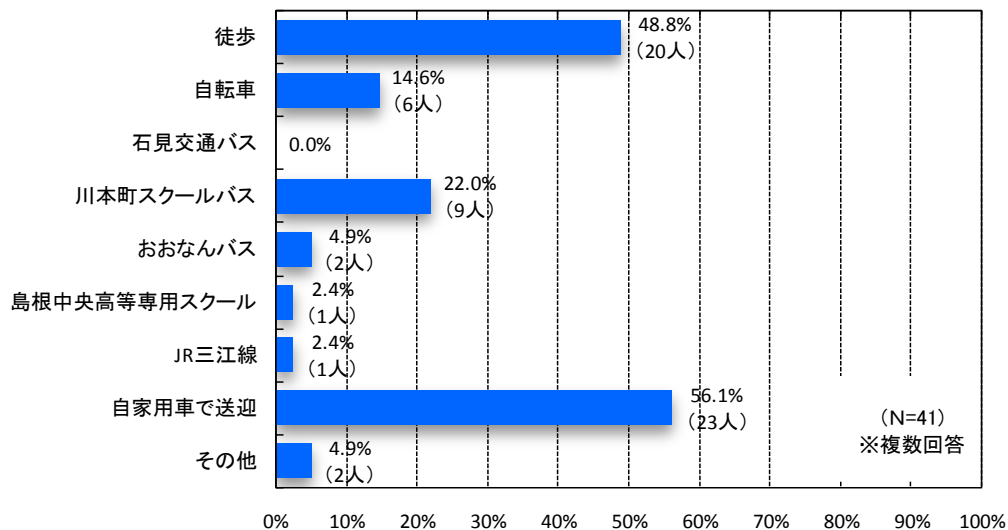
問3：通学で利用する交通機関

○通学で利用する交通機関としては、登下校時とも「家族送迎」を挙げる割合が最も高い。  
 ○バスについては、「川本町スクールバス」の利用を挙げる割合が高く、「おおなんバス」、「島根中央  
 高校専用スクール」、「JR 三江線」の利用は少ない。  
 ○「石見交通バス」は、川本町内からの通学には利用されていない。

【登校時】



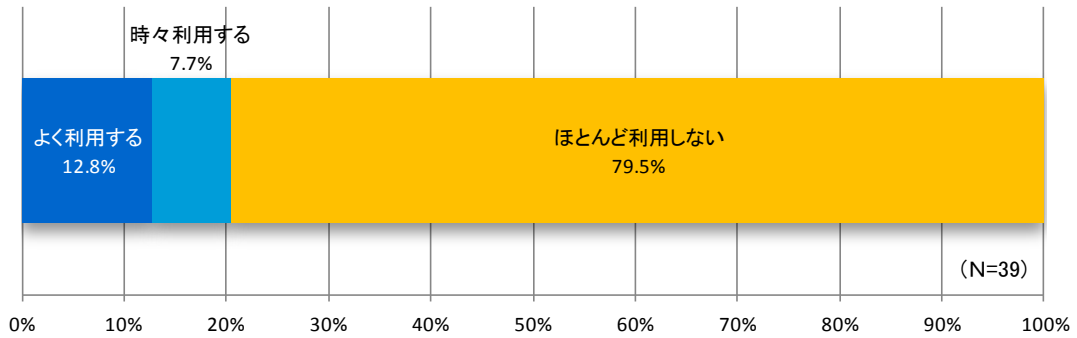
【下校時】



交通機関	住所
徒歩	日の出、元町、上因原、谷、天神町、中新町、本町
自転車	久座仁、因原、谷
川本町スクールバス	八幡、因原、湯谷、絵堂、親和、南部峠、矢谷
おおなんバス	因原
JR 三江線	因原
高校専用スクールバス	因原

問4：土日祝日・長期休業期間（夏休み等）のバスの利用頻度

○日常の通学以外でのバスの利用については、「ほとんど利用しない」が8割近くを占めており、あまり利用されていない現状がある。



【よく利用する、時々利用すると回答した人の属性】

住所	部活の有無	理由
八幡	バスケット	部活
絵堂	吹奏楽	登下校
不明	陸上競技	部活、模試
西	ソフトテニス	部活
親和	陸上競技	部活のため
矢谷	陸上競技	補習など
川本	陸上競技	遊び
南部峠	陸上競技	部活動など

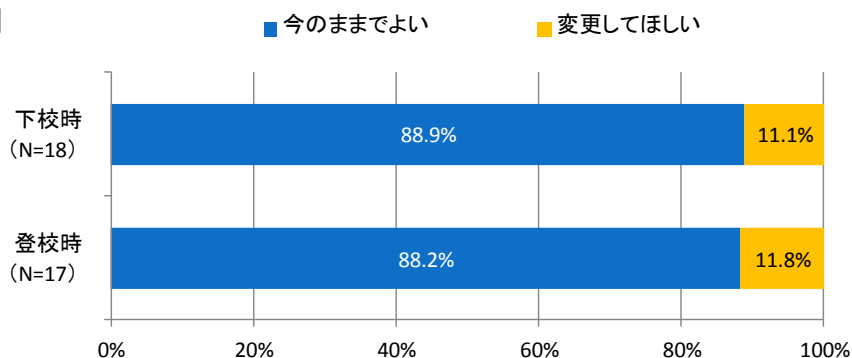


問5：川本町スクールバス・石見交通バス・おおなんバスについて

○町内を運行する各バスについて、ダイヤ変更で便利になる場合があるかどうか尋ねたが、「石見交通バス」「おおなんバス」については「今のままでよい」との回答のみで、特に要望はなかった。  
 ○「川本町スクールバス」については、4件の要望があった。

①出発時刻

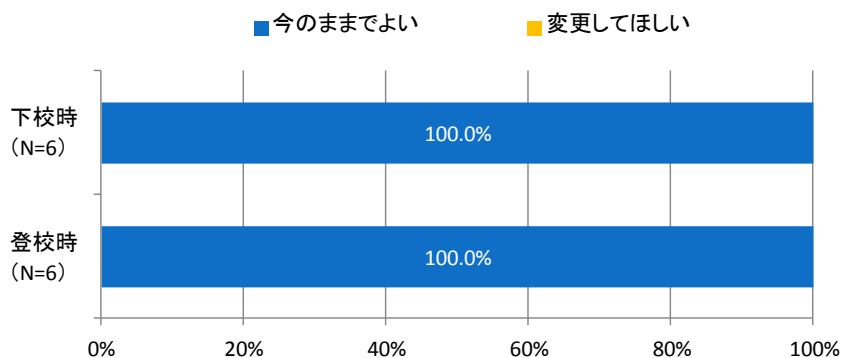
【川本町スクールバス】



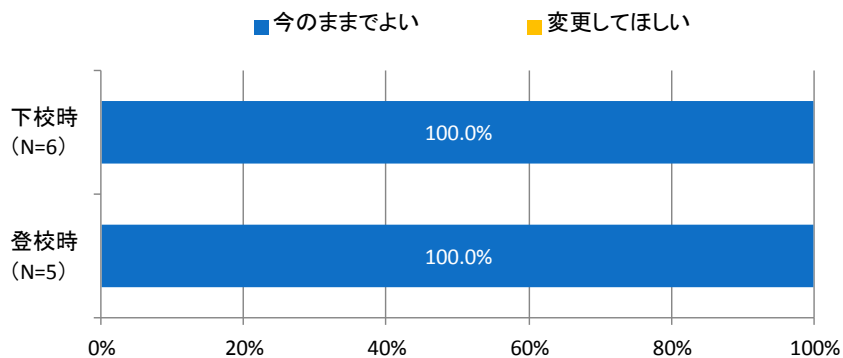
○変更して欲しい内容

- 登校時／ 因原発 8：05 発
- 下校時／ 悠々ふるさと会館 16：35 発
- 下新町発 18：00 発
- 因原発 20：02 発

【石見交通バス】



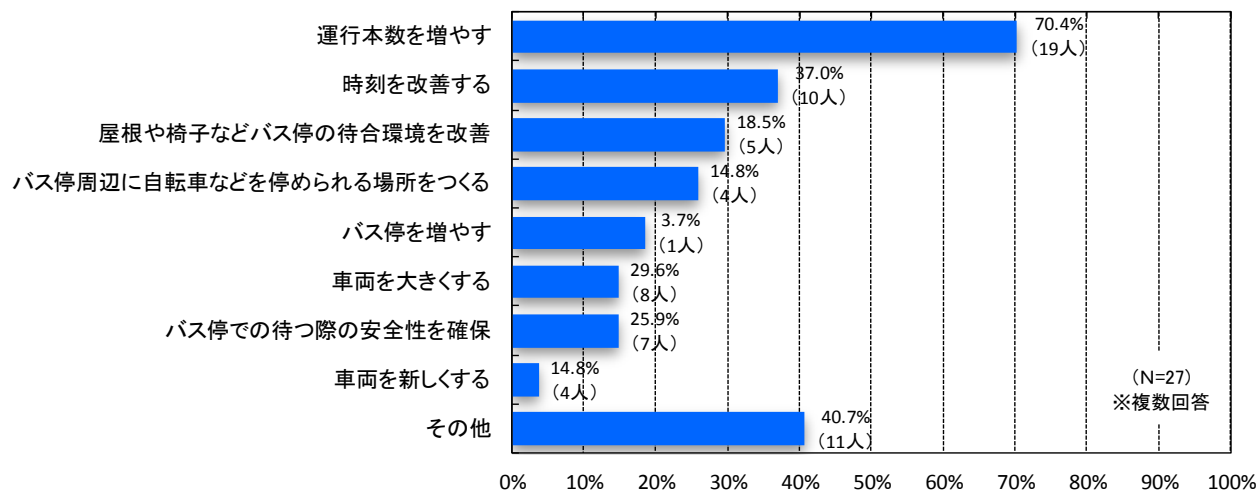
【おおなんバス】



## ②現在のバスサービスの改善点

○川本町スクールバスの改善点としては、「運行本数を増やす」を挙げる割合が70%と最も高い。  
○次いで「時刻を改善する」「バス停の待合環境整備の改善」等と続く。

### 【川本町スクールバス】



### 問6：高校生の自由意見

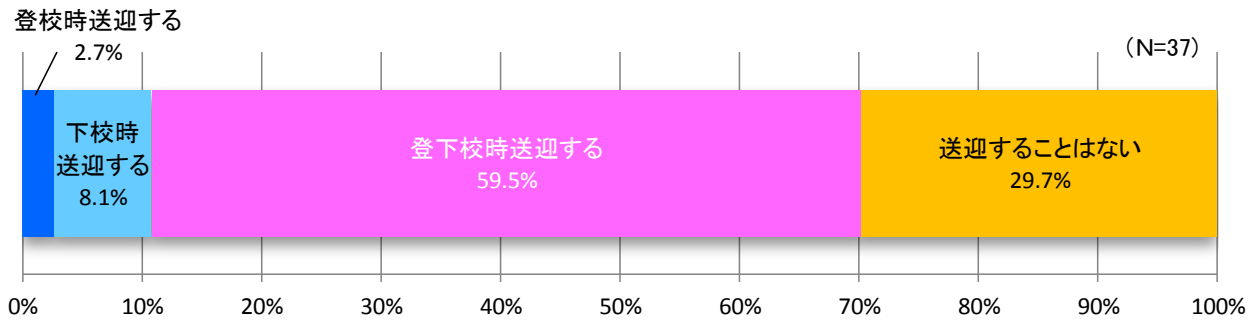
自由意見	住所
運転が荒くおじいちゃんが座席に座っていないのに発車されるので危険だと思います。子供からよく話を耳にします。もし転倒され骨折などされたら大変なことです。安全面を考えるのはあたりまえのこと。どうしてこのようなことを考えないかたが運転されているのか・・・？	因原
小学生が多くて座れない。小学生専用バスがあればいいと思います。(朝のバスでお年寄りが座れない時があった)	因原
川本町スクールバスに小学生がのっていますがとてもうるさくて困っています。できれば小学生専用のバスをだしていただけると嬉しいです。	三原
休日・祝日にもバスを出してほしい	矢谷
前に運行していた14時便を再び運行してほしい。小学生がバス内で騒ぐのでとてもうるさく思う。静かにさせてほしい。	湯谷

問 7：通学での送迎状況（保護者への質問）

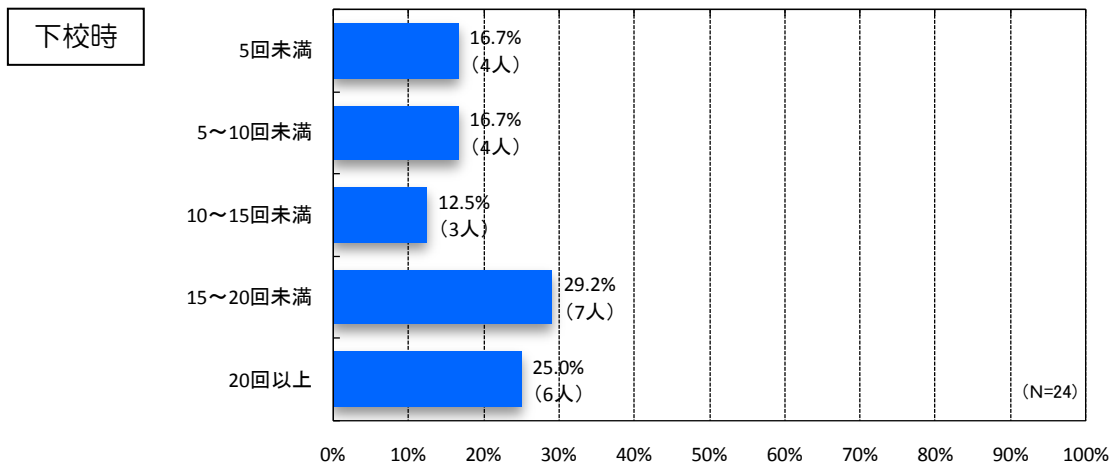
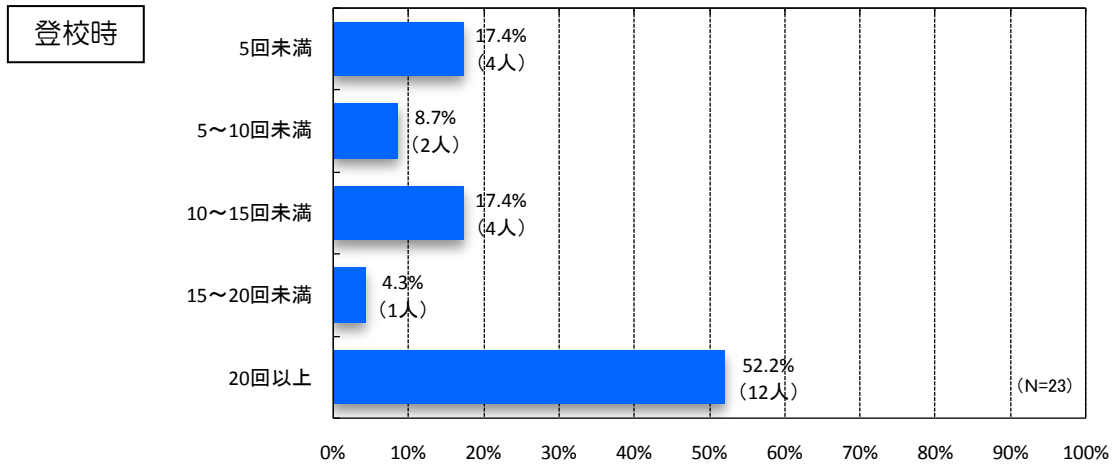
①登下校時の送迎の有無、回数

○保護者の送迎について「登下校時に送迎する」の割合が最も高く、「登校時送迎する」と「下校時送迎する」を合わせると全体の7割程度の生徒が日常的に自家用車送迎で通っている。

【送迎の有無】

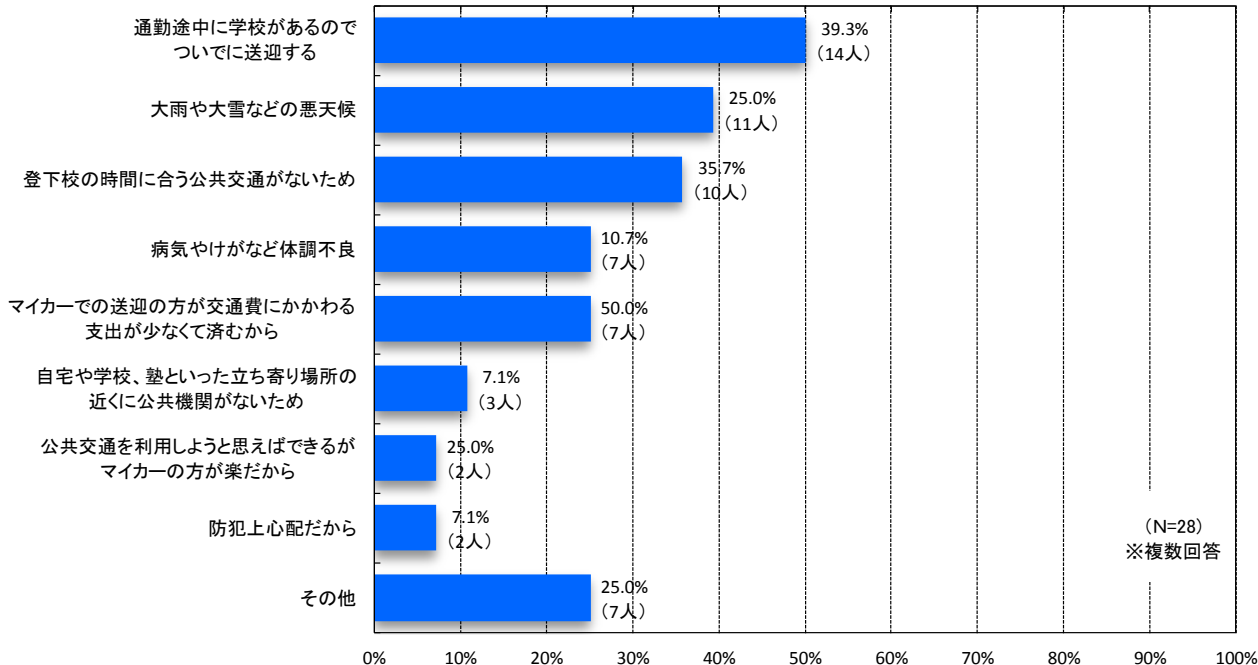


【送迎の回数】



## ②送迎を行う理由

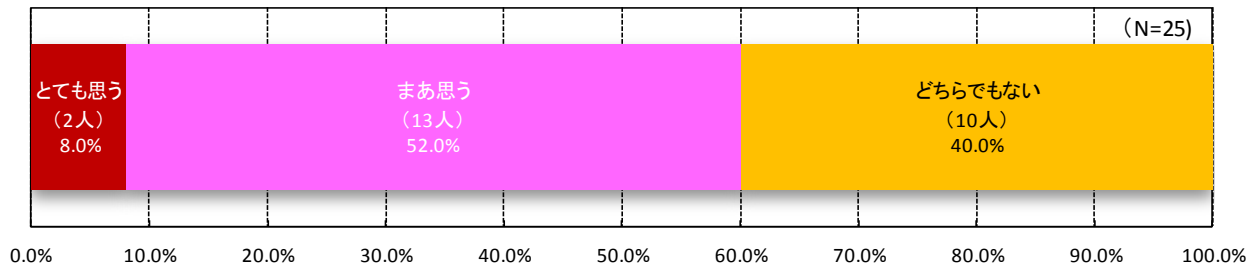
○送迎する理由として最も多いのは「通勤途中に学校があるのでついでに送迎」で、以下、「大雨や大雪などの悪天候」「登下校の時間に合う公共交通がないため」等と続く。



登下校の時間に合う公共交通がないためと回答した保護者の住所	○木路原    ○八幡    ○因原（2）    ○湯谷    ○絵堂    ○矢谷 ○中倉    ○不明（2）    計 10人
-------------------------------	--

## ③マイカー送迎の負担感

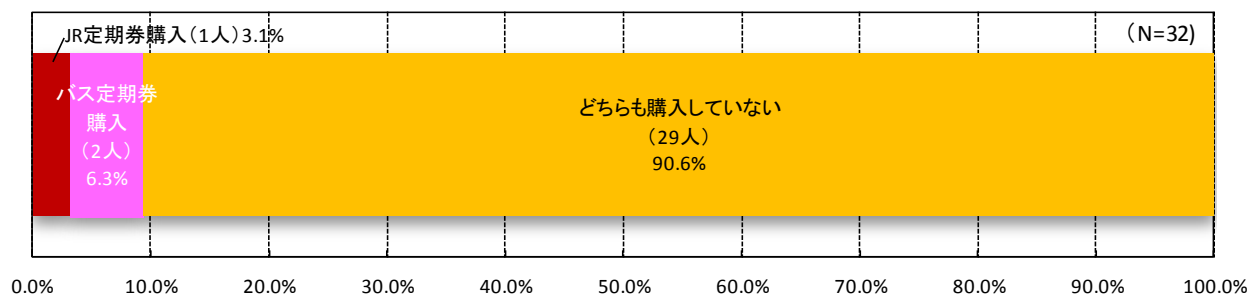
○マイカー送迎の負担感については「とても思う」「まあ思う」を合わせて6割の保護者が何らかの負担感を抱いている。



問 8：通学での定期券利用状況（保護者への質問）

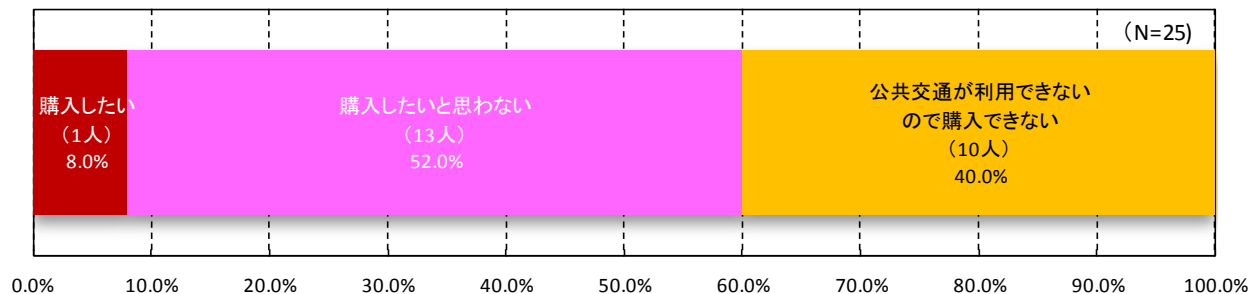
①定期券購入について

○JR、バスを合わせても定期券購入者は3人と非常に少なく、ほとんどのバス利用者が回数券を利用していると思われる。



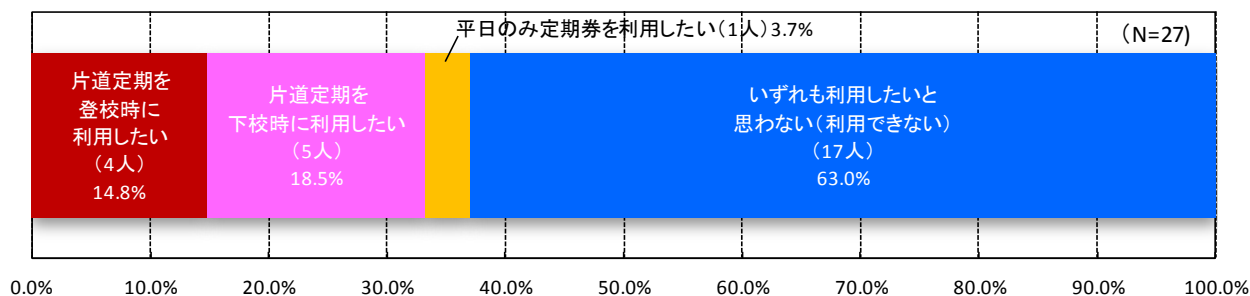
②定期券の購入希望について

○定期券の購入希望もほとんどない。



③割安定期券の購入希望について

○割安定期券については、片道定期券の利用希望が若干ある。



問 9：保護者の自由意見

自由意見	住所
<p>・JRの時間帯が悪い（部活動の時、朝早すぎて夜遅すぎる）・美郷・江津・桜江方面は無料送迎バスがあるのに地元から通う子には高い定期購入させ補助もなく不公平である（学校の対応）。公共交通は時間帯が悪く親の送迎が必要である。</p>	<p>因原</p>
<p>現在回数券を利用しています。定期券だと使用しない日があるのに少し無駄だと思います。とにかく人数の少ない町なのでなかなか思うようにいかないと考えます。</p>	
<p>バスの中のマナーがなってない！小学生など。運転が荒い</p>	<p>八幡</p>
<p>バスなどの公共交通機関を通してほしい</p>	<p>笹畑</p>
<p>町外へ出掛けなければならない時（例えば通院などの）相互利用しやすいように、自家用車を使っていなくても良いように、路線などを考えて欲しい。現状では町外へ出ようと思っても、そこへ行く手立てがあまりに少なすぎる。乗客バスはJRを利用しようと思っても、便数が少ないから利用しにくい会社側は乗客が少ないから便数を減らさざるを得ない。みな悪循環である。となりの江津や大田くらいまでなら子供だけでも行けるように、（親が連れて行かなくても）路線便数などを考えて欲しい。</p>	<p>川本</p>
<p>・以前あった 14 時台の便がなくなり大変不便である。・19：30 頃川本駅発の便（スクールバス）があり部活の帰りの便として大変助かっている。</p>	<p>三原</p>
<p>土曜日も朝 7：21 分のバスと昼中学校まわりで中学校の下を 12：00 すぎで川本駅を 12：30 頃のバスがあればいいです。中学生の子も高校生の子も部活や学校の行事で出た時にとてもたすかります。</p>	<p>矢谷</p>
<p>回数券について、21 回分 2000 円のを作ってもらえないだろうか</p>	
<p>高校の場合、テスト期間になると通常の時刻だとバスを利用することができない。</p>	
<p>中学校の時はスクールバスに大変お世話になり、また助成もしていただきましたのでありがたかったです。平日の下校時間が学校が半日で終わる場合、バスに間に合わないため片道タクシーで帰宅したこともあります。乗車人数が少ないことはわかっていますが、三谷経由の 14：00 便が復活するとうちの子供はタクシーを使わずにすみ助かります。但し、高校が駅で昼食をとることが可能でなければいけません が・・・</p>	<p>湯谷</p>



**問2 自宅最寄りのバス停とJR駅について、名前と自宅からの距離または時間をご記入ください。**

自宅最寄りのバス停について	1. 約( )mまたは、徒歩で( )分の所にバス停がある 2. わからない
自宅最寄りのJR駅について	1. 約( )mまたは、徒歩で( )分の所に駅がある 2. わからない

**問3 通学で利用する交通機関についておたずねします。登校時・下校時の移動手段として、あてはまるものすべてに○をしてください。**

登校時	1. 徒歩    2. 自転車    3. 石見交通バス    4. 川本町スクールバス 5. おおなんバス    6. 島根中央高校専用スクールバス    7. JR 三江線 8. 自家用車で送迎    9. その他( )
下校時	1. 徒歩    2. 自転車    3. 石見交通バス    4. 川本町スクールバス 5. おおなんバス    6. 島根中央高校専用スクールバス    7. JR 三江線 8. 自家用車で送迎    9. その他( )

**問4 土日祝日・長期休業期間(夏休み等)のバス利用についておたずねします。あなたはこれらの休日にバスを利用しますか。あてはまるもの1つに○をしてください。**

1. よく利用する( 主な利用目的: )
2. 時々利用する( 主な利用目的: )
3. ほとんど利用しない( 利用しない理由: )

**問5 川本町内を運行する以下の路線バスについておたずねします。**

① バスの便がもう少し早くなれば、あるいはもう少し遅くなれば通学に利用できる(利用しやすくなる)路線がありますか。あれば、乗車バス停名、希望時刻をご記入ください。

川本町スクールバスを利用されている方	
登校時	1. このままでよい    2. 変更して欲しい( )バス停を : (頃発)
下校時	1. このままでよい    2. 変更して欲しい( )バス停を : (頃発)

石見交通バス(大田市～石見川本)を利用されている方	
登校時	1. このままでよい    2. 変更して欲しい( )バス停を : (頃発)
下校時	1. このままでよい    2. 変更して欲しい( )バス停を : (頃発)

おおなんバス(石見川本～三坂口)を利用されている方	
登校時	1. このままでよい    2. 変更して欲しい( )バス停を : (頃発)
下校時	1. このままでよい    2. 変更して欲しい( )バス停を : (頃発)







## 6. 川本中学校アンケート調査結果

問1 川本町立川本中学校 ご担当者様： 松崎 英一

問2 貴校に在籍している生徒数をご記入ください

1年生生徒数	21人
2年生生徒数	19人
3年生生徒数	27人

問3 貴校に在籍している生徒のうち、専用スクールバス通学生の人数をご記入ください

1年生生徒数	4人
2年生生徒数	1人
3年生生徒数	4人

問4 貴校に在籍している生徒のうち、専用スクールバス以外のバス（石見交通、川本町スクールバス、おおなんバス等）による通学生の人数をご記入ください

1年生生徒数	0人
2年生生徒数	0人
3年生生徒数	0人

問5 貴校に在籍している生徒のうち、JR三江線による通学生の人数をご記入ください

1年生生徒数	0人
2年生生徒数	0人
3年生生徒数	0人

問6 貴校の各種時間についてご記入ください

曜日	月～金
朝礼の開始時刻	8:15
授業の開始時刻	8:50
終礼の終了時刻	16:00
部活最終終了時刻	P.3参照

問7 貴校の休校期間についてご記入ください

	およその期間	日数
春休み	3月25日～4月7日	約13日間
夏休み	7月20日～8月31日	約41日間
冬休み	12月26日～1月7日	約12日間

問8 現在の公共交通の運行状況について、生徒の通学や部活動などへの影響など、ご意見ご要望等があればご記入ください。

- 便がないので、利用したくてもできないのが現状。(川内、馬野原)
- 土・日の練習後、時間があわず、せっかくの臨時便が使えない子があった。毎月の臨時便依頼とキャンセルには労が多かった。
- 以前 17:44 発が小学校バスの関係で 17:34 発に昨年度から変更になったが、部活動を早く切り上げるなど、大きなロスが生じている。
- 昨年度 14 時台のバスがなくなったので、臨時便の文章依頼が生じた。電話だけで処理できないか。
- ダイヤ改正にあたっては学校の意見を踏まえて、十分検討して頂きたい。

川本中学校下校時刻

バス通学生

区 分	下校時刻	三原線・矢谷線川中下発
4月～群新人戦(10月10日頃)	18:30	18:39(11月末日季節便) 18:46( // )
郡新人戦～文化祭(11月3日頃) ※11月中旬にあるバレーボール大会の出場権を得た場合は	18:15 ※18:30	18:39(季節便) 18:46( // )
文化祭～2月末	17:30	17:34(定期便) 17:45( // )
3月～3月末	18:00	18:39(季節便) 18:46( // )

■土曜日・日曜日の部活動による出校

○吹奏楽/12:30(半日練習) 16:45(1日練習) (対象者 三原線2名 矢谷線 1名)

○バレーボール

平成25年度は郡総体以降、対象者がいなくなった。バスの出発時刻の関係で早く終わっていたが、12:30頃までは練習希望があった。(対象者 三原線2名)

○野球/12:30(半日練習) (対象者 三原線1名)

○陸上/12:30(半日練習) (対象者 矢谷線3名)

※バレーボールの1人を除いて、土曜日・日曜日の送り迎えはすべて保護者が行っていた。

※石見交通バス、おおなんバス:該当者なし

## 7. 川本中学校保護者アンケート調査結果

### (1) 調査概要

#### ① 目的

○川本町内を運行するバスについての意見を聞き、川本町スクールバス等の問題点・課題を把握するために実施した。

#### ② 実施時期

○平成 25 年 7 月 1 日（月）～7 月 16 日（火）

#### ③ 調査方法

○バスを利用して通学する小学生の保護者を対象に、川本小学校を通してアンケート用紙を配布・回収した。

#### ④ 調査内容

○調査内容は以下のとおりである。

##### 【アンケート調査項目】

- ①個人属性（住所、性別、学校を出る時間）
- ②自宅に一番近いバス停名、自宅からの距離
- ③通学で利用するバス（登校時・下校時）
- ④自宅から、通学で利用するバス停までの主な移動手段（登校時・下校時）
- ⑤川本町スクールバス・石見交通バス・おおなんバスについて（出発時刻・改善点）
- ⑥通学時の送迎について
  - ・送迎の有無、回数
  - ・送迎を行う理由
  - ・マイカー送迎の負担感について
- ⑦自由意見

#### ⑤ 回収率

○アンケート用紙を 9 枚配布し、4 枚回収した。（回収率 44.4%）

## (2)調査結果

問1：個人属性

【住所】

三俣	1人	25.0%
三原	1人	25.0%
馬野原	1人	25.0%
田窪	1人	25.0%

【性別】

男性	2人	50.0%
女性	2人	50.0%

【部活動の有無】

している	4人	100.0%
していない	0人	0.0%

問2：自宅に一番近いバス停（集合場所）と自宅からの距離

【最寄バス停（集合場所）名】

住所	最寄バス停名
三俣	三俣神社前
三原	南部峠
田窪	石見三原

【自宅からバス停までの距離】

50m 未満		
50～100m 未満	1人	33.3%
100～300m 未満		
300～500m 未満	1人	33.3%
500～1,000m 未満		
1,000m 以上	1人（田窪）	33.3%
※複数回答 n=3		

問3：通学で利用するバス

【登校時】

川本町スクールバス	4人	100.0%
石見交通バス		
おおなんバス		
自家用車で送迎	1人（三俣）	25.0%
※複数回答 n=4		

【下校時】

川本町スクールバス	3人	75.0%
石見交通バス		
おおなんバス		
自家用車で送迎	1人（三俣）	25.0%
※複数回答 n=4		

問4：自宅からバス停（集合場所）までの移動手段

【登校時】

徒歩	2人	50.0%
自転車		
自家用車で送迎	2人（馬野原・田窪）	50.0%
その他		

【下校時】

徒歩	1人	25.0%
自転車		
自家用車で送迎	3人（三俣・馬野原・田窪）	75.0%
その他		

問5：土日祝日・長期休業期間（夏休み等）のバスの利用頻度

よく利用する	2人	40.0%
時々利用する		
ほとんど利用しない	3人	60.0%

問6：川本町スクールバス・石見交通バス・おおなんバスについて

① 出発時刻

【登校時】川本町スクールバスの出発時刻

今のままでよい	2人	100.0%
変更してほしい		

○石見交通バス、おおなんバス：該当者なし

【下校時】川本町スクールバスの出発時刻

今のままでよい	2人	66.7%
変更してほしい	1人（南部峠）	33.3%

★変更してほしい内容／川本中学校を15：00発

○石見交通バス、おおなんバス：該当者なし

②現在のバスサービスの改善点

【川本町スクールバス】

運行本数を増やす	2人	50.0%
時刻を改善する	4人	100.0%
バス停を増やす		
車両を大きくする		
車両を新しくする		
屋根や椅子などバス停の待合環境を改善		
バス停周辺に自転車などを止められる場所をつくる		
バス停での待つ際の安全性を確保		
その他	1人	25.0%
複数回答 n=4		

★その他の意見／中学校へ登校する際、三原まわりだったので、朝早いし不便だった（三俣）

問7：通学での送迎状況

①登下校時の送迎の有無、回数

【送迎の有無】

登校時送迎することがある	2人（三俣・馬野原）	66.7%
下校時送迎することがある	2人（三俣・馬野原）	66.7%
送迎することはない	1人（南部峠）	33.3%
n=3		

★（南部峠）平日は送迎することはないが、土日の部活時はほとんど送迎

## 【送迎の回数】

### 登校時

5回未満		
5～10回未満	1人（馬野原）	50.0%
10～15回未満		
15～20回未満		
20回以上（毎日）	1人（三俣）	50.0%
n=2		

### 下校時

5回未満		
5～10回未満	1人（馬野原）	50.0%
10～15回未満		
15～20回未満		
20回以上	1人（三俣）	50.0%
n=2		

## ②送迎を行う理由

大雨や大雪などの悪天候	1人	33.3%
病気やけがなど体調不良	1人	33.3%
登下校の時間に合う公共交通がないため	1人（南部峠）	33.3%
自宅や学校、塾といった立ち寄り場所の近くに公共機関がないため		
通勤途中に学校があるのでつい送迎する	1人	33.3%
公共交通を利用しようと思えばできるがマイカーの方が楽だから		
マイカーでの送迎の方が交通費にかかわる支出が少なくて済むから		
防犯上心配だから	1人	33.3%
その他（土日の部活時：馬野原）	1人	33.3%
複数回答 n=3		

## ③マイカー送迎の負担感

とても思う	1人（南部峠）	33.3%
まあ思う	1人（馬野原）	33.3%
どちらでもない		
あまり思わない	1人（三俣）	33.3%
全く思わない		
複数回答 n=3		

## 問7：自由意見

自由意見	住所
前あった 14 時台の三原まわりの便がなくなり、部活動に支障がある。ぜひ 14～15 時台の便を復活させてほしい。また、午前中の部活でも中学校前から乗って三原に帰れる便がなく、11 時頃には部活を途中でぬけて徒歩で川本駅まで行き、12 時頃駅発の三谷便に乗るしか部活に参加する方法がない。子供が部活動に参加しやすい環境となるよう、ご尽力よろしく願いいたします。	三原
三俣～三原まわりで登校するのは不便であった。逆回りもあって良かったかなと今更思います。	三俣





問3 通学で利用するバスについておたずねします。登校時・下校時の移動手段として、あてはまるものすべてに○をしてください。

登校時	1. 川本町スクールバス	2. 石見交通バス	3. おおなんバス
	4. 自家用車で送迎		
下校時	1. 川本町スクールバス	2. 石見交通バス	3. おおなんバス
	4. 自家用車で送迎		

問4 通学でバスを利用する際、自宅からバス停(集合場所)までの主な移動手段は何ですか。あてはまるもの1つに○をしてください。

登校時	1. 徒歩	2. 自転車	3. 自家用車で送迎	4. その他 ( )
下校時	1. 徒歩	2. 自転車	3. 自家用車で送迎	4. その他 ( )

問5 土日祝日・夏休みなどのバス利用についておたずねします。お子さんはこれらの休日にバスを利用しますか。あてはまるもの1つに○をしてください。

1. よく利用する ( 主な利用目的 : /利用するバス : )
2. 時々利用する ( 主な利用目的 : /利用するバス : )
3. ほとんど利用しない ( 利用しない理由 : )

問6 お子さんが利用されている川本町スクールバス、石見交通バス、おおなんバスについておたずねします。

① 出発時刻について

川本町スクールバスを利用されている方	
登校時	1. このままでよい      2. 変更して欲しい ( _____ バス停を : 頃発)
下校時	1. このままでよい      2. 変更して欲しい ( _____ バス停を : 頃発)

石見交通バス (大田市～石見川本) を利用されている方	
登校時	1. このままでよい      2. 変更して欲しい ( _____ バス停を : 頃発)
下校時	1. このままでよい      2. 変更して欲しい ( _____ バス停を : 頃発)

おおなんバス (石見川本～三坂口) を利用されている方	
登校時	1. このままでよい      2. 変更して欲しい ( _____ バス停を : 頃発)
下校時	1. このままでよい      2. 変更して欲しい ( _____ バス停を : 頃発)



## 8. 川本小学校アンケート結果

問1 川本町立川本小学校 ご担当者様： 石田 勇

問2 貴校に在籍している児童数をご記入ください

1年生児童数	26人
2年生児童数	21人
3年生児童数	24人
4年生児童数	26人
5年生児童数	20人
6年生児童数	22人

問3 貴校に在籍している児童のうち、専用スクールバス通学生の人数をご記入ください

1年生児童数	8人
2年生児童数	5人
3年生児童数	2人
4年生児童数	5人
5年生児童数	1人
6年生児童数	2人

問4 貴校に在籍している児童のうち、専用スクールバス以外のバス(石見交通、川本町スクールバス、おおなんバス等)による通学生の人数をご記入ください

1年生児童数	9人
2年生児童数	5人
3年生児童数	6人
4年生児童数	10人
5年生児童数	6人
6年生児童数	7人

問5 貴校に在籍している児童のうち、JR三江線による通学生の人数をご記入ください

1年生児童数	0人
2年生児童数	0人
3年生児童数	0人
4年生児童数	0人
5年生児童数	0人
6年生児童数	0人

問6 貴校の各種時間についてご記入ください

曜日	月	火～金	備考
朝礼の開始時刻	8:20	8:20	
授業の開始時刻	8:50	8:50	
終礼の終了時刻	14:55	15:45	※学年によって異なる。一番遅い学年の時刻。

問7 貴校の休校期間についてご記入ください

	およその期間	日数
春休み	3月25日～4月7日	約14日間
夏休み	7月20日～8月28日	約40日間
冬休み	12月26日～1月7日	約13日間

問8 現在の公共交通の運行状況について、ご意見ご要望等があればご記入ください。

○木路原児童の登校に際し、8:00か8:00少し前に、川本駅に着く便があればJR三江線を利用できる。(帰りに時々利用しておられる家庭もある)

○日向の児童がいるが、帰りの良い便がない。(行きはバス利用、帰りは保護者の車)

【問8の検証】

■木路原からのJR三江線による登下校

- ・現状のJR三江線のダイヤでは、三江線を利用して木路原から登校することはできない。
- ・下校については、16時台の便が利用できる。

JR三江線の時刻

江津方面行			三次方面行			
木路原発	7:01	8:20	石見川本発	14:00	16:16	17:42
石見川本着	7:05	8:24	木路原着	14:05	16:20	17:47

■日向の児童の利便性

- ・日向から川本小学校へ通学するには、朝1便と夕方1便しかなく、夕方の便は川本駅発で小学生には遅い時間となっている。

川本町スクールバスの時刻

日向→小学校		小学校→日向	
石見日向発	7:54	石見川本発	17:30
会館前着	8:01	石見日向着	17:36

## 9. 川本小学校保護者アンケート調査結果

### (1) 調査概要

#### ① 目的

○川本町内を運行するバスについての意見を聞き、川本町スクールバス等の問題点・課題を把握するために実施した。

#### ② 実施時期

○平成 25 年 7 月 1 日（月）～7 月 16 日（火）

#### ③ 調査方法

○バスを利用して通学する小学生の保護者を対象に、川本小学校を通してアンケート用紙を配布・回収した。

#### ④ 調査内容

○調査内容は以下のとおりである。

##### 【アンケート調査項目】

- ①個人属性（住所、性別、学校を出る時間）
- ②自宅に一番近いバス停名、自宅からの距離
- ③通学で利用するバス（登校時・下校時）
- ④自宅から、通学で利用するバス停までの主な移動手段（登校時・下校時）
- ⑤川本町スクールバス・石見交通バス・おおなんバスについて（出発時刻・改善点）
- ⑥通学時の送迎について
  - ・送迎の有無、回数
  - ・送迎を行う理由
  - ・マイカー送迎の負担感について
- ⑦自由意見

#### ⑤ 回収率

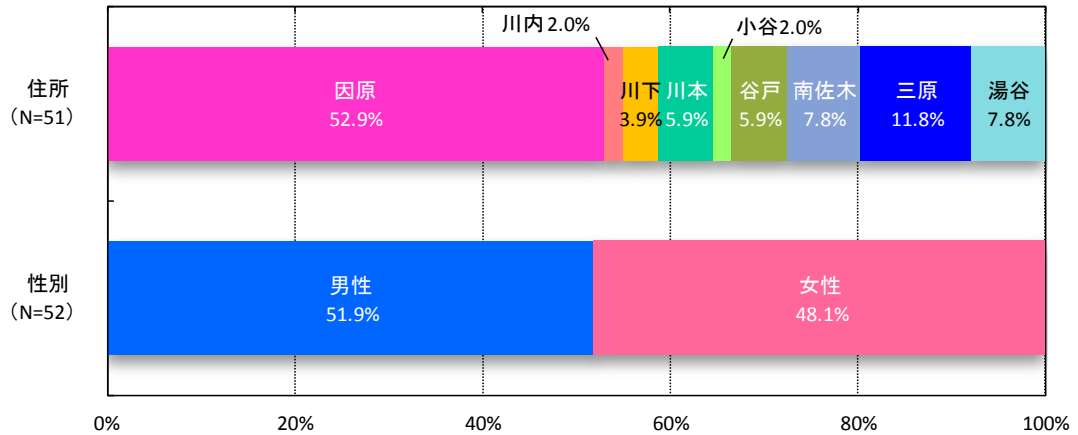
○アンケート用紙を 66 枚配布し、54 枚回収した。（回収率 81.8%）

## (2)調査結果

### 問1：個人属性

○バスを利用する小学生は、因原地区が最も多く半数以上を占めている。

#### 【住所】

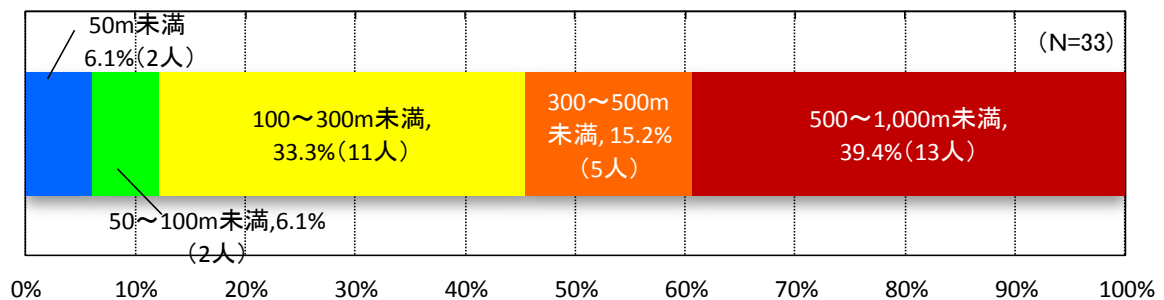


### 問2：自宅に一番近いバス停（集合場所）と自宅からの距離

○自宅から最寄バス停（集合場所）まで 500m～1000m 離れている児童が 4 割近くいる。

#### ■最寄バス停（集合場所）名

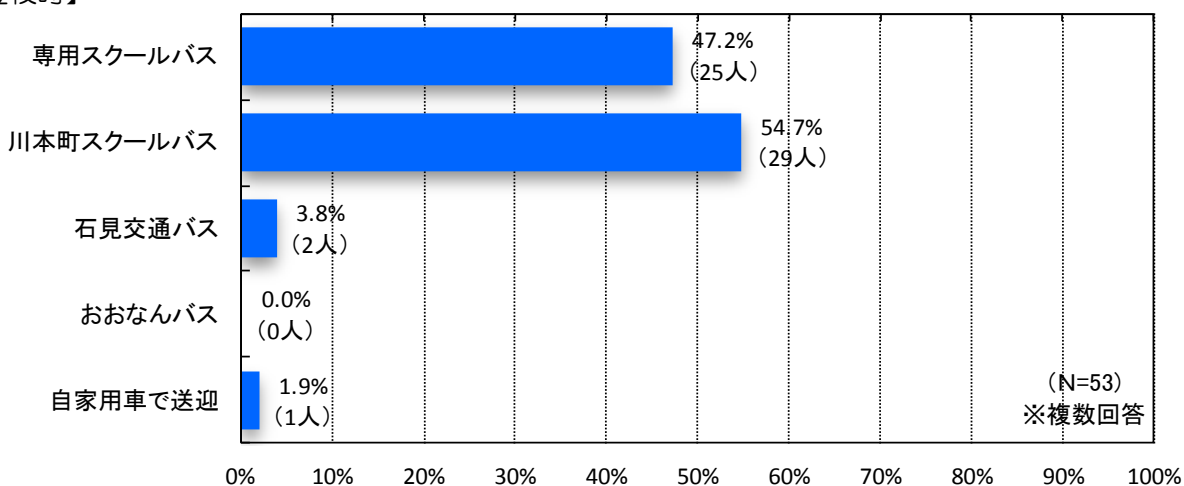
住所	最寄バス停名	住所	最寄バス停名
因原	因原	南佐木	石見源
	道の駅		白地
	下因原		東本店
	八幡平団地	三原	市口
三江線の横	つくし原		
川下	中学校前	湯谷	上湯谷
	田原		湯谷
川本	芋畑口	小谷	柿ノ木原
	日向	谷戸	中野原
	矢谷	川内	川内上郷



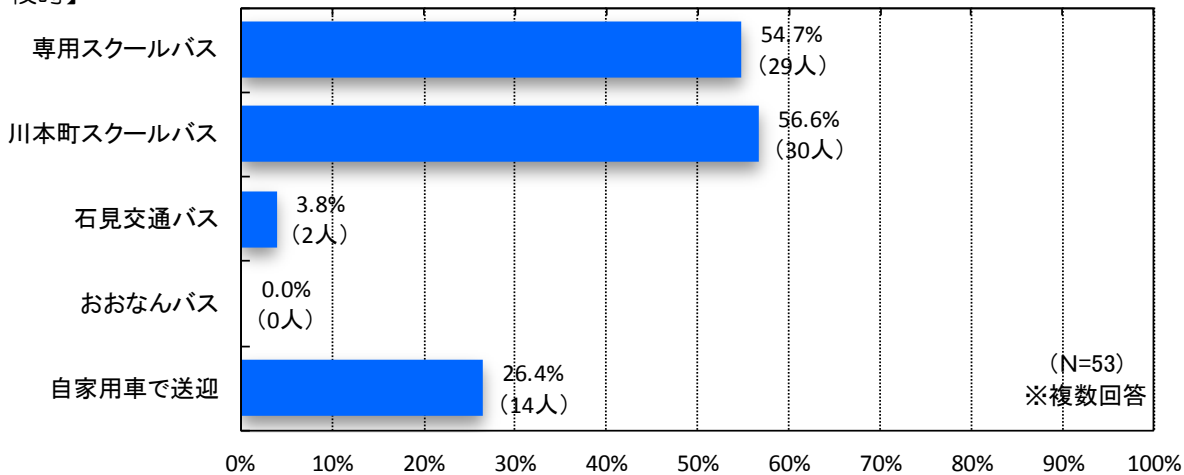
問3：通学で利用するバス

○通学については「川本町スクールバス」と「専用スクールバス」が中心となっているが、「石見交通バス（2人）」の利用者も見られる。  
 ○自家用車送迎については、登校時より下校時の方が割合が高くなっている。

【登校時】



【下校時】



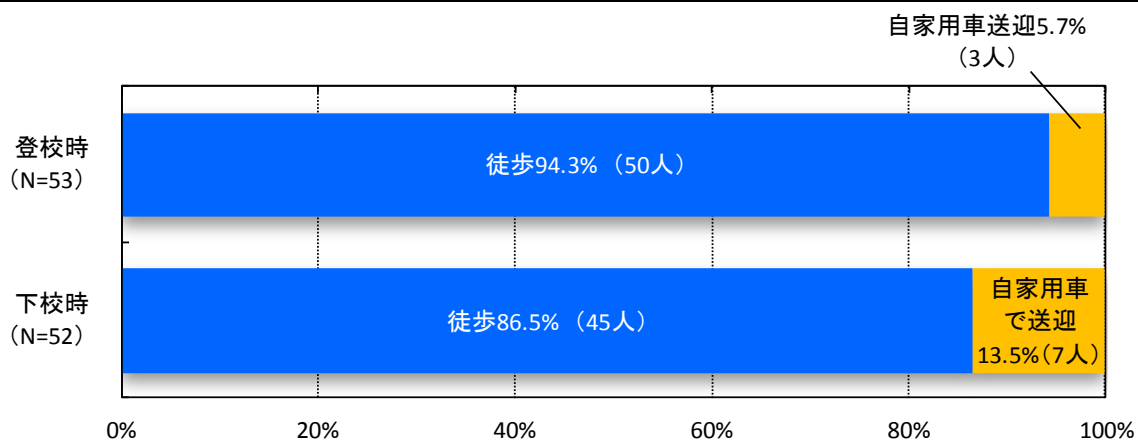
【下校時自家用車で送迎とした回答者の住所】

因原	三原	三大字	正蓮寺	谷戸	湯谷	日向	矢谷	計
2	2	1	1	3	3	1	1	14



問4：自宅からバス停（集合場所）までの移動手段

○自宅からバス停までは「徒歩」での移動がほとんどだが、一部「自家用車送迎」が挙げられている。  
 ○「自家用車送迎」は下校時に多くなる。



【自宅からバス停まで自家用車送迎とした回答者の住所】

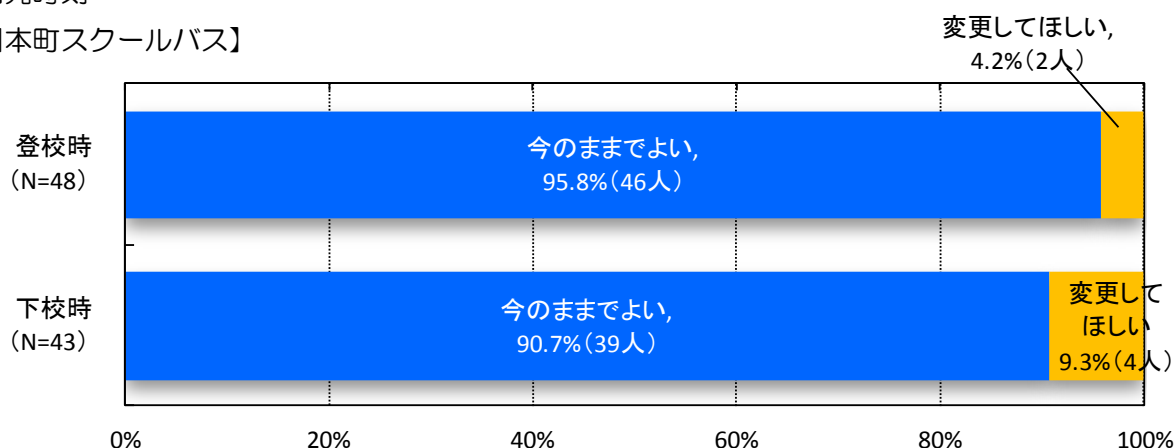
地区	白地	湯谷	谷戸	矢谷	芋畑	計
登校時	2	-	-	-	1	3
下校時	2	2	2	1	-	7

問5：川本町スクールバス・石見交通バス・おおなんバスについて

○川本町スクールバスについては、登下校とも「今のままでよい」とする回答が9割を超えているが、「変更してほしい」との意見も若干ある。  
 ○石見交通バス、おおなんバスについては「今のままでよい」との回答のみであった。

①出発時刻

【川本町スクールバス】



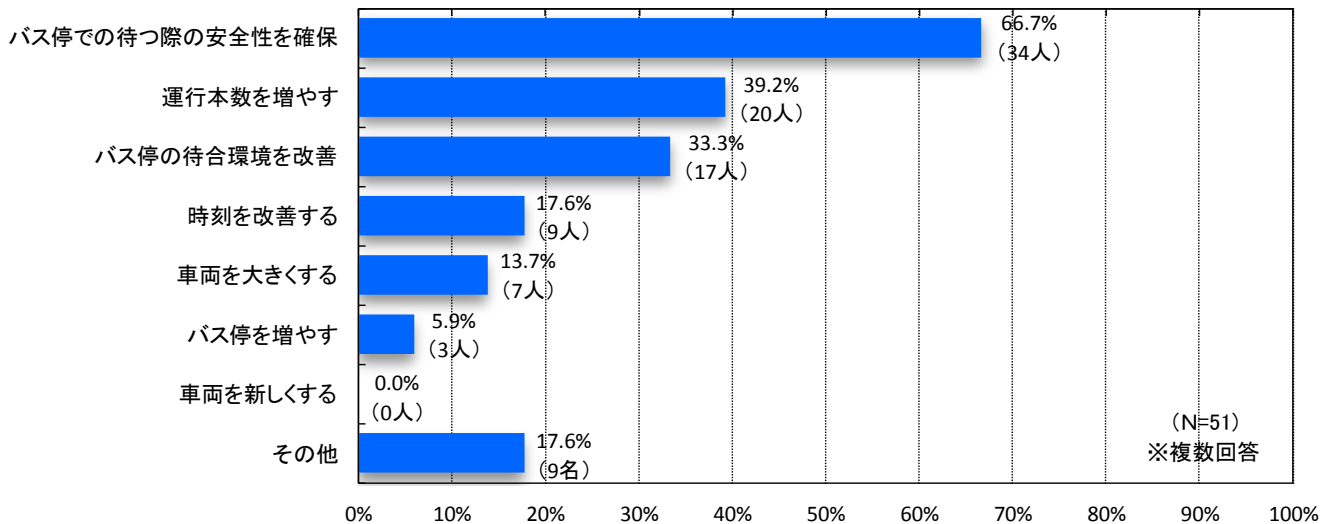
【変更してほしい内容】

- 日向に帰るバスが 17：40 頃までない（日向）
- 谷戸方向への 16 時台の便（谷戸）
- 悠呂ふるさと会館 17 時発（三原）

②現在のバスサービスの改善点

○バスサービスの改善点としては、「バス停で待つ際の安全性の確保」を挙げる割合が最も高く、「バス停の待合環境」と合わせて、バス停の環境整備が重要視されている。  
○次いで「運行本数を増やす」を挙げる割合が高い。

【川本町スクールバス】



【その他の意見】

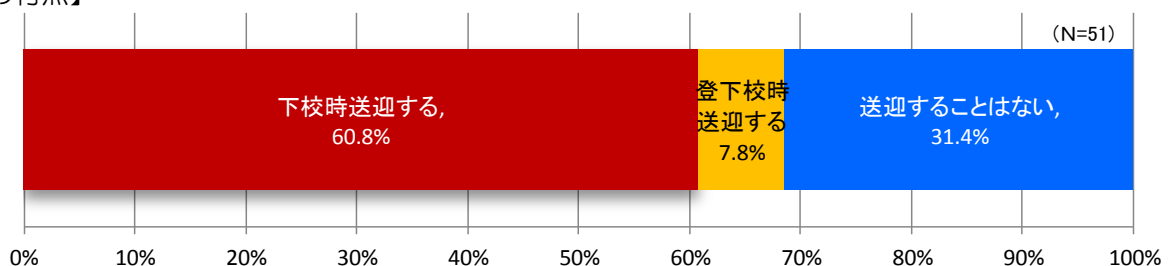
- 陸上練習（クラブ活動）等、放課後学校で活動し終えたときの便も考えてほしい
- 水漏れなどあれば早めに対応していただきたいです。行政側へのお願いではなく子供の側でルールをまもれるように家庭や学校で指導することも大切かと思う。
- 緊急時の対応
- 子供が席に座ってから発車してほしい！！座る前に出されると危ない時があったので。
- 午後の三保・湯谷周りがあればよい
- 因原周りだけではなく午後の湯谷回りが欲しいです

問6：通学での送迎状況

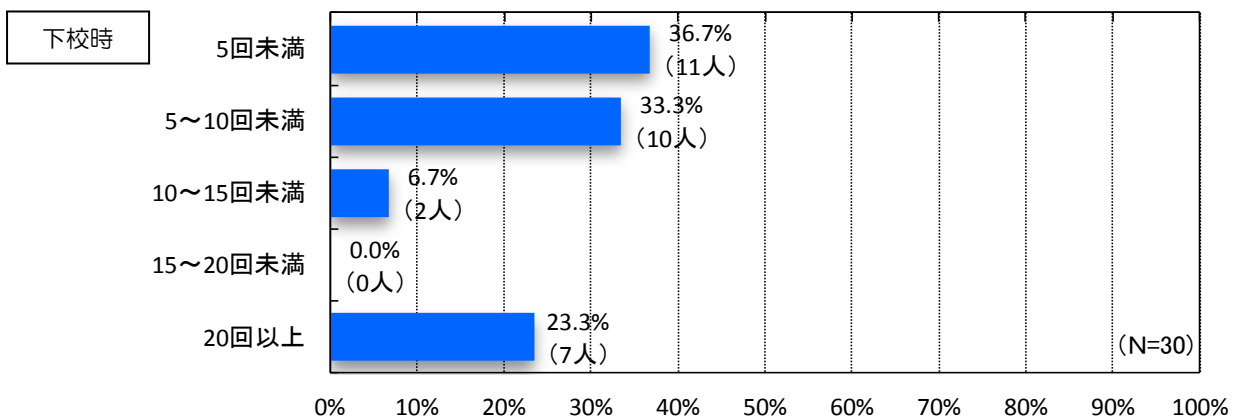
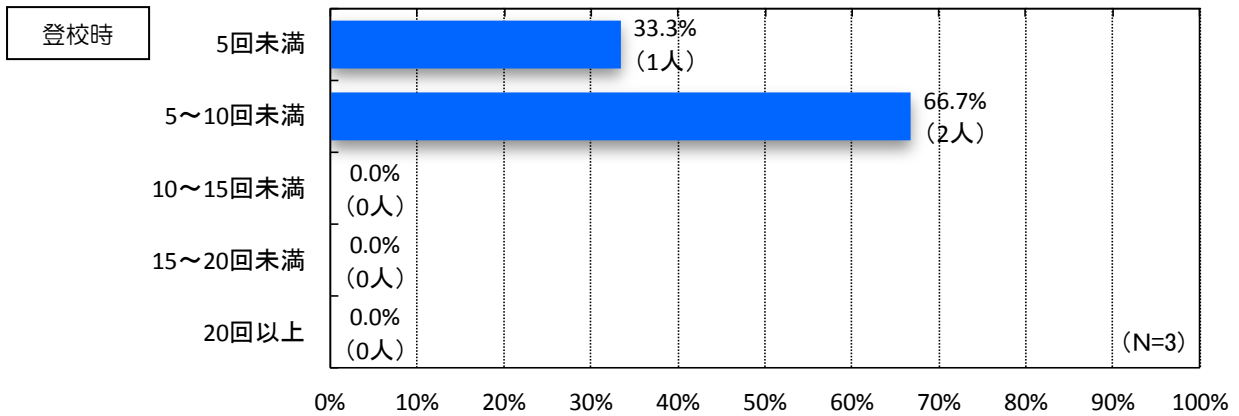
①登下校時の送迎の有無、回数

○登下校時の送迎の状況として、「下校時に送迎する」割合が6割に上っている。  
○「登下校時送迎する」との回答も4件あった。

【送迎の有無】

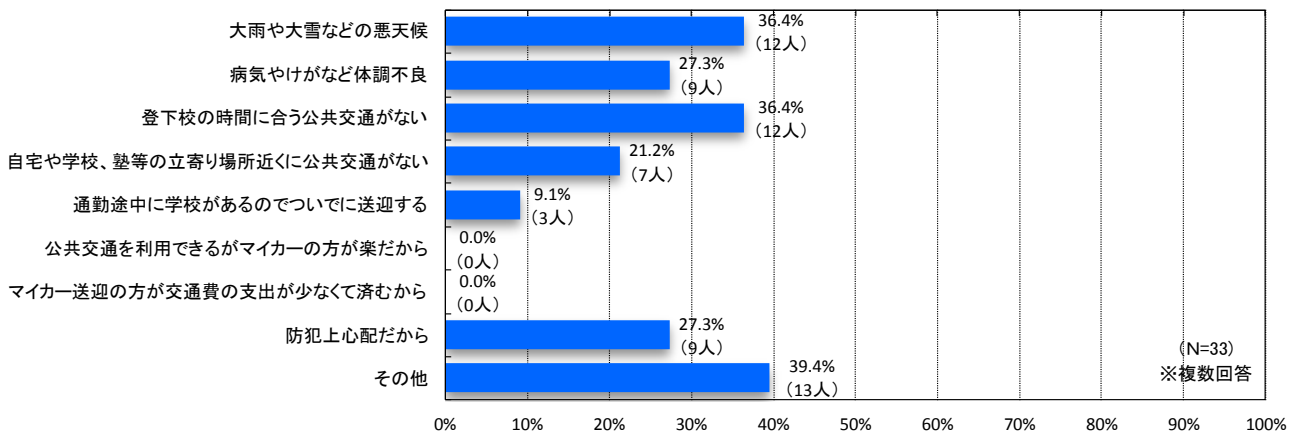


【送迎の回数】



②送迎を行う理由

○送迎の理由としては、「悪天候」「病気やけがなど体調不良」等の回答も高いが、「登校時間に間に合う公共交通がない」「学校、塾等の立寄り場所の近くに公共交通がない」等、適切な公共交通がないことを理由に挙げる割合も高い。  
○防犯上の理由を挙げる割合も比較的高い。



【登校時間に間に合う公共交通がないためと回答した保護者の住所】

集落	因原	川内	日向	谷戸	白地	湯谷
件数	3	1	1	3	2	2

【立寄り場所の近くに公共交通がないためと回答した保護者の住所】

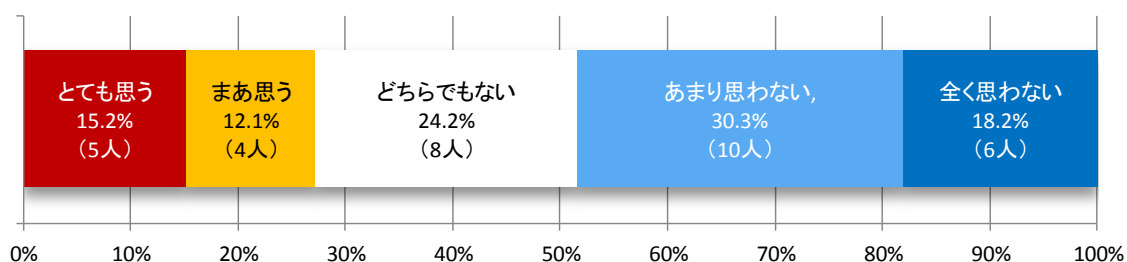
集落	因原	上因原	芋畑	湯谷
件数	3	2	1	1

【その他の意見】

<input type="checkbox"/> 学校行事など
<input type="checkbox"/> 習い事後のバスがない為
<input type="checkbox"/> 子供の希望があるとき
<input type="checkbox"/> 習い事のため
<input type="checkbox"/> 防犯上のことを一番心配しています
<input type="checkbox"/> 学校の校長から送迎してほしいと言われたため
<input type="checkbox"/> 習い事や昔 3~4 年前に不審な車とか声掛けがあったから
<input type="checkbox"/> 習い事や昔 2~3 年前、1 年前にふしんな車に声かけとかがあった
<input type="checkbox"/> 習い事のため
<input type="checkbox"/> 習い事をしているため。その場所から駅までの安全面を考えてであるが、成長とともに安全に気をつけバスで下校できるとよいと思っている。
<input type="checkbox"/> 下校時のバスの便が悪い為
<input type="checkbox"/> バスの便が悪いから

③マイカー送迎の負担感

○マイカー送迎の負担感については、「とても思う」「まあ思う」が3割弱、「あまり思わない」「全く思わない」が5割程度となっている。



問7：自由意見

自由意見	住所
運転手さんにもよりますが、こともが席に確実にすわってからの発車にしてもらいたいです。まだ1年生なのでたまたま発車されると危ないことが何度か見られましたのでよろしくをお願いします。	三原
夏春休みなどの間（木谷回り）石見川本発9：00 便を会館前（小学生が乗っている場合）も停車してもらえたら良い。	南佐木
停留所で建屋が有る所とないところがあるので建屋が欲しい	湯谷
安全運転をお願いします。いつもありがとうございます。	矢谷
三江線横のバス停では子供が石をひろって道路に投げたり、線路沿いのフェンスにのぼったりしているのを見ることがあります。大型トラックが出入りするので危ないと思いました。朝は使用しないけど下校時使用するのどうか考えてもらえないでしょうか？	因原
谷戸方向へのバスが16：00 台にほしい	谷戸
○学校に行くとき夕方18時近くまで迎えに行けないので（サポセンにいる）子供は学校に行きたがらないで困っている。○バス停⇄家の間、九谷林業（チップ工場があり）危険な場所が多く本当にキケン！！（大きなキカイの放置！丸太等の積み上げ放置）	日向
仕事をしているので夕方に送迎しないといけない時にはとても困る。夕方の便で季節的（学校行事との関係で遅い便があると助かる場合）なことを考えて頂ければ嬉しい。とくに高学年になると陸上、クラブ、委員会活動、バスケット大会がある時は便があれば助かる。	因原
三江線横のバス停の整備	因原
帰りの便数がもう少しあるとよい。陸上やクラブ活動の時の便数を増やしてほしい。	因原
午後からの三俣・湯谷経由がなく非常に不便。停留所に建屋がなく雨の日など非常に不便。	湯谷
因原のバス停（三江線運輸側）が大変危険。大型トラックが停めてあったり、バスが2台3台入ったりすると、小さい子供たちが車体にかくれてしまう。子供が歩くところを線を引くなど対応が必要ではないか。また、バス停なのか、三江線運輸の土地なのかわからない。石などがあり車がふんだりするといつはじき飛んでくるかわからない。冬場は電機もなく真っ暗。朝は集団でインフォメーションへ行くので良いが、夕方は個人で帰宅なのでバス停付近は灯りをつけてほしい。（冬は下校時バス停で待たせていても真っ暗で怖い！！と子供が言っていました。	因原
時刻改善か運行本数を増やすことに寄り、特に冬場等子供が暗くなって戻ることのない方が望ましい。地域に寄っては下校の人数が少なく夕方18時頃暗くなると、結局停留所への迎えも考えなければならない。安全面で子供が一人で暗い中戻るといったのは危険だと思う。	三原
毎日の下校の時、バス停から歩いて帰る道が山道なので心配。（何があると・・・）朝、もう少し時間がおそければ助かります。いろいろ言ってすみません。よろしくをお願いします。	芋畑
○今のところでは家庭での送迎はできますが、今後、現在主に送迎している祖父母のことを考えると、出来なくなる可能性もできます。また、中学校までの便が始業時に合うバスが必要となります。保育園の送迎もあるのでできれば自力で登下校が出来ることを希望します。（今後について）○来年度から下校時刻が16：30になります。そのため、今利用しているバスに乗れません。また、17時の特急では自宅近くの停留所にはとまらないので下校はバスを利用することができなくなります。以上の2点について悩んでいます。ご検討をおねがいします。	三大字
登下校のバスは小学生専用バスにしてほしい。最近小学生が襲われる事件が起きています。大人も一緒だと（一般人）事件性につながる可能性は高くなるのでは？	因原
スクールバスと町営バスの別の運行をしてほしい。	正蓮寺
いつもお世話になりありがとうございます。下校の際に少しまってでも自力でバスで帰ることができるよう、夕方の三谷方面へのバスの運行本数を増やしていただけたらと思います。	谷戸
いつもバスを利用してとても助かっていますが、バス内でのマナーの悪さやバスの運転手さんの運転が時々荒い時があると子供から聞くことがあり雨や雪道など心配な時があります。	八幡
停留所に建屋がなく雨の日などが不便	湯谷









## 10. ヒアリング調査結果

### (1)川本町商工会へのヒアリング内容

日時：平成 25 年 10 月 2 日（水） 13：00～14：00

場所：川本町役場

#### ○「まげなタクシー」と商工会との連携の方向性

- ・「A コープ」は独自のポイントを持っているが、普通の商店では対応ができない。
- ・「ジュンテンドー」や「すまいる」への協力依頼はできるかもしれない。（ただし、「ジュンテンドー」や「A コープ」等は店単独で判断が出来かねるかもしれない）
- ・川本町商工会として「メロディカード」を発行しているが、加盟店が少ない。
- ・メロディカードは 25,000 円分購入するとポイントがいっぱいになり 350 円分の買物に使用できるが、あまり「まげなタクシー」の利用の動機づけにはならないのではないかと。
- ・各商店が個別に「まげなタクシー」利用者へサービスすることは難しい。
- ・川本町商工協同組合では、10 月 9 日より加藤病院にデジタルサイネージ（電子広告）を設置し、以下のような予約販売を計画している。

- ①加藤病院の待合室にデジタルサイネージを設置し、各商店から寄せられたお買い得商品を紹介する。
- ②待合室に注文書を置き、希望者は注文書に記入して待合室内に設置してある受付ポストに入れる。
- ③川本町商工協同組合のスタッフが 11：30 に受付ポストを開け、注文書を回収して注文のあった商店へ電話連絡する。
- ④注文を受けた商店は注文者と連絡をとり、商品を渡す。（渡す方法は各商店と注文者の間で相談する）

※最初は 23 店舗でスタートをする。

※1 週間単位で商品を入れ替え、それに伴って注文書も 1 週間単位で交換する。

※事前のニーズ調査では、4 件/日程度の利用が想定される。

- ・川本町商工協同組合のこの取り組みは、町の CATV「まめなネット」で PR する。
- ・上記の取り組みと「まげなタクシー」を連動させてはどうか。
- ・車内で注文書を配布して、予約受付ポストに入れれば、その商品を帰りの「まげなタクシー」に積み込んでおくサービスが考えられる。これにより、診察を受けている時間に買い物が済ませられる。
- ・「まげなタクシー」利用者からの注文を受けた各商店が、対象商品を川本タクシーまで配送し、それを事前に車に積み込んで待機してもらえばよい。
- ・川本タクシーへの打診が必要。

## (2)川本タクシーへのヒアリング内容

日時：平成 25 年 10 月 2 日（水） 15：20～16：00

場所：川本タクシー事務所

### ○「まげなタクシー」の運行について

- ・通常は通院のため 8：00 の便で三原を出て加藤病院まで行き、12：30 で帰宅するケースが多い。
- ・10：00 の便は買物利用が中心で、この便で出かけて 12：30 の便で帰宅するケースのほか、加藤病院の午後の診療に出かけるために 10：00 の便を利用する人が見受けられる。
- ・笹畑や湯谷方面の利用促進を図っていきたい。
- ・最近、加藤病院は土曜日と月・木の午後を休診とした。その関係で診療科の時間帯や曜日が当初とは変わっている可能性がある。ただし、診療科目が最も多いのは「まげなタクシー」の運行日である火・水・金曜日である。
- ・タクシーを利用されている方に「まげなタクシー」の利用を勧めたことがあるが、朝一番で病院へ行きたいとか、到着時間が不安定なのが心配等の理由で通常のタクシーを利用される方もいる。
- ・1回の平均乗車時間は 40 分程度で、一度に 6 人程度乗車した場合は 1 時間かかることもあるが、乗車時間の長さについては目立ったクレームはない。顔見知りであれば世間話ができ、話題がない場合はドライバーが話題提供するなどして間を持たせている。
- ・曜日、時間の設定は現状がベストだと思われるが、強いて言えば、14：10 発の便を 20～30 分繰り上げて、13：40 発または 13：50 発にしてもよいと思う。
- ・14：10 の便については、邑智病院からの帰りに「かわもとインフォメーションセンター」で乗り継ぐケースが月に 1～2 度見られるが、13：39 に「かわもとインフォメーションセンター」に到着すると約 30 分待つことになる。
- ・14：10 の便を繰り上げることで邑南病院から帰る「おおなんバス」との接続が短縮されるほか、病院の診察が伸びて 12：30 に乗れなかった人が、14：10 より少し早めに乗ることができる。
- ・将来的には、週 3 日の運行を平日運行に移行できればよいと思う。
- ・商工会で受付をしているが、川本タクシーへ直接問い合わせがあったりする。また、土日を含んで 3 連休の時に予約をし忘れていて直接電話がかかってくることもある。このような場合、極力商工会を通してもらうようお願いしているが、柔軟に対応しなければならない場合もある。
- ・場合によっては受け付け業務を川本タクシーで行うことも考えられる。そうすれば当日予約が可能になり、利用者の利便性は高まると思われる。
- ・場所によっては、タクシー助成も有効だと思う。

### ○デジタルサイネージによる買物支援サービスについて

- ・デジタルサイネージに「まげなタクシー」の広告を掲載することは可能か。
- ・「まげなタクシー」利用者が病院で受診中に、ドライバーが商品を集めることについては可能であり、それで利用者が増えるのであればぜひ取り組みたい。

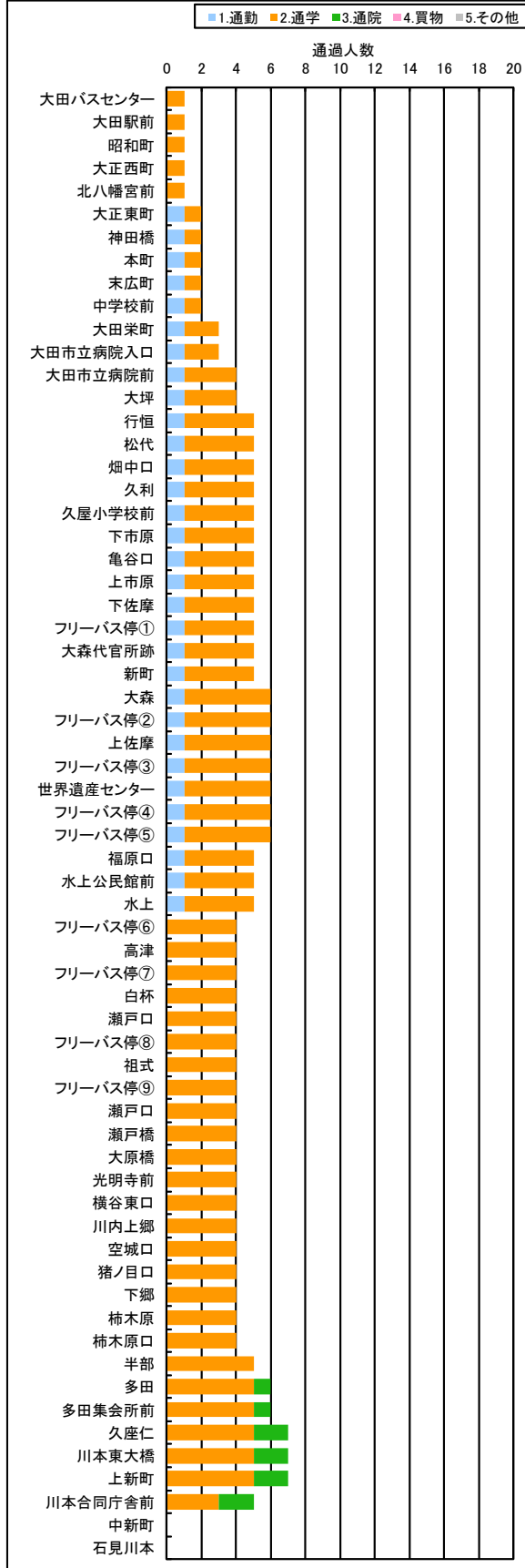
○「まげなタクシー」のPRについて

- 利用促進のため、「まげなタクシー」をマイカー代わりに使っていただくようなアプローチはできないか。
- 高齢者の事故が多いが、買物等での荷物の持ち運びを考えると自家用車が手放せない。そこで「まげなタクシー」を利用すると乗客と一緒に荷物も玄関までお届けするので、不安を抱えながら自家用車を運転する必要がなくなるといった訴求ができないか。
- 自家用車を保有していると、いつでも出かけられるというメリットはあるが維持費がかかる。月に数回の外出であれば、「まげなタクシー」を利用するほうが経済的であり、事故の心配もない。

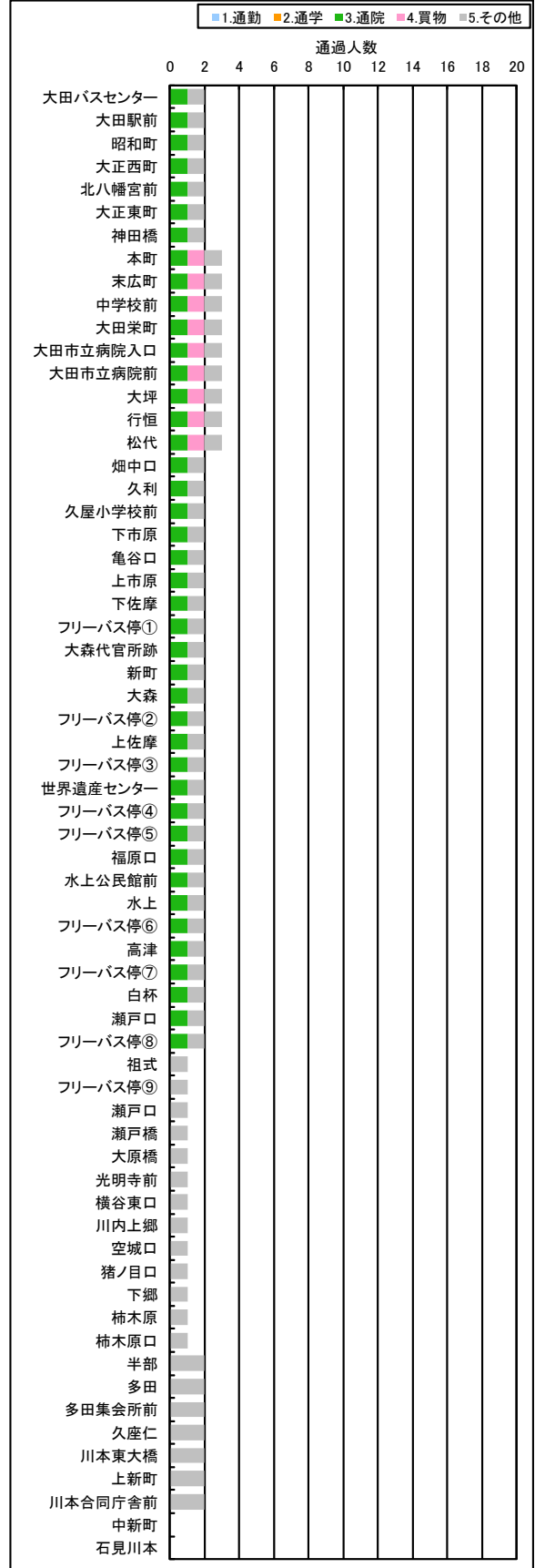
# 11.【参考資料】石見交通「川本線」乗降調査結果(平成 22 年 7 月 16 日調査)

◆大田バスセンター⇒川本駅  
●目的別通過人数

○大田バスセンター(6:53)⇒石見川本(8:05)

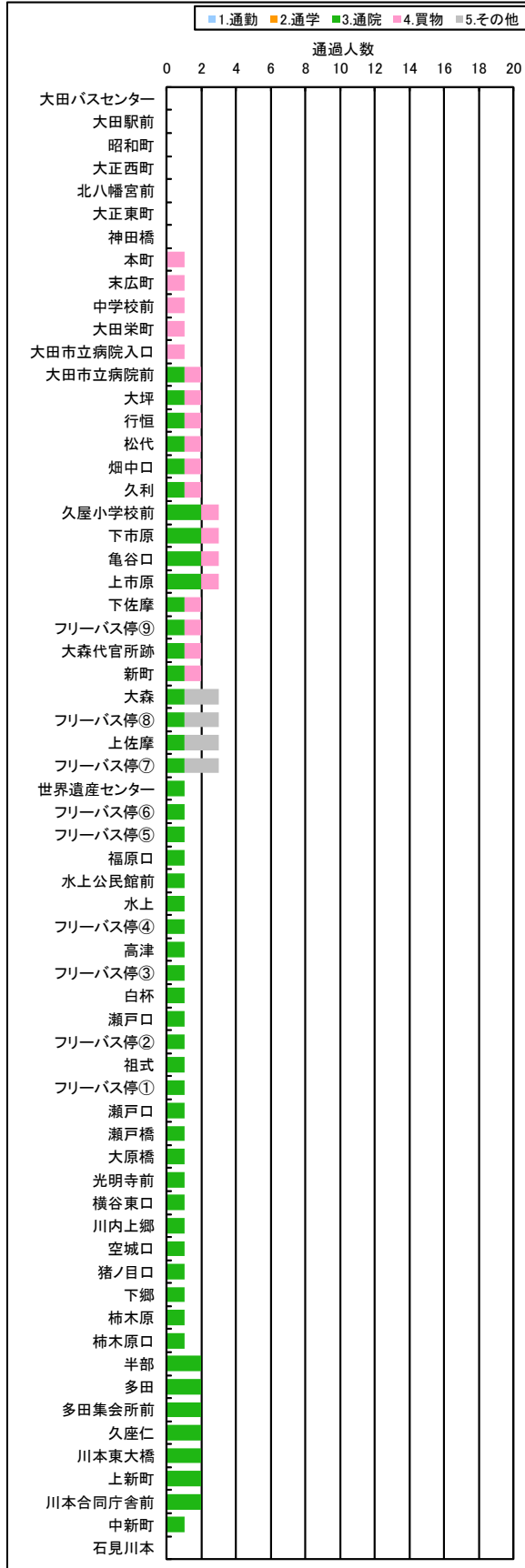


○大田バスセンター(9:50)⇒石見川本(11:06)

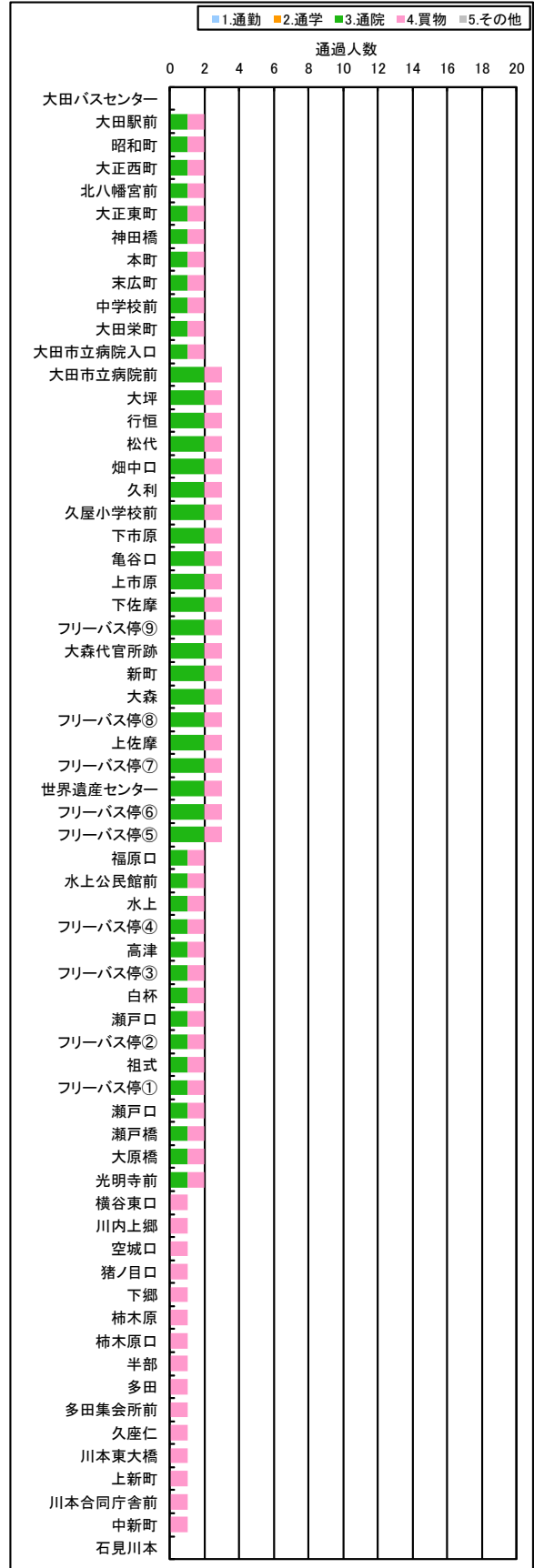


◆大田バスセンター⇒川本駅  
●目的別通過人数

○大田バスセンター(12:40)⇒石見川本(13:56)



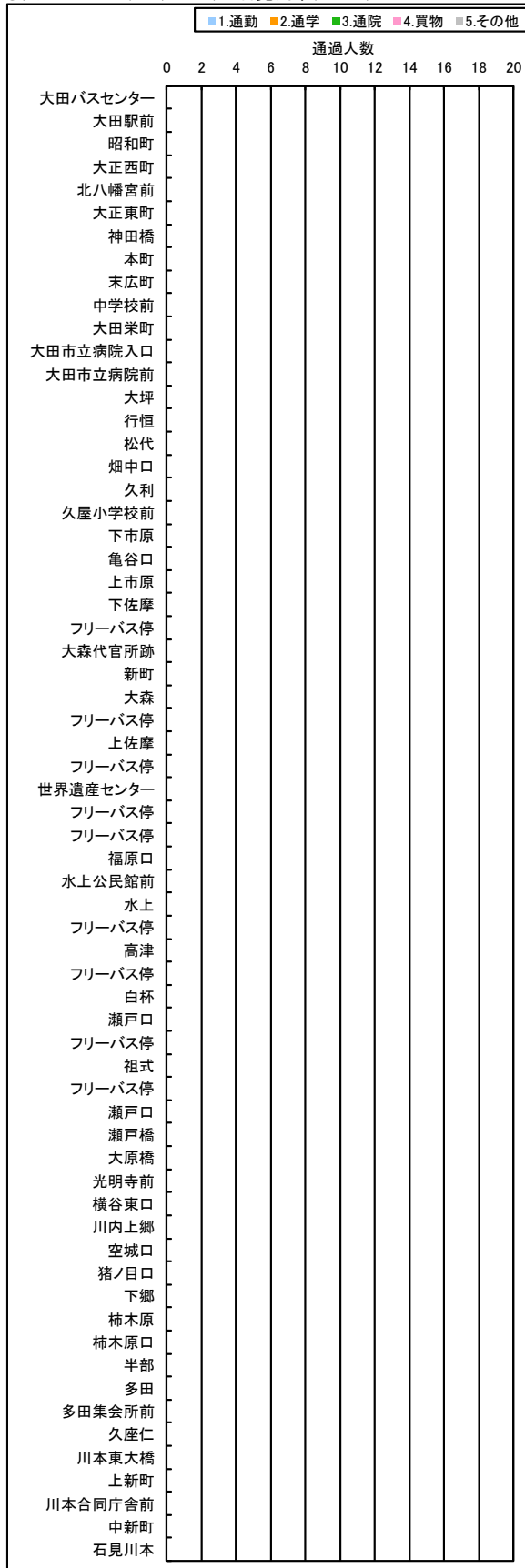
○大田バスセンター(15:45)⇒石見川本(17:01)



◆大田バスセンター⇒川本駅

●目的別通過人数

○大田バスセンター(18:20)⇒石見川本(19:32)

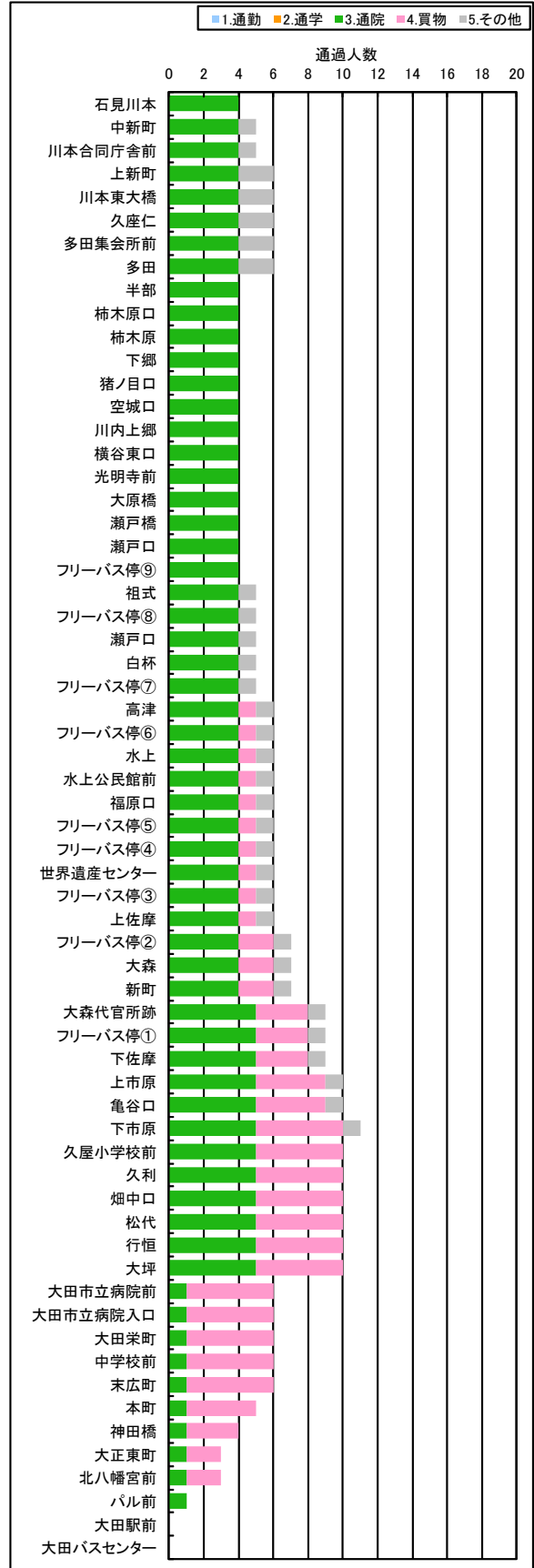


◆石見川本⇒大田バスセンター  
●目的別通過人数

○石見川本(6:45)⇒大田バスセンター(7:56)

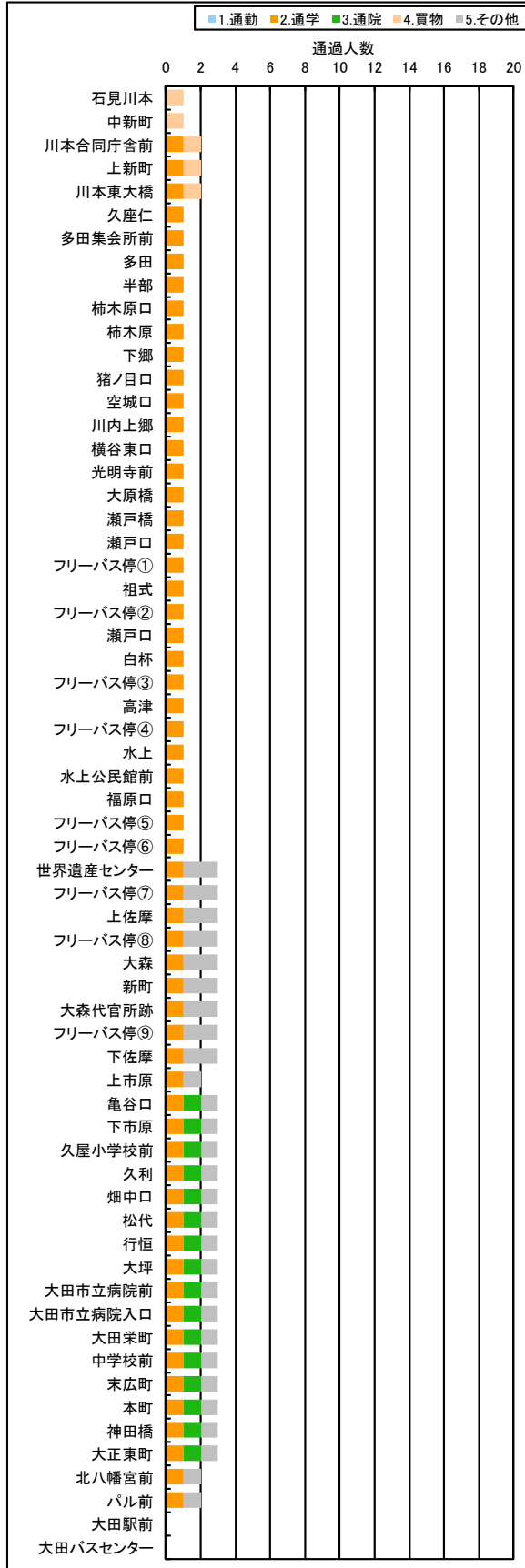


○石見川本(8:18)⇒大田バスセンター(9:33)



◆石見川本⇒大田バスセンター  
●目的別通過人数

○石見川本(12:15)⇒大田バスセンター(13:30)



○石見川本(16:40)⇒大田バスセンター(17:55)





◆石見川本⇒大田バスセンター

●目的別通過人数

○石見川本(18:55)⇒大田バスセンター(20:06)

